

もくじ

画像取り込みの基本操作

原稿のセット方法	5
使用できる原稿	5
35mm ストリップフィルムのセット方法	7
35mm スライドフィルムのセット方法	10
120 / 220 (ブローニ) フィルムのセット方法	13
4 × 5 インチフィルムのセット方法	16
反射原稿のセット方法	19
EPSON Scan の起動方法	21
EPSON Scan を単独起動	21
TWAIN 対応アプリケーションから起動	22
モードの選択方法	24
モードの特徴	24
モードの切り替え方法	24
取り込み設定を保存する方法	25
プレビュー表示について	27
通常表示とサムネイル表示	27
環境設定ダイアログ	30
取り込み枠の調整方法	31
通常表示の場合	31
サムネイル表示で取り込み枠を指定する	33
スキャンした画像の保存方法	35
EPSON Scan を単独起動した場合	35
TWAIN 対応アプリケーションで保存する場合	36
画像を補正する場合のおすすめモード	38

お好みの画像サイズで取り込もう

拡大／縮小を設定できるモード	40
モードによる拡大縮小の設定の違い	40
拡大／縮小の設定方法	41
ホームモードの場合	41
プロフェッショナルモードの場合	42
ユーザー定義サイズの作成方法	45
拡大／縮小と解像度の関係	47

フィルムや写真をきれいに取り込もう

フィルムのゴミを取り除く方法	50
画像をシャープにする方法	52
解像度を上げるときれいになる？	54
用途に応じた解像度	54
48bit カラーを選ぶときれいになる？	55
明暗を簡単に調整する方法	57
明暗を厳密に調整する方法	60
ヒストグラムを使って調整する	60
お勧めの調整方法	61
さらに微妙な調整をするには	64

メリハリをつけた調整をする方法.....	65
濃度を調整する方法.....	67
シャドウ部／ハイライト部の階調を調整する方法.....	69
モアレ（網目状の陰影）を取り除く方法.....	71
フィルムの粒状低減処理.....	73
色あせてしまった原稿やフィルムの色を復元する方法.....	75
おかしな色かぶりを取り除く方法.....	77
より色鮮やかにスキャンする方法.....	80
全体的な色あいを変えてスキャンする方法.....	83

原稿に合った設定で取り込もう

文字原稿／線画のスキャンに適した設定.....	86
文字／線画のスキャン手順.....	86
カラーの文書に適した設定.....	88
カラー原稿のスキャン手順.....	88
新聞・雑誌の切り抜きに適した設定.....	90
新聞・雑誌のスキャン手順.....	90

便利な取り込み方法

複数の原稿を連続スキャンしよう.....	93
複数の領域を指定して一気にスキャンする.....	93
フィルムをインデックス画像として保存しよう.....	96
スキャナの最高画質でスキャンしよう.....	103

取り込んだ画像の活用方法

EPSON Photo!4 を利用する.....	105
Adobe Photoshop Elements 2.0 を利用する.....	111

トラブル対処方法

スキャナ本体の動作確認.....	129
電源がオンにならない.....	130
電源をオンにするとエラーランプが点灯した.....	131
スキャナが認識されない.....	132
スキャンに時間がかかる.....	133
プレビュー画像の色がおかしい.....	134
画像がぼけている・細部が良く見えない・ゆがんでいる・スジが出る.....	136
点がいくつか現れるだけで画像にならない.....	138
画像が暗い、原稿の裏面が写ってしまう.....	139
画像にモアレ（網目状の陰影）が生じる.....	140
画像にむらやシミ、斑点がでる.....	141
画像が画面に大きく表示される.....	142
画像の色がセットした原稿と違う.....	143
ディスプレイと印刷結果の色が合わない.....	144
サムネイルプレビューでコマが正常に切り出されない.....	145
フィルムのスキャンで画像がおかしい.....	147
ネガフィルムのプレビュー画像が粗い、色がおかしい.....	148

ソフトウェア関連情報

EPSON Scan のシステム条件	149
各画面の説明を見たいときは	150
ヘルプの表示方法	150
同梱ソフトウェアの削除方法	151
最新スキャナソフトウェアの入手方法	154

メンテナンス

スキャナのメンテナンス	155
本体の清掃	155
蛍光灯が切れたときの対応方法	155
ホルダの清掃と保管	156
故障のとき	156
輸送するときは	157

スキャナについて

各部の名称と働き	158
前面	158
背面	159
メモ리카ードのセット方法	160
写真データを読み込んで印刷する方法	162
アプリケーションソフトを使って印刷	162
メモ리카ードの取り出し方法	163
スキャナの電源をオフにする、ケーブルを抜く際のご注意	164
メモ리카ードのデータをコピーする方法	165
コピー方法	165
データをメモ리카ードに保存する方法	166
保存時のご注意	166
保存方法	166

マメ知識

ディスプレイについて	167
ディスプレイの表示色の設定	167
ディスプレイの調整方法	168
解像度について	169
USB について	172
複数の USB 機器を接続する方へ	172
USB ケーブルについて	172
USB の基礎知識	173
IEEE1394 について	174
IEEE1394 ケーブル	174
IEEE1394 の基礎知識	174
色について	176
カラーマネージメントシステムについて	178

付録

基本仕様	179
ユーザーズガイドの削除方法	181

通信販売のご案内	182
ご注文方法	182
お届け方法	182
お支払い方法	182
送料	182
消耗品カタログの送付	182
用語集	183
文字サイズの変更	187
変更手順	187
商標・表記について	188
商標について	188
表記について	188
このガイドの使い方	189
本文中で使用している記号について	189

改訂履歴

画像取り込みの基本操作

原稿のセット方法



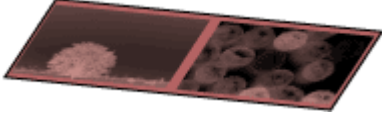

ここでは、写真や雑誌の切り抜きなどの反射原稿やポジ・ネガフィルムなどの透過原稿のセット方法を説明します。

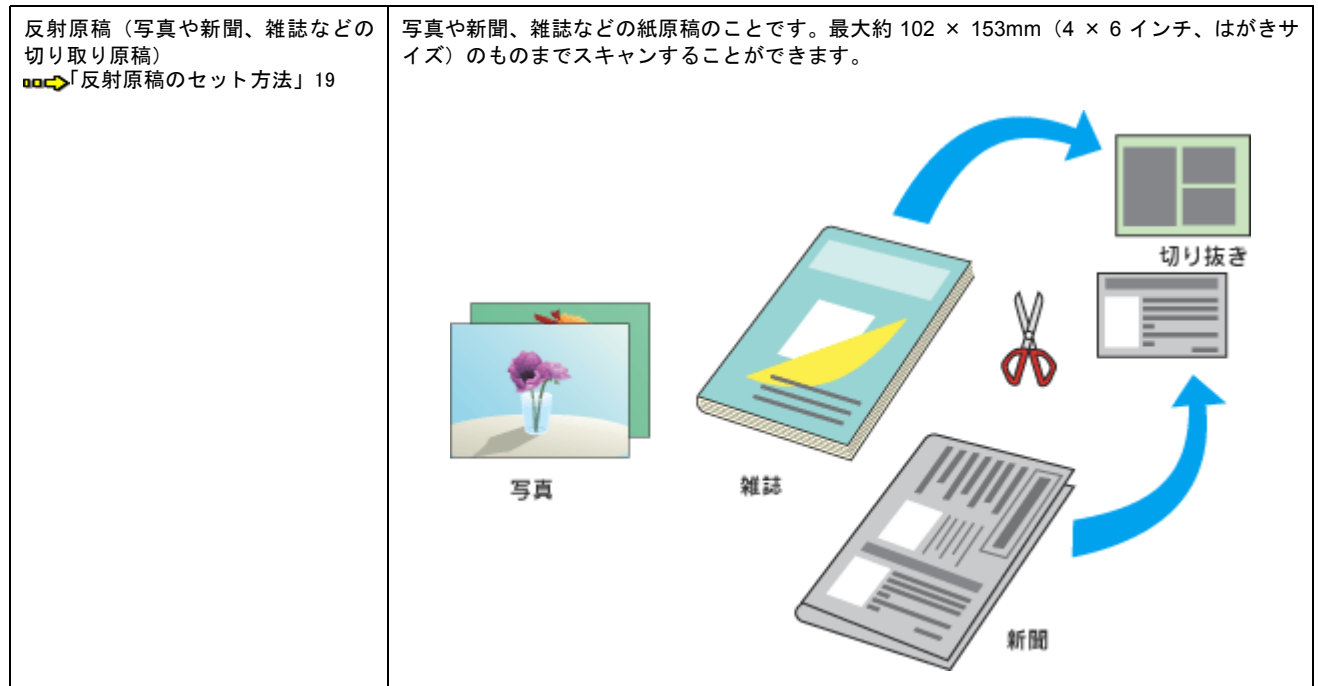
注意

- ホルダをスキャナユニットに差し込むときは、力を入れて押し込まないでください。破損するおそれがあります。また、ホルダを差し込む向きや表裏に注意してください。
- スキャンする原稿の種類によって使用するホルダが異なります。必ず原稿に合ったホルダをご使用ください。

使用できる原稿

スキャンできる原稿は次の通りです。

<p>35mm ストリップフィルム (ネガ / ポジ) ▶▶▶「35mm ストリップフィルムのセット方法」7</p>	<p>一般の 35mm フィルムを 6 枚切りにしたフィルムのことです。 ネガフィルム：画像の濃淡が反転して記録されているフィルムです（一般的なフィルムです）。 ポジフィルム：白黒がそのまま再現されていて、周囲が黒いフィルムです（カラーライド用のフィルムです）。</p> 
<p>35mm スライドフィルム ▶▶▶「35mm スライドフィルムのセット方法」10</p>	<p>スライド用に、ポジフィルムを 1 枚ずつ切ってプラスチックなどの枠に挟んだものです。マウントフィルムともいいます。</p> 
<p>120 / 220 フィルム（ブローニ） ▶▶▶「120 / 220（ブローニ）フィルムのセット方法」13</p>	<p>中型カメラに使われる、幅 60mm のロール・フィルムのことです。120 / 220 フィルムは、中判またはブローニ判ともいいます。本機に付属のホルダでスキャンできる 120 / 220 フィルムの大きさは最大 6 × 18cm です。マウントしたブローニフィルムは使用できません。</p> 
<p>4 × 5 インチフィルム ▶▶▶「4 × 5 インチフィルムのセット方法」16</p>	<p>写真館のスタジオなどにある、蛇腹の付いた大型カメラで使われるフィルムのことです。通常「シノゴ」といいます。サイズは約 100 × 125mm です。</p> 



ポイント

フィルムの脇に書いてあるメーカー名や数字などを正しく読める側をベース面といいます。ベース面から見ると、像が正しく見えます。
 反対側を膜面といい、こちらに感光剤が塗布されています。ベース面は、膜面と比べてより光沢（つや）があります。膜面は、乳剤面またはエマルジョン面ともいいます。

サムネイル表示できる原稿種

プレビューをサムネイル表示できる原稿種は、次のとおりです。

モードの種類	原稿種
ホームモード	反射原稿 ポジフィルム カラーネガフィルム 白黒ネガフィルム
プロフェッショナルモード	フィルム

ポイント

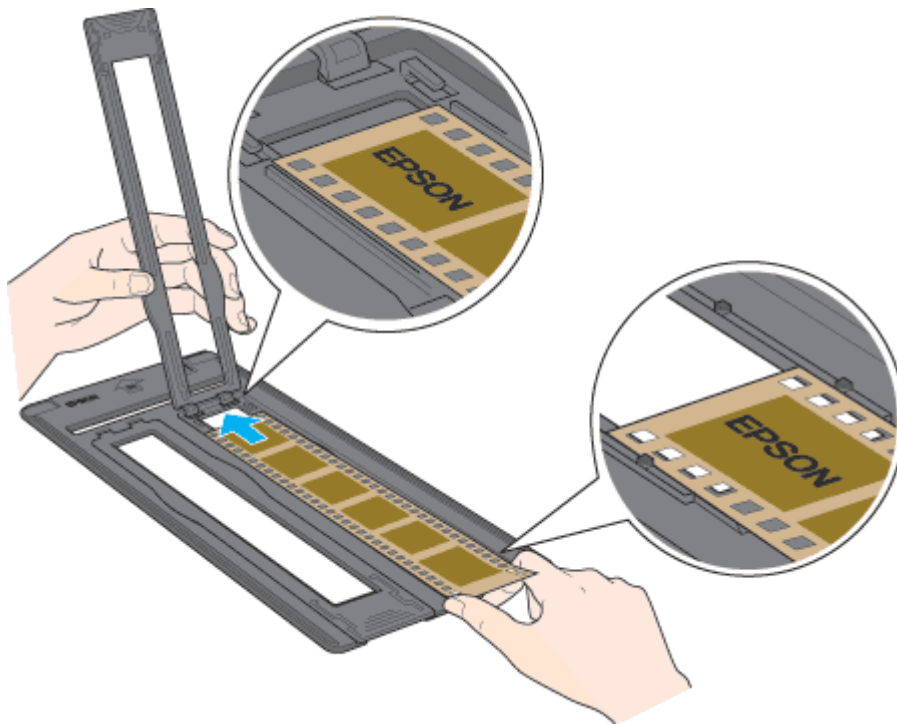
- サムネイル表示で、画像をスキャンする領域を指定できます。
 ■■■▶「サムネイル表示で取り込み枠を指定する」 33
- ブローニフィルムで 6 × 9cm より大きなサイズやパノラマなど、原稿によっては、意図するサムネイルが表示されない場合があります。この場合は、通常表示でプレビューし、領域を指定してからスキャンしてください。
 ■■■▶「取り込み枠の調整方法」 31

35mm ストリップフィルムのセット方法

35mm ストリップフィルム（ネガ / ポジ）をスキャンする場合は、次のホルダを使用します。

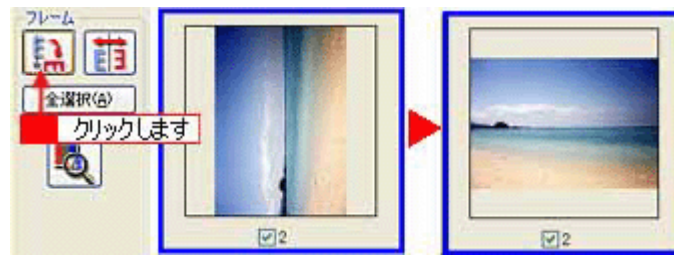


1. カバーのつまみを上に引き上げて、カバーを開けます。
2. フィルムをホルダにセットします。フィルムのベース面（像が正しく見える面）を上に向けてください。



ポイント

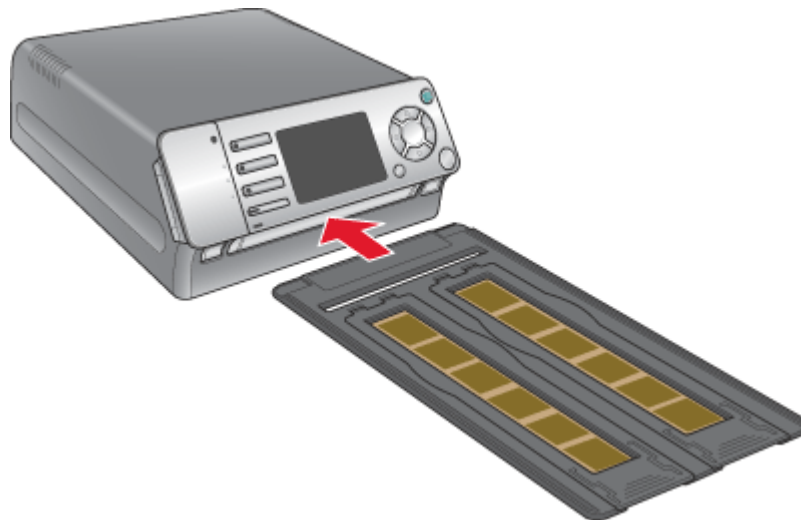
- フィルムは、指紋や手の油が付かないように、端面を指ではさんで持つか、手袋をはめて持ってください。
- このホルダは 35mm フィルム専用です。それ以外の原稿をセットしても正しくスキャンされません。
- EPSON Scan でスキャンした場合にフィルムの天地を間違えてセットしても、サムネイル表示の場合は、[90 度回転] ボタンをクリックすると、選択している画像を右方向（時計回り）に 90 度ずつ回転できます。
[全選択] ボタンをクリックしてから、[90 度回転] ボタンを使うとまとめてコマの向きを変えられます。



3. カバーを閉じます。

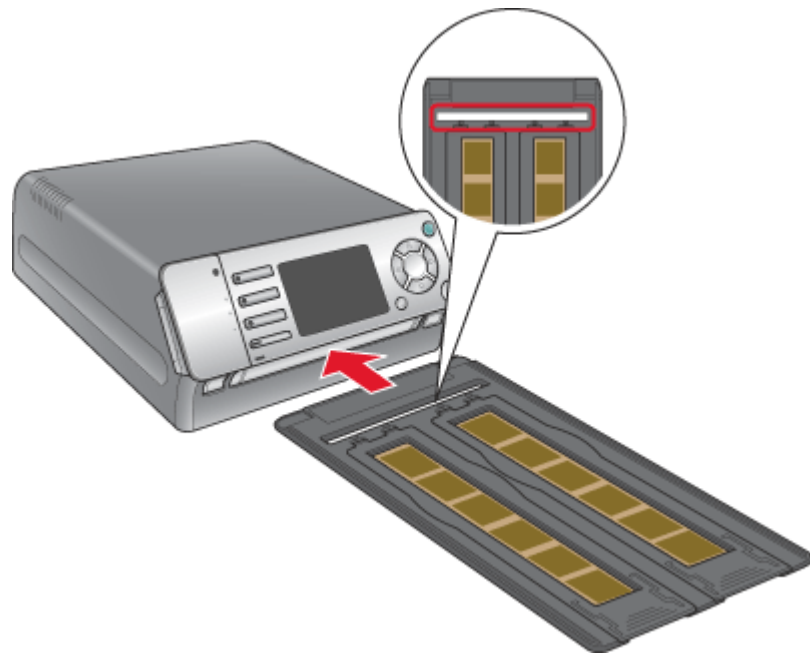
ツマミをカチッと音がするまで押してください。

4. [電源] スイッチを押して電源をオンにします。ホルダを本機のホルダ挿入口に差し込み、ホルダが引き込まれるまで軽く押し込みます (ホルダの長方形窓がかくれる程度 (約 5cm) に押し込むと自動的に引き込まれます)。



ポイント

- 必ず本機に同梱のホルダを使用してください。
- ホルダの上部には、光量を補正するための長方形窓と位置決め用の穴があります。この部分をふさがないように正しくセットしてください。
- 原稿やホルダの透明な部分にゴミが付いていないか確認してください。ホルダの透明部分にゴミ、汚れているときは、同梱のクリーニングクロスでからぶきしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よくしぼって汚れをふき取ってからクリーニングクロスでふいてください。
- カバーを閉じたら、カバー全体を押さえて浮いている部分がないか確認してください。



- ホルダを取り出す時は通信ランプが消灯しているときに [イジェクト] を押します。
- **プレビューをサムネイル表示する場合**
プレビューをサムネイル表示する場合に認識できる原稿種については、以下の項目を参照してください。
☞「サムネイル表示できる原稿種」6

注意

スキャンした後は、フィルムをホルダから外してください。長時間フィルムをホルダにセットしたまま放置すると、フィルムが反るおそれがあります。

以上で、35mm ストリップフィルムのセットは終了です。次に EPSON Scan を起動してストリップフィルムをスキャンします。

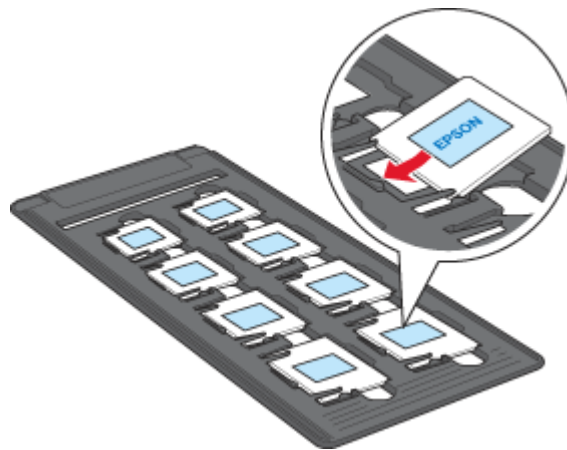
☞「EPSON Scan の起動方法」21

35mm スライドフィルムのセット方法

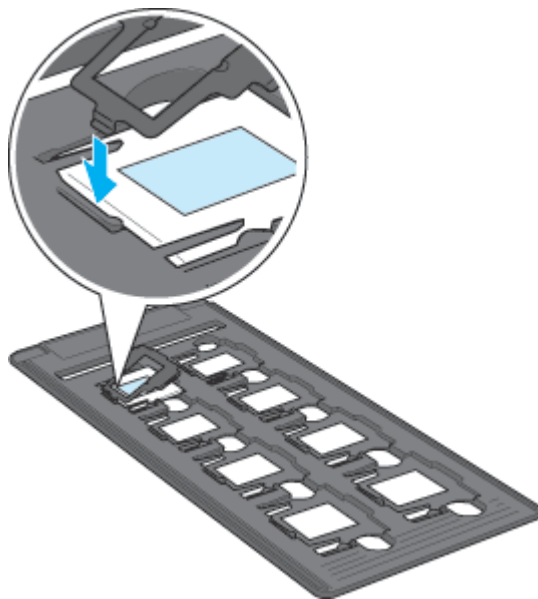
35mm スライドフィルムをスキャンする場合は、次のホルダを使用します。



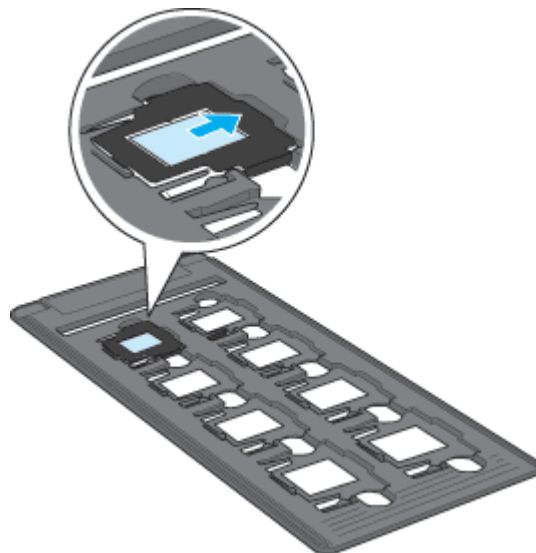
1. フィルムをホルダにセットします。フィルムのベース面（像が正しく見える面）を上に向けてください。



2. スライド押さえのツメを矢印の位置に差し込みます。

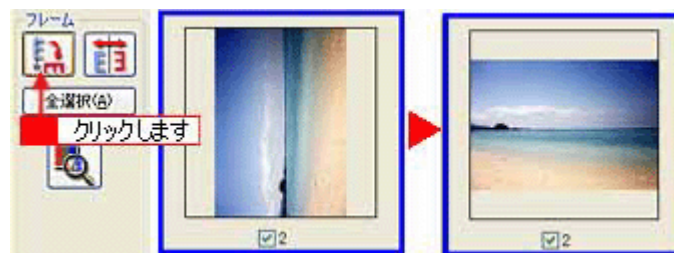


3. スライド押さえを矢印の向きにスライドさせて固定します。



ポイント

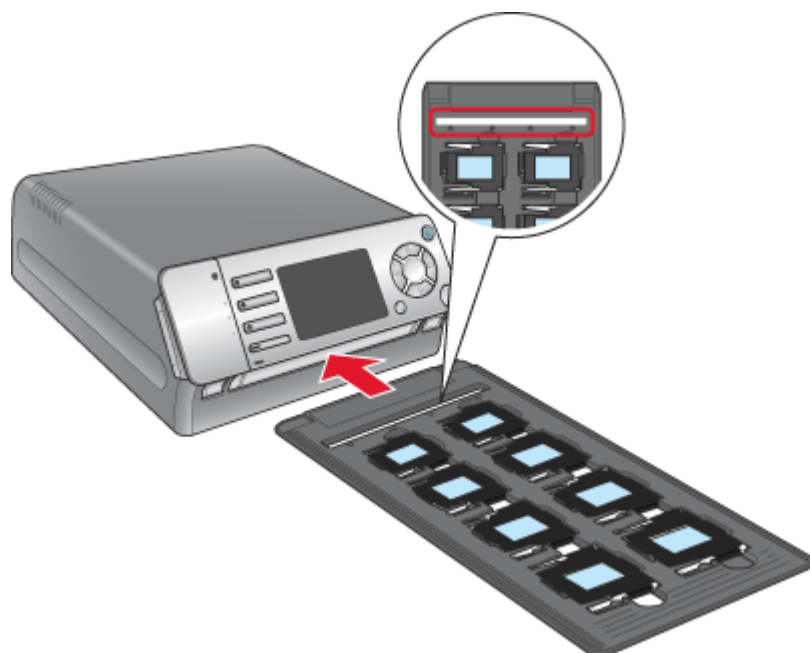
- 必ず本機に付属のホルダを使用してください。
- このホルダは 35mm スライドフィルム専用です。それ以外の原稿をセットしても正しくスキャンされません。
- スライドは 2mm 以内の厚さのものを使用してください。
- EPSON Scan でスキャンした場合に、フィルムの天地を間違えてセットしても、サムネイル表示の場合は、[90 度回転] ボタンをクリックすると、選択している画像を右方向（時計回り）に 90 度ずつ回転できます。
[全選択] ボタンをクリックしてから、[90 度回転] ボタンを使うとまとめてコマの向きを変えられます。



- **プレビューをサムネイル表示する場合**
プレビューをサムネイル表示できる原稿種とセット方法については、以下の項目を参照してください。
☞「サムネイル表示できる原稿種」6
4. **【電源】スイッチを押して電源をオンにします。ホルダを本機のホルダ挿入口に差し込み、ホルダが引き込まれるまで軽く押し込みます（ホルダの長方形窓がかくれる程度（約 5cm）に押し込むと自動的に引き込まれます）。**

ポイント

- ホルダの長方形窓の部分の本機側に向けて挿入してください。
- ホルダを取り出す時は通信ランプが消灯しているときに [イジェクト] を押します。
- ホルダの上部には、光量を補正するための長方形窓と位置決め用の穴があります。この部分をふさがないように正しくセットしてください。

**注意**

スキャンした後は、フィルムをホルダから外してください。長時間フィルムをホルダにセットしたまま放置すると、フィルムが反るおそれがあります。

以上で、35mm スライドフィルムのセットは終了です。次に EPSON Scan を起動してスライドフィルムをスキャンします。
▶▶「EPSON Scan の起動方法」 21

120 / 220 (ブローニ) フィルムのセット方法

120 / 220 (ブローニ) フィルムをスキャンする場合は、次のホルダを使用します。(イラストはフィルムをセットした状態)

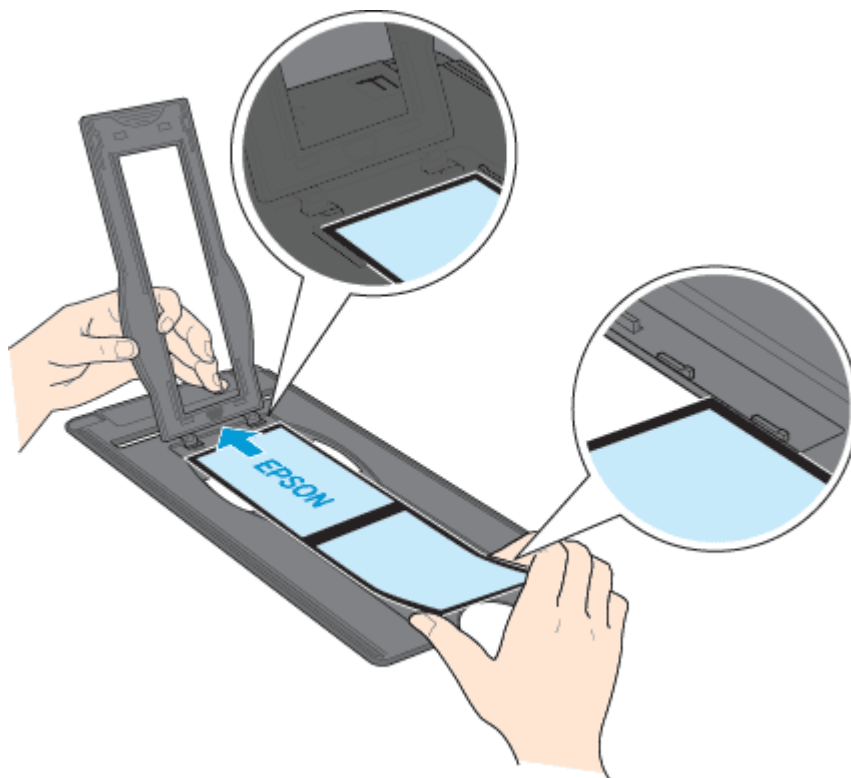


ポイント

サムネイル表示では1コマ目のフィルムはすべてスキャンされますが、コマとコマの幅はカメラによって異なるため、2コマ目以降のフィルムの端が切り取られてスキャンされる場合があります。この場合は、通常表示でプレビューし、スキャンする領域を指定してから取り込んでください。

☞「取り込み枠の調整方法」31

1. カバーのつまみを上に引き上げて、カバーを開けます。
2. フィルムをホルダにセットします。フィルムのベース面（像が正しく見える面）を上に向けて、フィルムの天地を図のように向けてください。

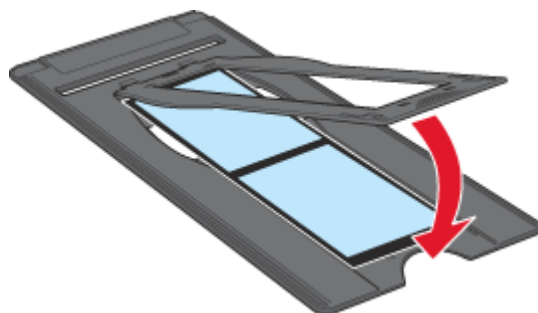


ポイント

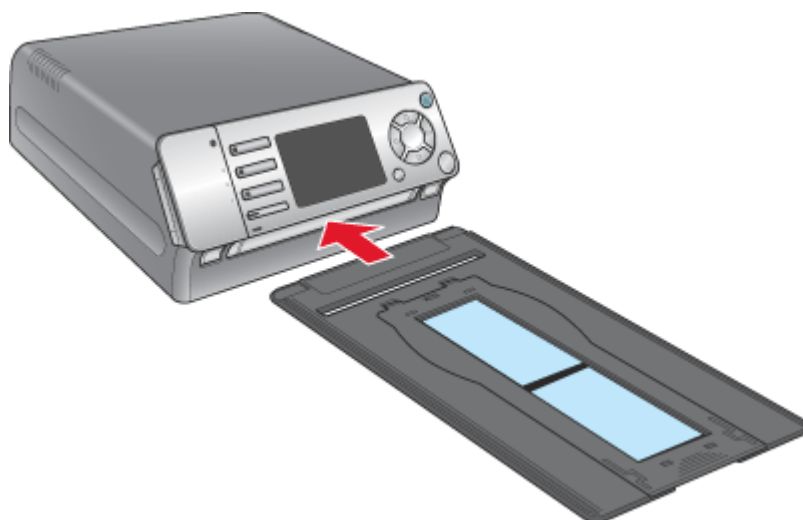
- フィルムは、指紋や手の油が付かないように、端面を指ではさんで持つか、手袋をはめて持ってください。
- このホルダは120/220 (ブローニ) フィルム専用です。それ以外の原稿をセットしても正しくスキャンされません。

3. カバーをセットします。

ツマミをカチッと音がするまで押してください。

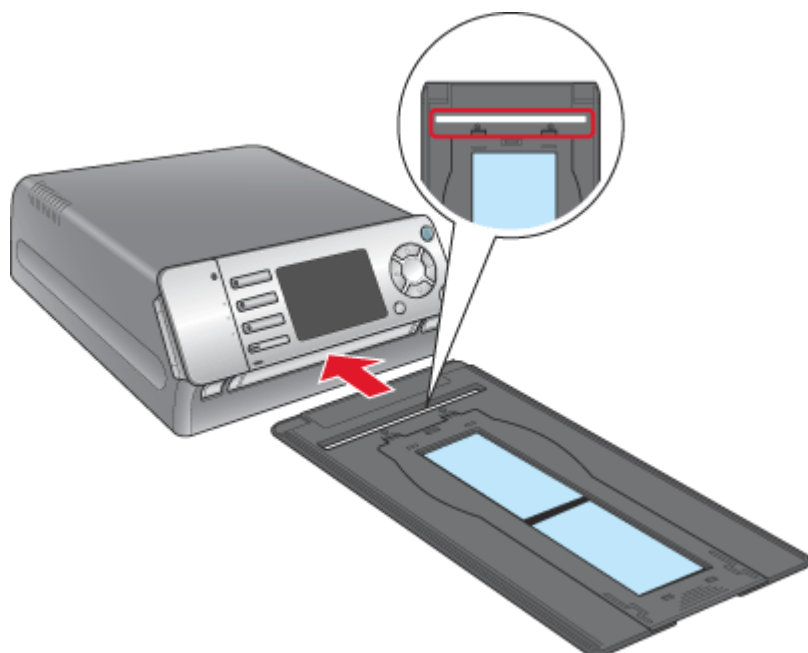


4. [電源] スイッチを押して電源をオンにします。ホルダを本機のホルダ挿入口に差し込み、ホルダが引き込まれるまで軽く押し込みます（ホルダの長方形窓がかくれる程度（約 5cm）に押し込むと自動的に引き込まれます）。



ポイント

- ホルダの長方形窓の部分の本機側に向けて挿入してください。
- ホルダを取り出す時は通信ランプが消灯しているときに [イジェクト] を押します。
- ホルダの上部には、光量を補正するための長方形窓と位置決め用の穴があります。この部分をふさがないように正しくセットしてください。

**注意**

スキャンした後は、フィルムをホルダから外してください。長時間フィルムをホルダにセットしたまま放置すると、フィルムが反るおそれがあります。

これで 120 / 220 (ブローニ) フィルムのセットは終了です。次に EPSON Scan を起動してブローニフィルムをスキャンします。

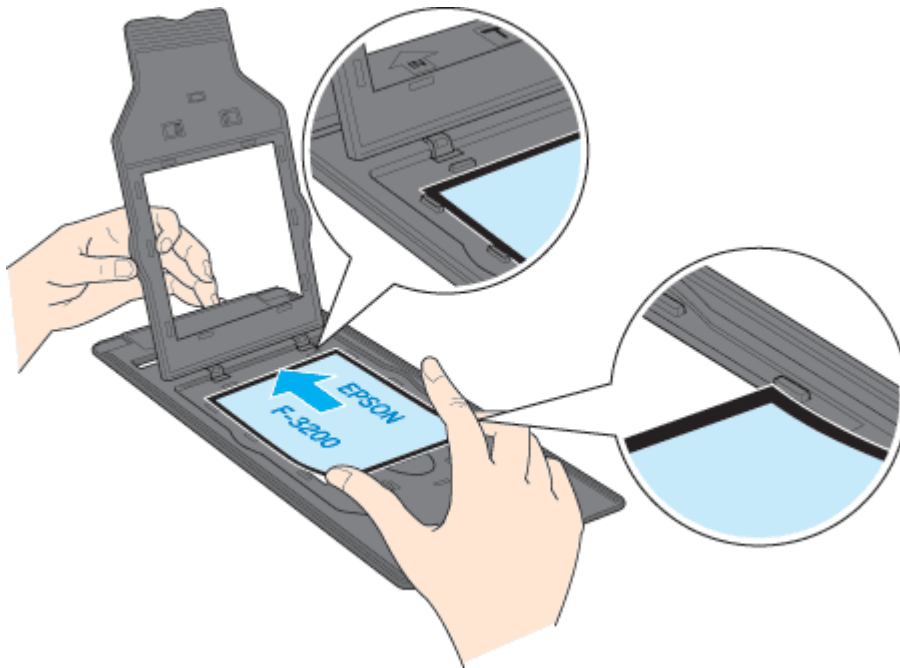
➡「EPSON Scan の起動方法」 21

4 × 5 インチフィルムのセット方法

4 × 5 インチフィルムをスキャンする場合は、次のホルダを使用します。



1. カバーのつまみを上に引き上げて、カバーを開けます。
2. フィルムをホルダにセットします。フィルムのベース面（像が正しく見える面）を上に向けて、フィルムの天地を図のように向けてください。

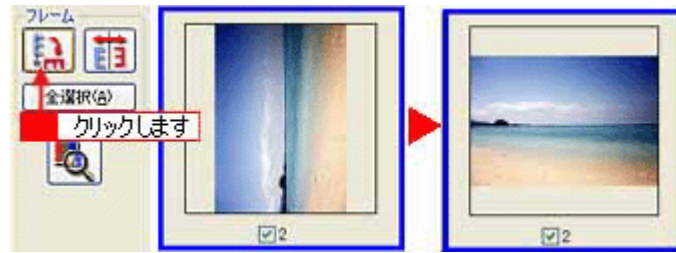


ポイント

- フィルムは、指紋や手の油が付かないように、端面を指ではさんで持つか、手袋をはめて持ってください。



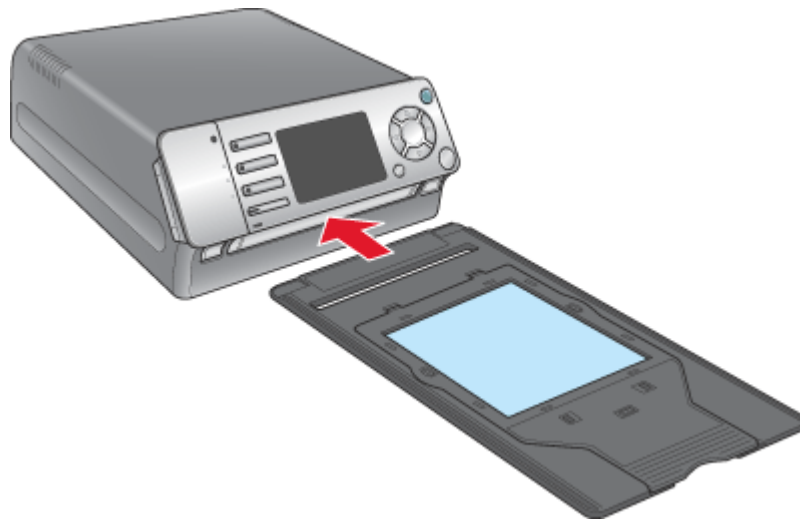
- このホルダは4 × 5 インチフィルム専用です。それ以外の原稿をセットしても正しくスキャンされません。
- EPSON Scan でスキャンした場合に、フィルムの天地を間違えてセットしても、サムネイル表示の場合は、[90度回転] ボタンをクリックすると、選択している画像を右方向（時計回り）に90度ずつ回転できます。



3. カバーをセットします。

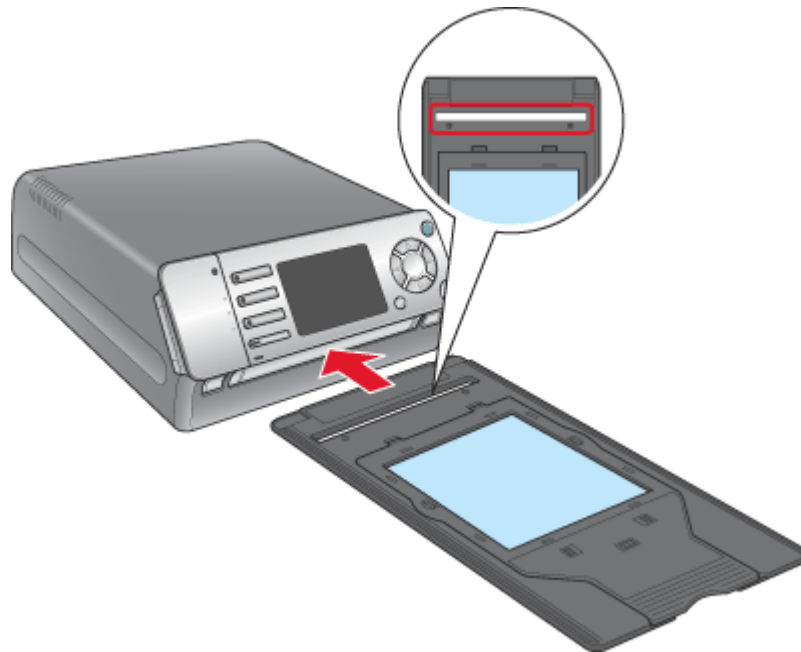
ツマミをカチッと音がするまで押してセットしてください。

4. [電源] スイッチを押して電源をオンにします。ホルダを本機のホルダ挿入口に差し込み、ホルダが引き込まれるまで軽く押し込みます (ホルダの長方形窓がかくれる程度 (約 5cm) に押し込むと自動的に引き込まれます)。



ポイント

- 必ず本機に付属の 4 × 5 インチフィルム用ホルダを使用してください。
- ホルダの長方形窓の部分を中心に挿入してください。
- ホルダの上部には、光量を補正するための長方形窓と位置決め用の穴があります。この部分をふさがないように正しくセットしてください。



- プレビューをサムネイル表示する場合
プレビューをサムネイル表示できる原稿種については、以下の項目を参照してください。
▶▶▶「サムネイル表示できる原稿種」6

注意

スキャンした後は、フィルムをホルダから外してください。長時間フィルムをホルダにセットしたまま放置すると、フィルムが反るおそれがあります。

以上で、4 × 5 インチフィルムのセットは終了です。次に EPSON Scan を起動して 4 × 5 インチフィルムをスキャンします。
▶▶▶「EPSON Scan の起動方法」21

反射原稿のセット方法

写真、切り取った新聞や雑誌などの原稿（反射原稿）をスキャンする場合は、次のホルダを使用します。

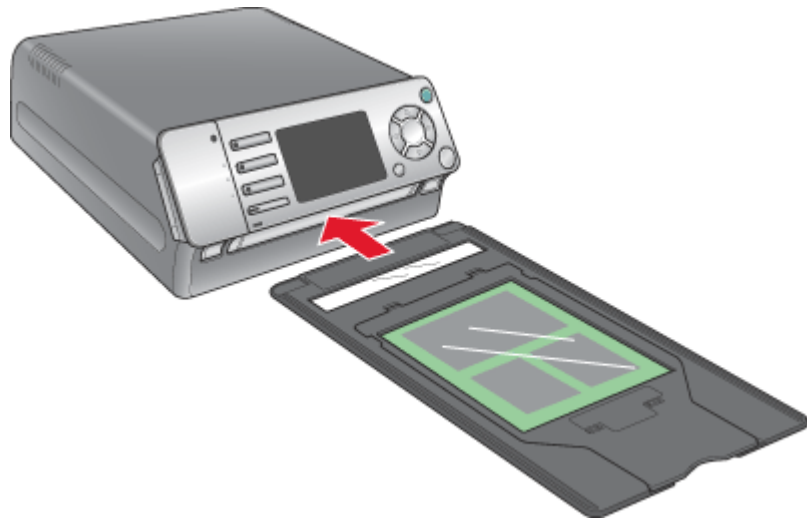


1. カバーのつまみを上に引き上げて、カバーを開けます。
2. 原稿をホルダにセットします。スキャンする対象が印刷されている面を上に向けて、原稿の角をスキャン基準マークの内側に合わせて置き、カバーを閉じます。

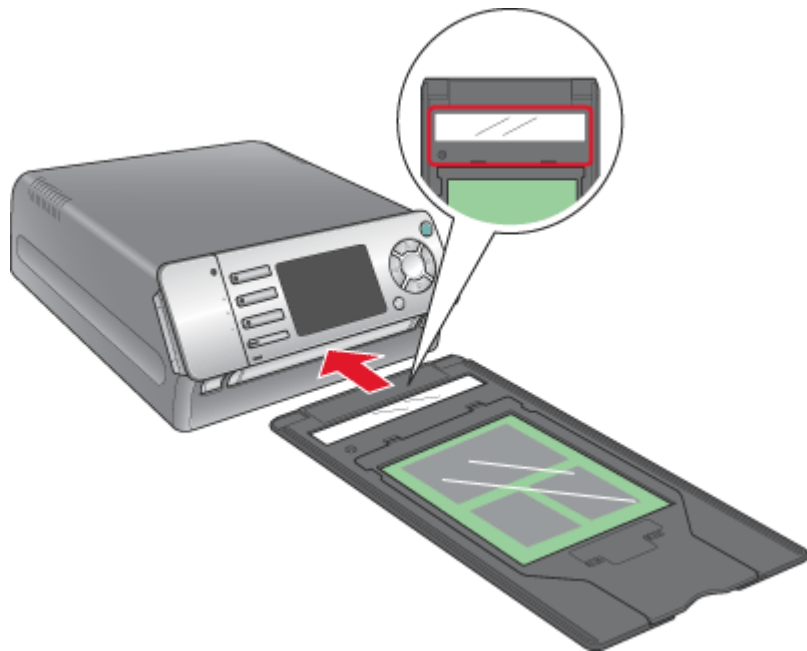


ポイント

- 切り取り原稿は、折り目や曲がりのないものを使用してください。折り目が付いていると、正しくスキャンされることがあります。
 - このホルダにセットできるサイズは最大4×6インチ（約102×153mm）です。
 - 原稿やホルダの透明な部分にゴミが付いていないか確認してください。ホルダの透明部分にゴミ、汚れなどがあるときは、同梱のクリーニングクロスでからぶきしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よくしぼって汚れをふき取ってからクリーニングクロスでふいてください。
 - カバーを閉じたら、カバー全体を押さえて浮いている部分がないか確認してください。
3. [電源] スイッチを押して電源をオンにします。ホルダを本機のホルダ挿入口に差し込み、ホルダが引き込まれるまで軽く押し込みます（ホルダの長方形窓がかけれる程度（約5cm）に押し込むと自動的に引き込まれます）。

**ポイント**

- 必ず本機に付属のホルダを使用してください。
- ホルダを取り出す時は通信ランプが消灯しているときに [イジェクト] を押します。
- ホルダの上部には、光量を補正するための長方形窓と位置決め用の穴があります。この部分をふさがないように正しくセットしてください。



以上で、反射原稿のセットは終了です。次に EPSON Scan を起動して反射原稿をスキャンします。

➡「EPSON Scan の起動方法」 21

EPSON Scan の起動方法

EPSON Scan の起動には、

- 自動的にファイル名を付けて保存できる単独起動
▶▶「EPSON Scan を単独起動」 21
- 使い慣れたアプリケーションで画像をスキャンして、すぐに編集できる TWAIN 対応アプリケーション からの起動
▶▶「TWAIN 対応アプリケーションから起動」 22

の 2 つの起動方法があります。

EPSON Scan を単独起動

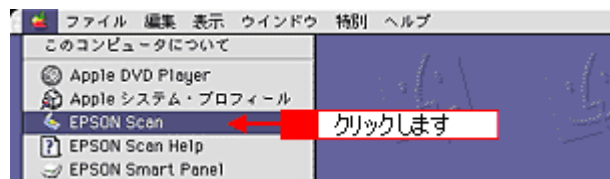
EPSON Scan を単独起動する方法を説明します。単独起動でスキャンした画像は、自動的にファイル名を付けて保存できます。

ポイント

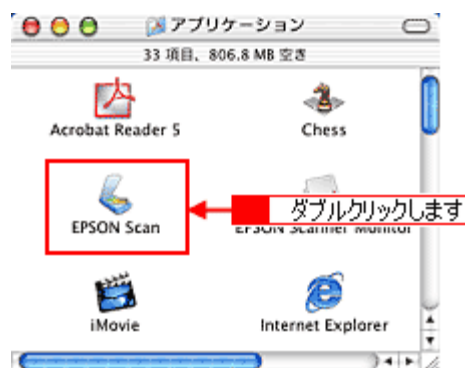
TWAIN 対応アプリケーションから、すでに EPSON Scan を起動している場合は、先にそちらを終了しておいてください。

1. EPSON Scan を起動します。

アップルメニューー [EPSON Scan] をクリックします。



Mac OS X の場合は、ハードディスクー [アプリケーション] フォルダー [EPSON Scan] をダブルクリックします。



2. EPSON Scan 画面が表示されます。

EPSON Scan を初めて起動した場合は、ホームモードが起動します。EPSON Scan にはホームモードとプロフェッショナルモードがあり、モードの切り替えが可能です。モードの切り替え方法やモードについての詳細は以下を参照してください。

▶▶「モードの選択方法」 24



ポイント

簡単な画像の調整で、手軽にスキャンしたい方は、ホームモードでお使いになることをお勧めします。ホームモードは、出版用途でなければ十分な品質が得られ、最もお勧めのモードです。

TWAIN 対応アプリケーションから起動

ここでは、同梱の TWAIN 対応アプリケーション Adobe Photoshop Elements 2.0 を使って、EPSON Scan を起動する方法を説明します。

ポイント

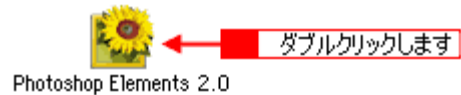
- すでに他の TWAIN 対応アプリケーションから、または単独起動で、EPSON Scan を起動している場合は、先にそちらを終了しておいてください。
- Adobe Photoshop Elements 2.0 の詳しい使い方については Adobe Photoshop Elements 2.0 のヘルプをご覧ください。
- Adobe Photoshop など、一般の TWAIN 対応アプリケーションからも EPSON Scan を起動することができます。一般的には、[ファイル] メニューの [インポート] でスキャナ名を選択するか、[TWAIN 対応機器の選択] でスキャナ名を選択後、[TWAIN 対応機器からの入力] を選択します。

Adobe Photoshop Elements からの起動

1. Adobe Photoshop Elements 2.0 を起動します。

[ハードディスク] - [アプリケーション] フォルダ - [Adobe Photoshop Elements 2] フォルダ - [Photoshop Elements 2.0] をダブルクリックして起動します。

Adobe Photoshop Elements 2.0 は、Mac OS 9.1、9.2、OS X ver.10.1.3-10.1.5 に対応しています。それ以外の OS の場合は、市販の Adobe Photoshop 7.0 などを使って同様の操作をしてください。



2. [ファイル] メニュー - [読み込み] - [EPSON F-3200] を選択します。
3. EPSON Scan が起動します。

EPSON Scan にはホームモードとプロフェッショナルモードがあり、モードの切り替えが可能です。モードの切り替え方法やモードについての詳細は以下を参照してください。

☞「モードの選択方法」24



ポイント

簡単な画像の調整で、手軽にスキャンしたい方は、ホームモードでお使いになることをお勧めします。ホームモードは、出版用途でなければ十分な品質が得られる最もお勧めのモードです。

モードの選択方法

EPSON Scan にはホームモードとプロフェッショナルモードがあり、モードの切り替えが可能です。目的と用途に合わせて各種機能を活用してください。

ここでは、モードの特徴とモードの切り替え方法を説明します。

モードの特徴

各モードの特徴は以下のとおりです。

ホームモード

簡単な設定でスキャンができる、最もお勧めのモードです。出版用途でなければ、十分な品質が得られます。

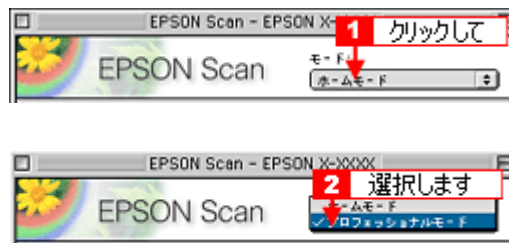
プロフェッショナルモード

高度な画質調整機能を備えたモードです。出版用途での利用や、より詳細な設定をしてスキャンしたいときにご使用ください。

モードの切り替え方法

モードは、次の方法で切り替えてください。

初めて起動した場合は、ホームモードが起動します。モードを切り替えたいときは [モード] のプルダウンメニューから選択します。



取り込み設定を保存する方法

プロフェッショナルモードでは、取り込み枠・出力設定・画質調整などの設定をまとめて保存することができます。例えば次のような使い方ができます。

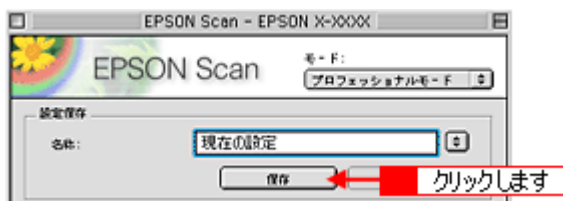
取り込み枠の再利用	取り込み枠の位置をすべて保存できるので、写真・名刺などをスキャンする時に、常に同じ位置 / 同じ向きにセットすれば、取り込み枠を毎回作成する必要がありません。
出力サイズの再利用	壁紙またはデスクトップピクチャ用、A4 印刷用などの設定を保存しておけば、出力サイズを毎回設定する必要がありません（取り込み枠を微調整するだけです）。

取り込み設定を保存する

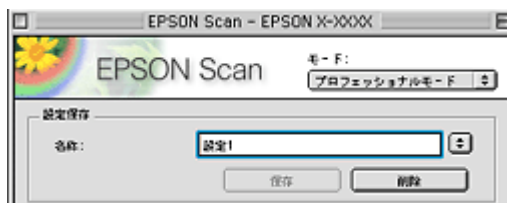
1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

☞☞ 「EPSON Scan の起動方法」 21

2. スキャンする原稿種の設定・イメージタイプの設定を行います。
3. 原稿をプレビューし、取り込み枠の設定や画質調整などを行います。
4. [保存] ボタンをクリックして取り込み設定を保存します。



5. 設定保存の [名称] の欄に、「設定 1」「設定 2」... と自動入力されます。



保存した設定を利用してスキャンする

保存した取り込み設定を利用して画像をスキャンします。

1. EPSON Scan（プロフェッショナルモード）を起動し、原稿をプレビューします。
2. スキャンに利用する設定保存名を選択します。



EPSON Scan の各種設定が、保存されている設定に変わります。

3. [スキャン] ボタンをクリックして、画像をスキャンします。



ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

取り込み設定を削除する

保存した取り込み設定を削除します。

1. 削除したい設定保存名をリストから選択し、[削除] ボタンをクリックします。




2. [OK] ボタンをクリックします。

[OK] ボタンをクリックすると、削除が実行され、ダイアログボックスが閉じます。



プレビュー表示について

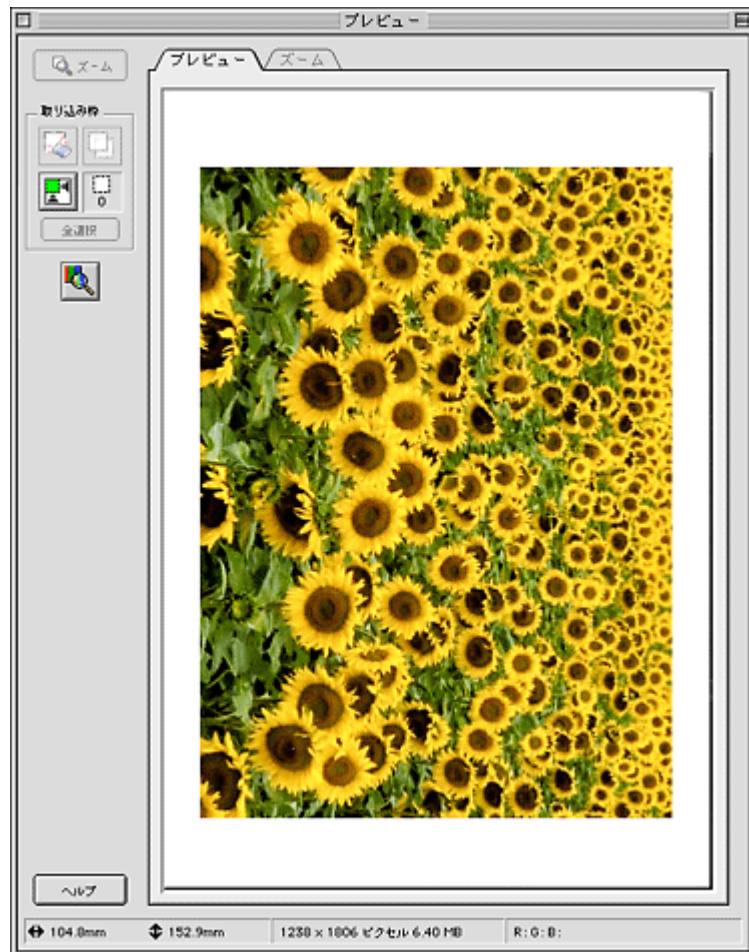
通常表示とサムネイル表示


表示の切り替えは [プレビュー] ボタンの右にある縦長 () のボタンをクリックした後、表示されるメニューから [通常表示] または [サムネイル] を選択します。



通常表示

[プレビュー] ボタンから「通常表示」を選択してプレビューすると以下のような画面が表示されます。



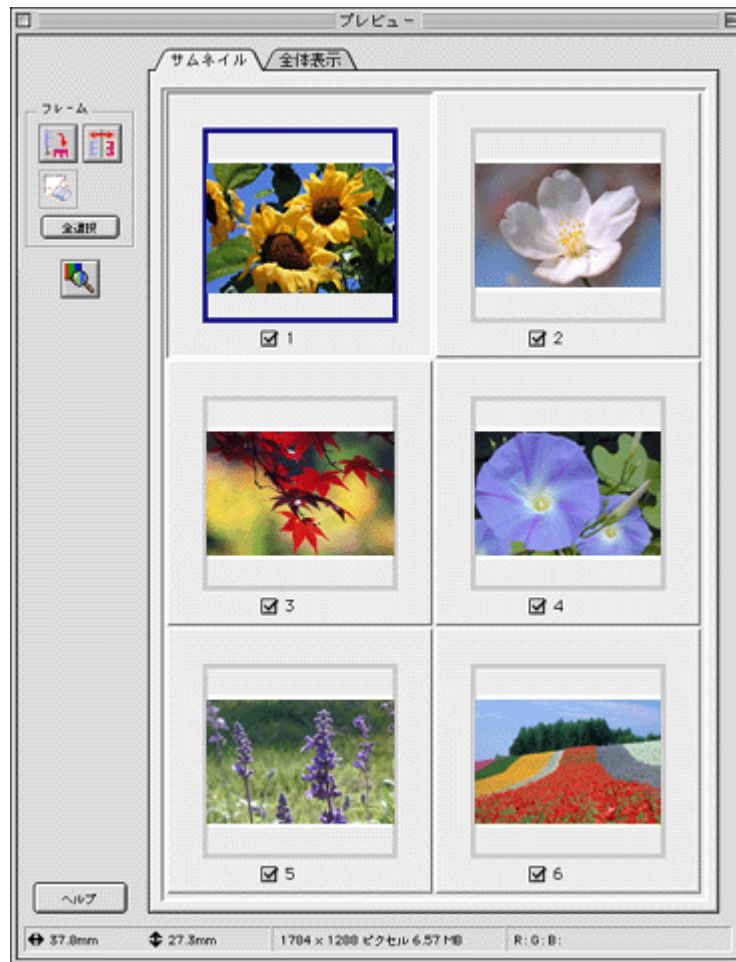
ホームモードの「イラスト」「雑誌」、プロフェッショナルモードの「反射原稿」など、表示が「通常表示」に固定されている原稿種は、[プレビュー] ボタン右横のボタン () は表示されません。

サムネイル表示

[プレビュー] ボタンから「サムネイル」を選択してプレビューすると、プレビューがサムネイル表示されます。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。



サムネイル表示にすると一画面で複数枚の画像を見ることができますが、表示が小さくなります。目的に応じて表示を変えてください。

正しくプレビューされない場合

- 原稿種の設定と、実際にセットした原稿が異なっていると、エラーメッセージが表示され、プレビューされません。原稿種の設定とセットした原稿が同じであることを確認して、再度 [プレビュー] をクリックしてください。また、原稿種によっては、表示方法の切替はできません。
- ブローニフィルムの 6 × 9cm より大きいサイズをセットしている場合は、[プレビュー] で「通常表示」を選択して、再度 [プレビュー] をクリックしてください。

出力サイズについて

出力サイズの設定は、プレビュー表示の状態により、設定方法が異なります。画像を目的にあったサイズで簡単にスキャンすることができます。

プレビューが通常表示の場合


原稿と同じサイズでスキャンしたいときは、プレビュー画面でマウスをドラッグして取り込み枠を作成します。原稿と異なる大きさとスキャンしたいときは、出力サイズに希望するサイズを設定します。取り込み枠がそのサイズの縦横比で作成されますので、その後、マウスをドラッグして取り込み枠のサイズと位置を調整します。

プレビューがサムネイル表示の場合

- 原稿種にフィルムを設定してサムネイル表示した場合、出力サイズが自動的にホームモードでは、L判（89 × 127mm）、プロフェッショナルモードでは等倍に設定されます。それ以外のサイズでスキャンする場合は、対象になる画像を選択し、出力サイズを変更してください。
その後、プレビュー画面でマウスをドラッグして取り込み枠を調整します。
- サムネイル表示した場合、出力サイズが自動的に等倍に設定されます。等倍以外のサイズでスキャンする場合は、対象になる画像のみを選択し、出力サイズを変更してください。
その後、プレビュー画面でマウスをドラッグして取り込み枠を調整します。

環境設定ダイアログ

「ホームモード」「プロフェッショナルモード」ともに、[環境設定] ボタンをクリックすると環境設定ダイアログが表示されます。ここでは概要のみ説明します。設定の詳細は、「EPSON Scan ヘルプ」をご覧ください。

 「ヘルプの表示方法」 150

環境設定ダイアログは、「プレビュー」、「カラー」、「フィルムサイズ」、「その他」の4つのタブで構成されています。

取り込み枠の調整方法

原稿の一部分だけスキャンしたいとき、通常表示またはサムネイル表示でプレビューし、プレビュー画面で領域を指定します。

ポイント

- 例えば雑誌のページから写真部分だけを指定して、画像をスキャンすることができます。
- 取り込み枠の精度を高めたい場合は、通常表示でプレビューしてください。
- TWAIN 対応アプリケーションから EPSON Scan を起動した場合、複数の取り込み枠を指定しても、アプリケーションが複数枚取り込みに対応していないと、有効になっている取り込み枠の領域だけがスキャンされます。

通常表示の場合

取り込み枠をマウスで指定する

1. EPSON Scan を起動し、ホームモードまたは、プロフェッショナルモードを選択します。

☞「EPSON Scan の起動方法」21

2. 通常表示でプレビューします。

サムネイル表示の場合は、通常表示でプレビューし直してください。
メインウィンドウにある [プレビュー] ボタン右横の縦長の () ボタンをクリックし、表示されるメニューで [通常表示] を選択してから、[プレビュー] ボタンをクリックしてください。
ただし、原稿種によって、縦長のボタンは表示されません。その場合は、通常表示のみになります。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

3. プレビュー画面上で、マウスでドラッグして取り込み枠を指定します。

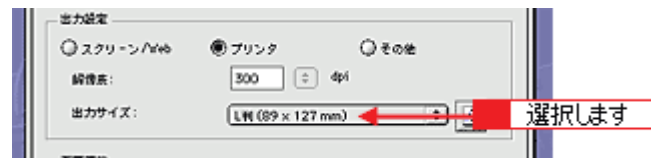


出力サイズを指定して取り込み枠を作成する

スキャンした画像の出力サイズを指定します。


1. 出力サイズを選択します。

[出力サイズ] リストから、出力するサイズを選択します。



指定されたサイズの縦横比で取り込み枠が作成されます。取り込み枠を拡大 / 縮小または移動してスキャンする領域を決めてください。このとき、取り込み枠の縦横比は変わりません。

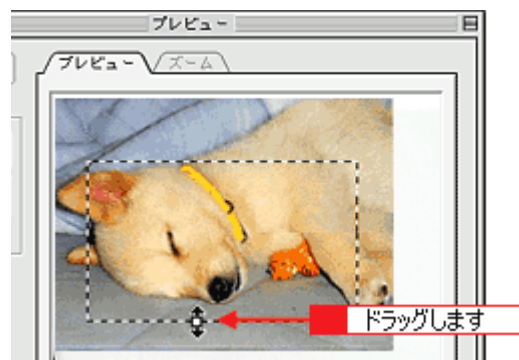
ポイント

取り込み枠を削除したいときは、 ボタンをクリックします。


取り込み枠を広げる、狭める

指定した取り込み枠を広げたり、狭めることができます。

1. 取り込み枠の線上にカーソルを移動すると矢印の形になります。このとき、広げたい、または狭めたい方向の線上に、ポインタを合わせてドラッグします。



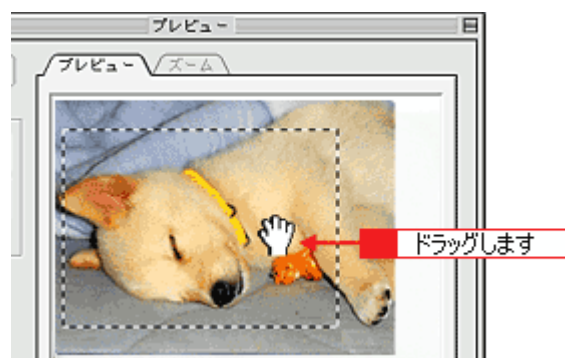
ポイント

- 取り込み枠を変形させると、プレビューウィンドウの左下に取り込み枠のサイズ (mm またはインチ)、スキャン後の画像のサイズ (ピクセル)、ファイル容量の目安が連動して表示されます。
- 縦横比を固定して調整するには、[Shift] キーを押しながらドラッグします。
- 取り込み枠を削除したいときは、 ボタンをクリックします。

スキャン位置を変更する

取り込み枠を、別の位置に移動できます。取り込み枠のサイズは変わりません。

1. 取り込み枠の中にカーソルを移動すると手の形になります。このとき、ドラッグして移動できます。



サムネイル表示で取り込み枠を指定する

取り込み枠をマウスで指定する

1. EPSON Scan を起動します。

 「EPSON Scan の起動方法」 21

2. サムネイル表示でプレビューします。





ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約 5 分かかる場合があります。

3. サムネイル表示のプレビュー画面上で、取り込み枠を指定したい画像をダブルクリックして全体表示します。

4. ドラッグして取り込み枠を指定します。

ポイント

- 作成した取り込み枠を削除したいときは、 ボタンをクリックします。選択されているサムネイル画像の取り込み枠を削除できます。
- 取り込み枠の大きさの変更や、スキャン位置の変更の操作については、通常表示のプレビューの場合と同じです。
 「取り込み枠を広げる、狭める」 32
 「スキャン位置を変更する」 32
- 取り込み枠を変形しても、出力サイズの縦横比は固定されます。ただし、プロフェッショナルモードで取り込み枠のロックを解除した場合（出力サイズの横にある「」をクリックして、トリミングを「なし」に設定）は、任意の縦横比に変形されます。

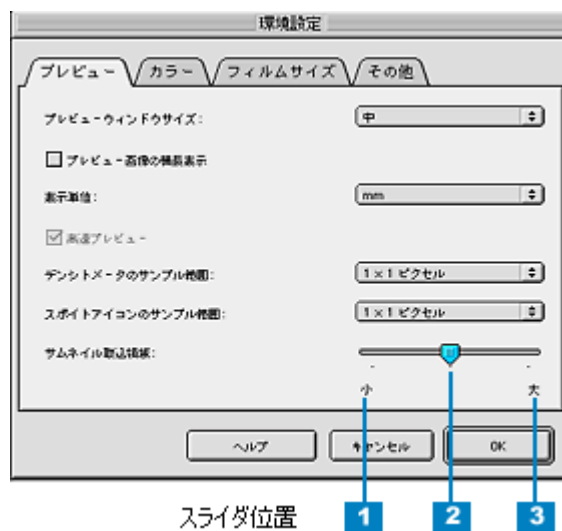
取り込み枠をマウスで指定しない場合の取り込み領域について

マウスで取り込み枠を指定しない場合は、サムネイルの取り込み領域設定に従ってスキャンされます。取り込み領域の設定内容は、次のようになっています。初期設定では、スライダ位置 1 に設定されています。

スライダ位置	フィルムの場合	反射原稿の場合
1	画像領域以外の領域が含まれないように選択された最大領域。	画像領域以外の領域が含まれないように選択された最大領域。
2	画像領域とほぼ一致するが、画像以外の領域を含む場合がある。	画像領域とほぼ一致するが、画像以外の領域を含む場合がある。
3	画像領域と判定された領域の外側の周囲 1mm の領域を含む。	画像領域と判定された領域の外側の周囲 5mm の領域を含む。

取り込み領域を変更したい場合は、[環境設定] ダイアログボックスの [プレビュー] タブの [サムネイル取り込み領域] で変更してください。

スライダ位置 1 : 一番左側の小の位置
 スライダ位置 2 : スライダ位置 1 と 3 の中間
 スライダ位置 3 : 一番右側の大の位置



ポイント

スキャンした結果が期待どおりでなかった場合は、通常表示でプレビューし、取り込み枠を指定してください。

スキャンした画像の保存方法

スキャンした画像の保存方法について説明します。

EPSON Scan を単独起動した場合

1. [スキャン] ボタンをクリックします。




[保存ファイルの設定] ダイアログボックスが表示されます。

2. [保存先]、[ファイル名]、[保存形式] を設定してください。

[保存形式] については、以下の項目を参照してください。

⇒「画像ファイル形式について」37

ポイント

- [保存ファイルの設定] ダイアログボックスは、[スキャン] ボタン右横にある縦長の () ボタンをクリックし、[保存ファイルの設定] を選択しても表示されます。
- [保存ファイルの設定] ダイアログでの設定については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。
⇒「各画面の説明を見たいときは」150



3. [OK] ボタンをクリックします。

画像がスキャンされます。

ポイント

- 後で画像を開く時は、この [保存先] で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。
- ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

TWAIN 対応アプリケーションで保存する場合

ここでは、本機に同梱の Adobe Photoshop Elements 2.0 を例に、スキャンした画像の保存方法を説明します。Adobe Photoshop Elements 2.0 は Mac OS 9.1、9.2、OS X ver.10.3-10.1.5 に対応しています。それ以外の OS の場合は、市販の Adobe Photoshop 7.0 などを使って同様の操作をしてください。

1. TWAIN 対応アプリケーションで保存します。

スキャン終了後、[ファイル] メニュー — [別名で保存] をクリックしてください。



ポイント

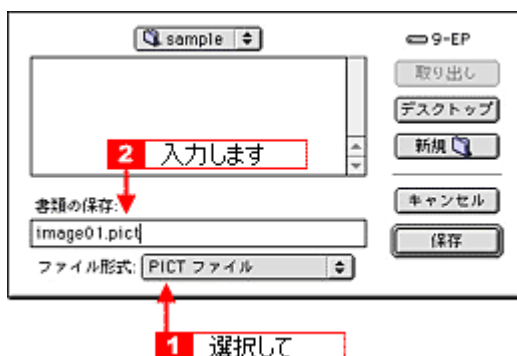
保存の手順は、お使いの TWAIN 対応アプリケーションによって異なります。詳しくは、お使いの TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

2. 保存するフォルダを選びます。

後で画像を開くときにフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。ここでは、フォルダ名に [sample] を選択した場合を例に説明します。



3. ファイル形式を選択して、ファイル名を入力します。



4. [保存] や [OK] などのボタンをクリックして保存します。

以上で、スキャンした画像の保存は終了です。

画像ファイル形式について

主な画像のファイル形式を紹介します。お使いのアプリケーションが各形式に対応しているかご確認の上、ファイル形式を決めてください。

Windows では BMP 形式、Macintosh では PICT 形式で保存しておけば、ほとんどのアプリケーションで開くことができます。

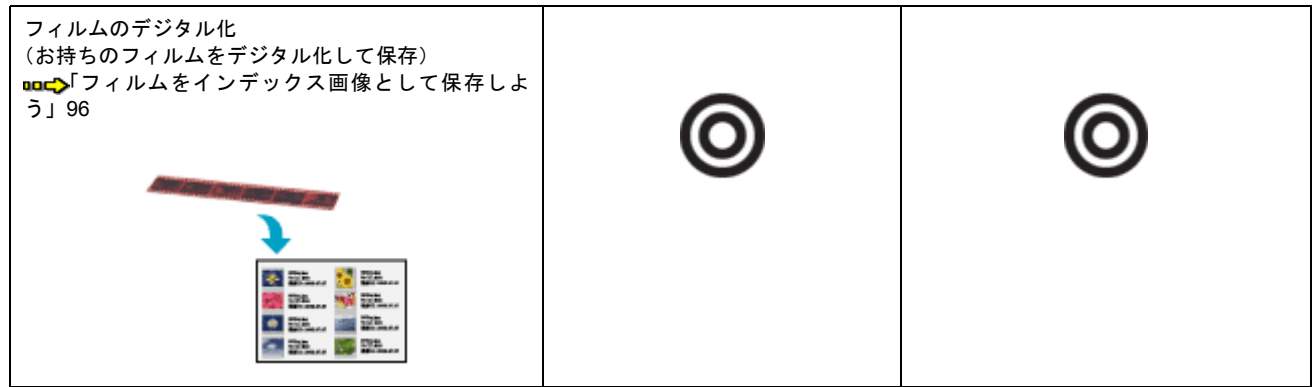
形式 (拡張子)	説明
TIFF 形式 (* .TIF)	グラフィックソフト、DTP ソフトなど、多くのソフトウェアでデータ交換するために作られたファイル形式です。
Multi - TIFF 形式 (* .TIF)	TIFF 形式ですが、複数ページのデータが 1 つのファイルにまとめて保存されます。
BMP 形式 (* .BMP)	多くの Windows 用アプリケーションに対応しているファイル形式です。
PICT 形式 (Macintosh のみ)	Macintosh 標準の画像ファイル形式です。ほとんどの Macintosh 用アプリケーションに対応しています。
JPEG 形式 (* .JPG)	圧縮形式のファイルです。圧縮品質を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し (圧縮後のデータは復元不可)、さらに保存のたびに劣化していきます。レタッチなどの加工が前提の場合、TIFF 形式などで保存してください。
PDF 形式 (* .PDF)	Windows と Macintosh で、画面表示・印刷結果ともに同様の見栄えが得られる汎用的なドキュメント形式です。

画像を補正する場合のおすすめモード

ここでは、使用できるオプションやスキャンする画像の目的に応じたお勧めのモードを説明します。

◎ 最適なモード ○ 使用できるモード

目的	ホームモード	プロフェッショナルモード
フィルムをスキャンする ■▶▶「原稿のセット方法」5 	○	○
出力サイズの指定 (定型サイズに簡単に拡大/縮小) ■▶▶「拡大/縮小の設定方法」41 	○	◎
明るさ・色あいの調整 ■▶▶「明暗を厳密に調整する方法」60 	○	◎
モアレ (網目状の陰影) を取り除く ■▶▶「モアレ (網目状の陰影) を取り除く方法」71 	○	○
文字原稿 / 線画のかすれ補正 ■▶▶「文字原稿/線画のスキャンに適した設定」86 	○	○



お好みの画像サイズで取り込もう

拡大／縮小を設定できるモード

ここでは、ホームモードとプロフェッショナルモードそれぞれのモードで拡大／縮小の設定の違いを簡単に説明します。

モードによる拡大縮小の設定の違い

スキャンしたい画像の拡大／縮小方法によって、適切なモードを選択してください。

ホームモード	出力したいサイズを [出力サイズ] リストから選択して、簡単に拡大／縮小できます。取り込み枠の縦横比は固定です。
プロフェッショナルモード	<ul style="list-style-type: none">出力したいサイズを [出力サイズ] リストから選択して、簡単に拡大／縮小できます。初期設定では、取り込み枠の縦横比は固定ですが、トリミングを「なし」に設定すると、スキャンしたい領域を出力したいサイズに拡大／縮小してスキャンすることができます。


ポイント

プロフェッショナルモードで使用できる「トリミング」について

作成済みの取り込み枠の縦横比を維持するか、または選択した出力サイズの縦横比に変化させるかどうかを設定する機能です。この設定によって、倍率も自動的に変わります。

詳しくは、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

実際の拡大／縮小の設定方法については、以下を参照してください。

 「拡大／縮小の設定方法」 41

拡大／縮小の設定方法

カラー写真を壁紙またはデスクトップピクチャのサイズでスキャンする手順を例に、ホームモード、プロフェッショナルモードそれぞれの場合のスキャン手順を説明します。

☞「ホームモードの場合」41

☞「プロフェッショナルモードの場合」42


ポイント

解像度を設定する場合は、目的に応じた解像度を設定してください。用途に応じた最適な解像度については、以下の項目を参照してください。

☞「解像度を上げるときれいになる？」54

ホームモードの場合

サムネイル表示と通常表示でのスキャン方法を説明します。複数の原稿をスキャンする場合はサムネイル表示が便利ですが、1つの領域をスキャンする場合は、取り込み枠を拡大／縮小できる通常表示がお勧めです。

通常表示を選択するには、メインウィンドウにある [プレビュー] ボタン右横の縦長の () ボタンをクリックし、表示されるメニューで通常表示を選択してから、[プレビュー] ボタンをクリックしてください。

1. カラー写真をセットしたホルダを本機にセットします。

2. EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。

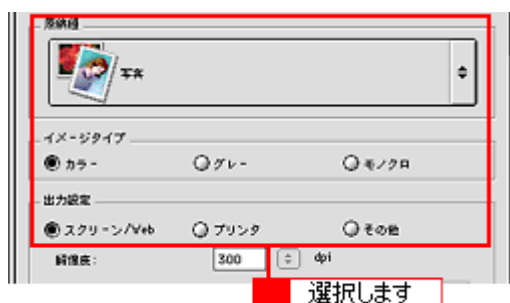
☞「EPSON Scan の起動方法」21

3. [原稿種]、[イメージタイプ]、[出力設定] を目的に合わせて設定します。

[原稿種] は実際にセットしている原稿に合わせて選択してください。

出力設定は、[スクリーン / Web] または [プリンタ] を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。[その他] を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。

ここでは、[スクリーン / Web] を選択します。




4. [プレビュー] ボタンをクリックして、仮スキャン (プレビュー) をします。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

5. 出力サイズを設定します。

出力サイズリストから、出力するサイズを選択してください。

ここでは、壁紙またはデスクトップピクチャのサイズ、[画面一 (768 × 1024)] を選択します。また、 ボタンをクリックすると縦 / 横の向きが変更できます。選択した範囲が縦 / 横の向きを変えた場合、どのような範囲になるかを確認するのに便利な機能です。



選択した出力サイズの縦横比で、取り込み枠がプレビュー画面に表示されます。

6. 取り込み枠をドラッグして移動し、スキャンする領域を決めます。

取り込み枠の中にカーソルを移動すると手の形になり、ドラッグして移動できます。取り込み枠を拡大 / 縮小する場合は、取り込み枠の角にカーソルを移動すると矢印になるので、ドラッグして大きさを調整してください。



ポイント

取り込み枠のサイズを拡大 / 縮小しても縦横比は変わりません。[出力サイズ] で選択したサイズに収まるように、倍率が自動設定されます。

7. [スキャン] ボタンをクリックして画像をスキャンします。

指定したサイズで画像がスキャンされます。



ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

8. 画像を保存します。

⇒「スキャンした画像の保存方法」35

ポイント

- デスクトップピクチャ用の画面は、PICT 形式で保存することをお勧めします（アプリケーションソフトの機能を使ってデスクトップピクチャに設定する場合を除く）。
- ここで紹介した手順でスキャンすれば、希望するサイズ / 解像度の画像ファイルを作成できます。デスクトップピクチャの作成・印刷用画像の作成・ホームページ用のサムネイル画像の作成などにお役立てください。

プロフェッショナルモードの場合

プロフェッショナルモードでは、スキャンしたい領域をお好みのサイズに拡大 / 縮小してスキャンすることができます。

ポイント

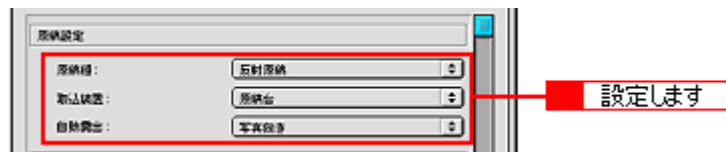
プロフェッショナルモードの場合、原稿種がカラー写真のような反射原稿の場合、サムネイル表示はできません。サムネイル表示できるのは、原稿種がフィルムの場合のみです。

1. カラー写真をセットしたホルダを本機にセットします。
2. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

☞「EPSON Scan の起動方法」21

3. 【原稿設定】を目的に合わせて設定します。

【原稿種】は実際にセットしている原稿に合わせてください。
【取込装置】、【自動露出】は原稿に適した項目を選択してください。



4. 【イメージタイプ】と【解像度】を目的に合わせて設定します。

ここでは、解像度は 96dpi に設定します。

ポイント

通常、コンピュータの画面の解像度は 70 ~ 90dpi くらいです。そのため、例えば、壁紙またはデスクトップピクチャ用の画像を 150dpi でスキャンしても、画面から画像がはみ出してしまいます。




5. 【プレビュー】ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約 5 分かかる場合があります。

6. 【出力サイズ】を設定します。

ここでは、壁紙またはデスクトップピクチャのサイズ、【画面一 (768 × 1024)】を選択します。また、 ボタンをクリックすると縦 / 横の向きが変更できます。選択した範囲が縦 / 横の向きを変えた場合、どのような範囲になるかを確認するのに便利な機能です。



7. 作成された取り込み枠を拡大 / 縮小または移動し、スキャンしたい領域を設定します。

このとき、取り込み枠の縦横比は変わりません。また、倍率は自動的に計算されます。



ポイント

縦横比を固定せずに思い通りの領域をスキャンしたい場合は、出力サイズの横にある「▶」をクリックして、トリミングを「なし」に設定してください。取り込み枠のロックが解除されるので、再度、手順7の操作を繰り返してください。

トリミングを「なし」に設定した場合、スキャン後の画像サイズは、設定した出力サイズからはみ出ないサイズになります（倍率が自動的に計算されます）。

8. [スキャン] ボタンをクリックして画像をスキャンします。

指定したサイズで画像がスキャンされます。



ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

9. 画像を保存します。

☞「スキャンした画像の保存方法」35

ポイント

- デスクトップピクチャ用の画像は、PICT形式で保存してください（アプリケーションソフトの機能を使ってデスクトップピクチャに設定する場合を除く）。
- ここで紹介した手順でスキャンすれば、希望するサイズ / 解像度の画像ファイルを作成できます。壁紙またはデスクトップピクチャの作成・印刷用画像の作成・ホームページ用のサムネイル画像の作成などにお役立てください。

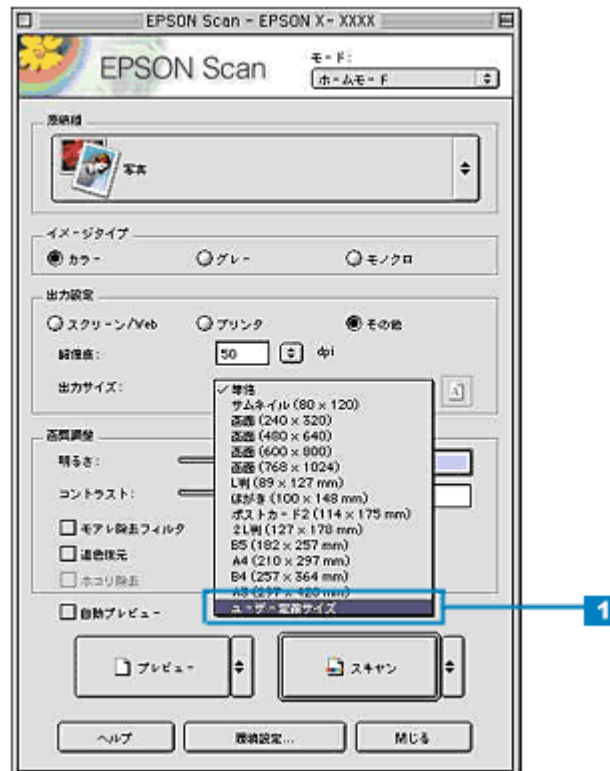
ユーザー定義サイズの作成方法

[出力サイズ] リストに、目的のサイズ（縦横のサイズ）がない場合は、目的のサイズを [ユーザー定義サイズ] として作成し、登録できます。

ポイント

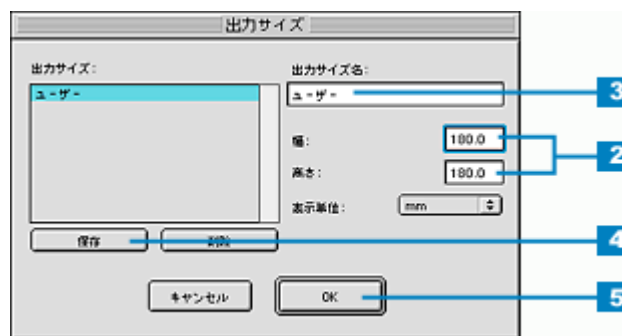
- [出力サイズ] は、ホームモード、プロフェッショナルモードで設定できます。
- [出力サイズ] は、プレビュー後に設定できます。

1. [出力サイズ] リストから、[ユーザー定義サイズ] を選択します。



2. 表示された画面で、[幅] と [高さ] を設定します。

設定できる最小値は 25.4mm (25 ピクセル、1 インチ)、最大値は 15,240.0mm (30,000 ピクセル、600 インチ) です。作成した定義サイズが選択できない場合は、[解像度] の設定値を下げてください。



3. [出力サイズ名] を入力します。

入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。

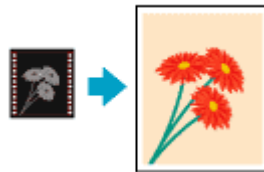
4. **【保存】** ボタンをクリックします。

5. **【OK】** ボタンをクリックします。

以上で、ユーザー定義サイズの作成と登録は終了です。

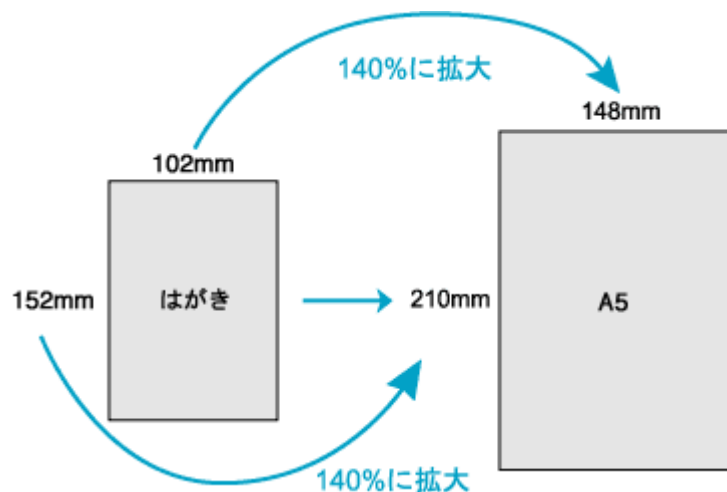
拡大／縮小と解像度の関係

解像度項目で設定する解像度は、出力解像度（スキャン後の画像の解像度）を示します。入力解像度（スキャンする際の解像度）は、出力解像度の設定、出力サイズの設定、取り込み枠の設定によって自動的に決まります。そのため、拡大／縮小する場合、解像度の数値を拡大／縮小率に合わせて計算・設定する必要はありません。拡大／縮小する場合に、入力解像度がどのように決まるか、参考として説明します。



縦横比が同じ原稿の拡大／縮小率

はがきサイズの原稿を、A5 サイズで拡大してスキャンする場合を例に説明します。はがきサイズを A5 サイズに拡大するには、縦横それぞれを 140% に拡大します。



したがって、入力解像度は

例えば、はがきサイズの原稿を
出力サイズ：A5
解像度：300dpi
の設定でスキャンする場合、

入力解像度は自動的に

$$300\text{dpi} \times 140\% = 420\text{dpi}$$

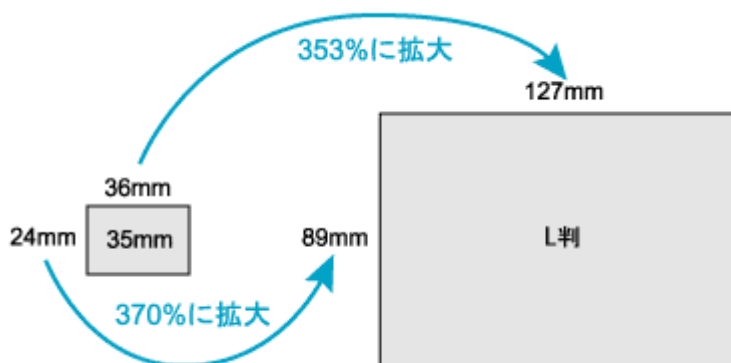
となります。

縦横比が違う原稿の拡大／縮小率

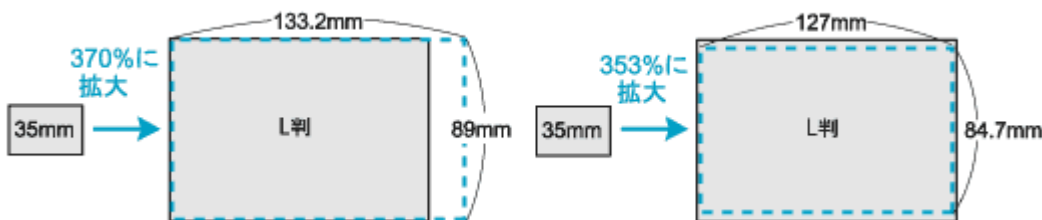
縦横比が同じ原稿は、縦横を同じ比率で拡大／縮小すればよいのですが、35mm フィルムを L 判に拡大する場合、縦横比が異なります。このような場合、拡大／縮小率はどのようになるのでしょうか？ 35mm フィルムと L 判はそれぞれ次のサイズです。



35mm フィルムをL判の大きさに拡大するには、縦を約 370%、横を 353% に拡大することになります。



この場合、35mm フィルムの縦の長さがちょうど収まる約 370% に拡大すると、横がはみ出してしまいます。横の長さがちょうど収まる約 353% に拡大すると、縦が少し小さめになりますが、L版のサイズに収まります。



したがって、[出力サイズ] で 35mm フィルムをL判で出力するには、縦横の両方が収まる、353% に拡大されます。入力解像度は

例えば、35mm フィルムを
出力サイズ：L判
解像度：300dpi
の設定でスキャンする場合、

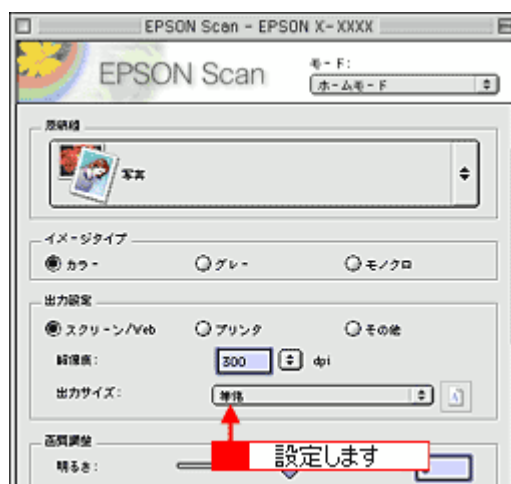
入力解像度は自動的に

$$300\text{dpi} \times 353\% = 1059\text{dpi}$$

となります。

ポイント

- 入力解像度と出力解像度を一致させたいときは、出力サイズを等倍に設定してください。



- プロフェッショナルモードでは、この説明は「出力サイズ」のトリミングを「あり」に設定している場合（初期設定）の例になります。

フィルムや写真をきれいに取り込もう

フィルムのゴミを取り除く方法

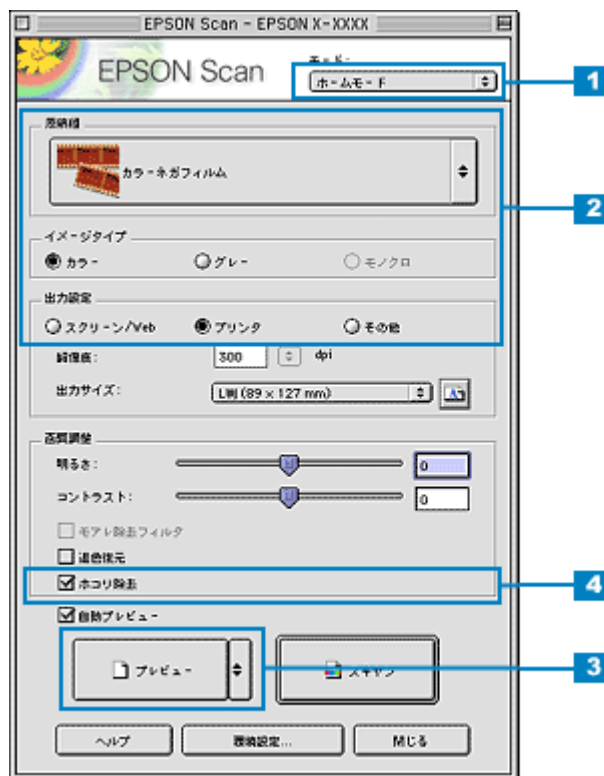
画像スキャン時に、フィルムまたはガラスに付いているホコリを取り除いて、画像をスキャンします。ここでは、ホームモードの場合を例に説明します。
フィルムをセットする前に、ブロアーなどでフィルムの主なホコリを取り除いておいてください。

1. EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。

☞「EPSON Scan の起動方法」21

2. [原稿種]、[イメージタイプ]、[出力設定] を、目的に合わせて設定します。

原稿種でポジフィルム、カラーネガフィルムまたは白黒ネガフィルムを選択したときのみ、この調整ができます。出力設定は、[スクリーン / Web] または [プリンタ] を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されません。[その他] を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。



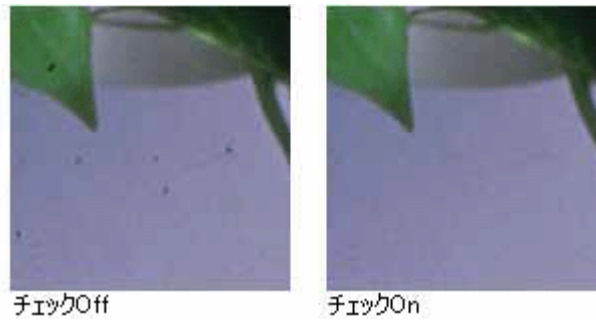
3. [プレビュー] ボタンをクリックして、仮スキャン (プレビュー) をします。

ポイント

- ・ ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。
- ・ ホコリ除去は、プレビューには適用されません。スキャン後の画像に対してのみ有効です。

4. [ホコリ除去] チェックボックスをチェックします。

次のように、フィルムの上のホコリが除去されます。

**ポイント**

- ホコリ除去はソフトウェアで処理しますので、チェックされていると解像度によってスキャンに時間がかかります。
- ホコリ程度の大きさの画像は消えることがあります。
- フィルムによっては、思い通りにホコリ除去が機能しない場合があります。そのときは、フィルム、またはホルダの異物を取り除いてからスキャンしてください。
- 極端に小さなホコリは除去されない場合があります。
- ホコリ程度の大きさの画像が並んでいる場合、ぼかしがかかったようになることがあります。

5. [スキャン] ボタンをクリックして、取り込みを実行します。**ポイント**

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

以上で、フィルムのゴミを取り除く調整は終了です。

画像をシャープにする方法

ここでは、原稿にシャープさが足りない場合に、アンシャープマスクの度合いを調整し、輪郭部分を強調してシャープにする方法を説明します。

ポイント

- アンシャープマスクは、プロフェッショナルモードで使用できます。ホームモードでは、自動的に適用されます。ここでは、プロフェッショナルモードを選択した場合を例に説明します。
- イメージタイプで [カラースムージング]、[中間調]、[モノクロ] を選択した場合は、設定できません。

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

☞「EPSON Scan の起動方法」21

2. [原稿設定]、[出力設定] を設定します。

原稿に適した項目を設定してください。

3. [プレビュー] ボタンをクリックします。

画像の仮スキャン（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。

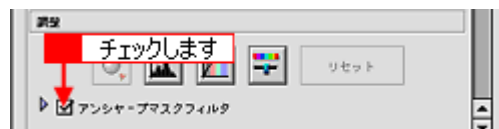
ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

4. 「お勧めの調整方法」を参照して、一通り画質の調整を行います。

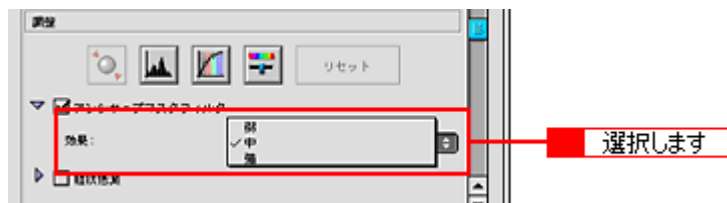
☞「お勧めの調整方法」61

5. [アンシャープマスクフィルタ] チェックボックスをチェックします。



6. 必要に応じて [効果] を選択します。

「▶」をクリックして、アンシャープマスクの強度を、弱 / 中 / 強から選択してください。



調整前



調整後(中)

7. スキャンを実行します。

以上で、アンシャープマスクの調整は終了です。

解像度を上げるときれいになる？

解像度を上げると、画素が増え、画像がよりきめ細かになります。しかし、解像度を上げれば上げるほどきれいになるというものではありません。次の説明から、各用途に合った解像度を設定してください。

用途に応じた解像度

用途に応じた解像度の目安は以下のとおりです。

用途	目安となる解像度	説明
Eメール送信	96 ~ 150dpi	目安となる解像度以上に上げると、Eメールの送受信に時間がかかり、メールを受信する相手に負荷がかかります。なるべくデータが小さくなるように解像度を設定してください。
OCR（光学文字認識）	400dpi	目安となる解像度以上に上げても、文字の認識率は向上しません。認識率が良くない場合は、しきい値を調整してください。しきい値を調整した方が、よりよい効果が得られます。 ☞「文字原稿／線画のスキャンに適した設定」86
EPSON インクジェットプリンタでの ファイン印刷	150dpi（カラー、グレー画像の場合） 360dpi（白黒の線画の場合）	目安となる解像度で十分です。それ以上に上げても印刷品質は向上しません。むしろデータ容量が多くなるため、画像のスキャン／保存／読み込み／印刷などが遅くなります。
EPSON インクジェットプリンタでの フォト／スーパーファイン印刷	300dpi（カラー、グレー画像の場合） 720dpi（白黒の線画の場合）	
レーザープリンタでの印刷	200dpi（カラー、グレー画像の場合） 600dpi（白黒の線画の場合）	
ディスプレイ表示	96dpi	通常、コンピュータの画面の解像度は70～90dpiくらいです。そのため、例えば、壁紙またはデスクトップピクチャ用の画像を150dpiでスキャンしても、画面から画像がはみ出してしまいます。

また、解像度を上げるほど、多くのハードディスク／メモリ容量を必要とします。以下は、解像度ごとの画像データ容量の目安です。

原稿の種類	原稿サイズ	解像度		
		150dpi	300dpi	600dpi
カラー写真	L判*	約 1.1MB	約 4.3MB	約 17.4MB
	A4	約 6.1MB	約 24.5MB	約 98MB
白黒写真	L判*	約 0.4MB	約 1.4MB	約 5.8MB
	A4	約 2MB	約 8.2MB	約 32.6MB
文字原稿／線画	A4	—	約 1MB	約 4MB

* 約 90mm × 130mm

ポイント

- 解像度が2倍になると、データ容量は約4倍になります。
- スキャンする画像の容量の目安は、EPSON Scan のプレビューウィンドウの下側に、画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量として表示されます。
- ハードディスクには、最低でもスキャンする画像データ容量の2倍以上の空き容量がないと、スキャンすることはできません。

48bit カラーを選ぶときれいになる？

ここでは、48bit カラーまたは 16bit グレーでスキャンすることのメリットについて、48bit カラーを例に説明します。

ポイント

イメージカラーで 48bit カラーまたは 16bit グレーを選択できるのは、プロフェッショナルモードのみです。

見た目に違いは分からない

48bit カラーでスキャンしても、24bit カラーでスキャンしても、ディスプレイ上では違いがわかりません。これは、コンピュータが 24bit までのデータしか扱えない (1,677 万色までしか表示できない) ためです。

では何が違うのか

見た目には違いが分からなくても、48bit カラーでスキャンした画像はデータ量が豊富です。そのため、フォトレタッチソフトでレベル補正などを行った後の階調飛び (ヒストグラムの歯抜け) を少なくできます。

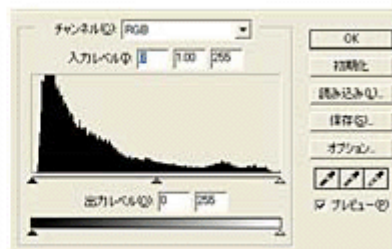
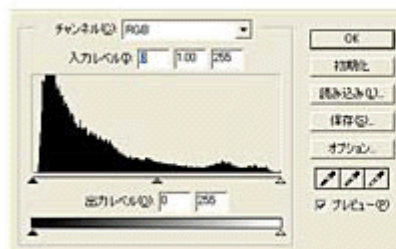
下図では、画像 / ヒストグラムともに、24bit と 48bit の違いはわかりません。



24bitカラーの元画像とヒストグラム

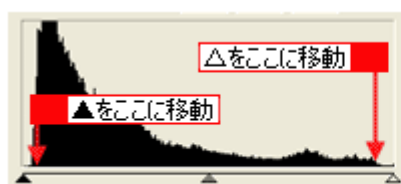


48bitカラーの元画像とヒストグラム

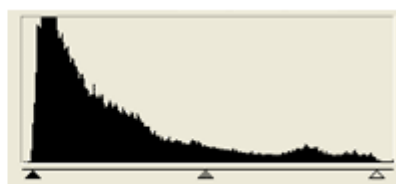


元画像は白い部分 (花の中心にある雪の部分) が白くなっていないため、データの中で本来は白であるべき部分が白くなるように、[ヒストグラム調整] ダイアログで補正します。

ハイライトポイントを黒い山の右端に、シャドウポイントを黒い山の左端に移動すると、取り込み枠内の最も明るいピクセルが白に近く、最も暗いピクセルが黒に近くなるように、全体の明暗が調整されます。



調整前のヒストグラム



調整後のヒストグラム

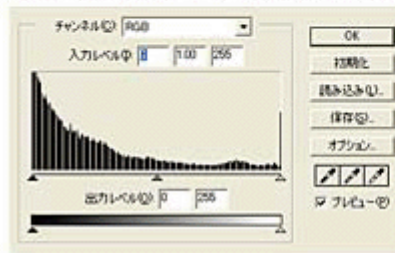
下図は補正後の画像とヒストグラムです。

24bit の場合は、元々少ないデータの範囲を広げたため、所々で歯抜けが起きています。見た目はよくなりますが、階調表現力は厳密には低下します。

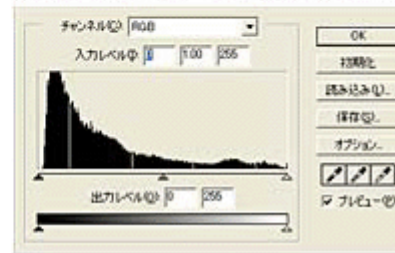
48bit の場合は、元々のデータ量が多いので、範囲を広げても歯抜けは最小限で済んでいます。階調表現力を損なわずに、見た目がよくなります。



補正後の24bitカラーの画像とヒストグラム



補正後の48bitカラーの画像とヒストグラム



48bit 入力の利用の仕方

出版用途などで画像の品質が重要な場合はもちろん、次のような利用の仕方もあります。

画質調整を使い慣れたフォトタッチソフトで行う場合に利用

EPSON Scan では、自動露出調整だけを行い、厳密な画質調整をせずに 48bit でスキャンします。その後、使い慣れたフォトタッチソフトでレタッチし、24bit に変換してください。
高品質の画像を効率よく作成することができます。

元々品質が悪い原稿をスキャンする場合に利用

大幅なレタッチを行うと階調飛びが激しくなり、粗い画像になります。そのため、品質が悪い原稿をスキャンする場合は、48bit でスキャンしておけば、24bit でスキャンする場合に比べ、レタッチ後の階調飛びを抑えることができます。

ポイント

データ容量について

コンピュータが扱えるデータは 24bit です。48bit でスキャンする場合、その画像にはファイル 2 つ分のデータ容量が割り当てられます。

そのため、48bit 画像は 24bit 画像の 2 倍のデータ容量になります。ハードディスクやメモリ容量に注意してください。48bit でスキャンする場合、48bit 対応のアプリケーションで利用できます。

明暗を簡単に調整する方法

スキャンした画像が明るすぎたり暗すぎた場合、明暗を調整して、メリハリのある画像にする方法を説明します。ここでは、プロフェッショナルモードを選択した場合を例に説明します。ここでの調整は [イメージタイプ] でカラー/グレーを選択した場合に使用できます。

明るさ/コントラストの調整

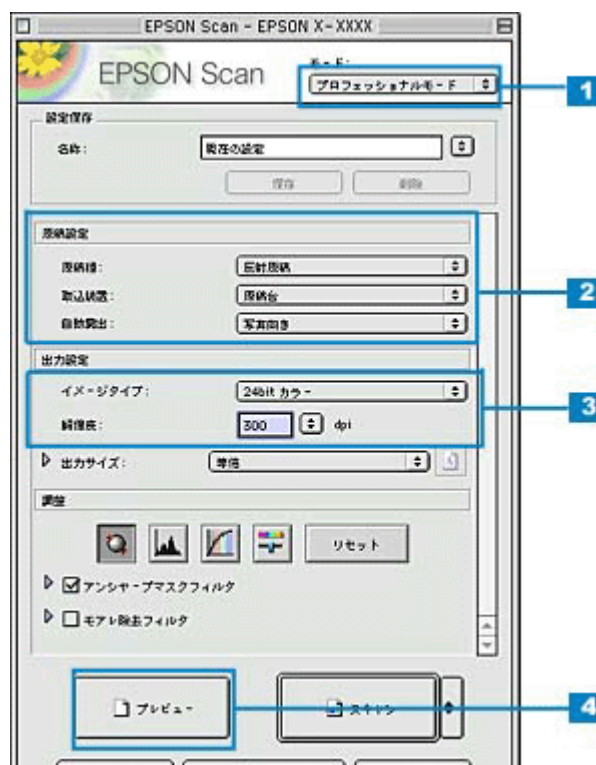
明るさは、スキャンした画像が明るすぎたり、暗すぎる場合に調整します。コントラスト（明暗の差）に大きな影響を与えずに、画像全体の明暗を調整できます。コントラストは、明暗をはっきりさせたり、逆に全体の明暗の差を少なくする場合に調整します。

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

☞☞ 「EPSON Scan の起動方法」 21

2. [原稿設定] を目的に合わせて設定します。

反射原稿の場合は [取込装置] と [自動露出]、フィルムの場合は [フィルムタイプ] を設定してください。



3. [イメージタイプ] と [解像度] を目的に合わせて設定します。

4. [プレビュー] ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。

画像の仮スキャン（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。


ポイント

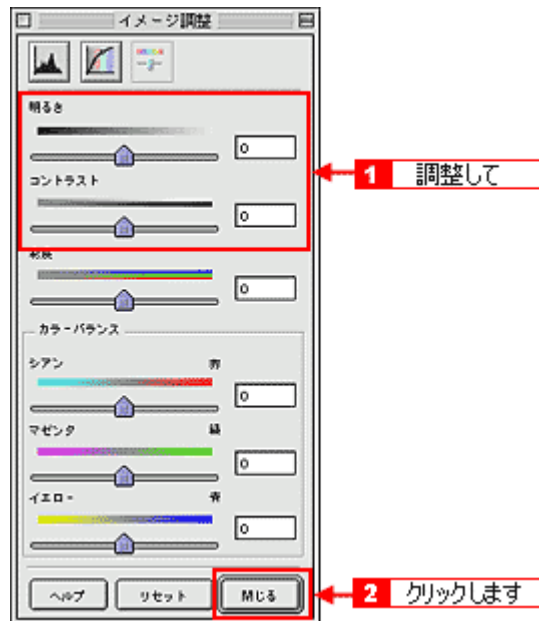
ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

5. 取り込み枠を指定します。

☞☞ 「取り込み枠の調整方法」 31

サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

6. [イメージ調整]  ボタンをクリックします。
7. 明るさ、コントラストのスライダーを左右に動かして調整します。



ポイント

- テキストボックスに数値を直接入力して調整することもできます。
- 明るさの調整範囲は-100～100です。設定を-（マイナス）にすると暗くなり、設定を+（プラス）にすると明るくなります。明暗いずれも極端に設定すると、メリハリのない画像になる場合があります。
- コントラストの調整範囲は-100～100です。コントラストを上げる（スライダーを右に動かす）と明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなってメリハリのある画像になります。コントラストを下げる（スライダーを左に動かす）と逆の効果が得られます。


明るさを調整した例



コントラストを調整した例



8. イメージ調整ダイアログの [閉じる] ボタンをクリックして画面を閉じ、[スキャン] ボタンをクリックしてスキャンを実行します。

 **ポイント**

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

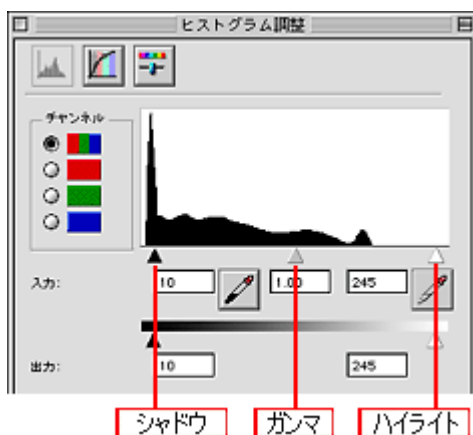
以上で、明暗の簡単な調整は終了です。

明暗を厳密に調整する方法

きれいな画像にするためには、「画像のもっとも明るい部分」（ハイライト）、「画像のもっとも暗い部分」（シャドウ）、および「その中間の明るさの部分」（ガンマ）の明暗を適切に設定することが必要です。ここでは、プロフェッショナルモードを例にハイライト/シャドウ/ガンマを調整し、明暗を厳密に調整する手順を説明します。

ヒストグラムを使って調整する

ヒストグラム調整では、ピクセル分布を見ながら調整できるため、モニタの表示能力の影響を受けずに、客観的に明暗を最適にできます。ヒストグラムとは、画像の黒(0)～白(255)までのデータ分布(ピクセル数)をグラフで表したものです。厳密に画像を調整するには、ヒストグラム調整をお勧めします。



ヒストグラムで調整する項目は以下の通りです。

ハイライト	画像のもっとも明るくしたい部分を設定します。
シャドウ	画像のもっとも暗くしたい部分を設定します。
ガンマ	画像の明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、ハイライトとシャドウの中間部分（ミッドトーン）の明るさを設定します。

調整を始める前に

ちょうどよい明るさとはどんな画像でしょうか？下図の例のように、ハイライト、シャドウ、ガンマを調整すると、明暗をさまざまに変化させることができます。ハイライト/シャドウ/ガンマを適切に調整して、画像がちょうどよい明るさになるように補正してください。

●適切な画像
(ハイライトも、シャドウも適切)



●ハイライトが弱く、シャドウは適切



●ハイライトは適切、シャドウが弱い



●ハイライトもシャドウも弱い



●ガンマが暗い方向に寄っている



お勧めの調整方法

ちょうどよい明るさになるように、ヒストグラムを使って画質を補正してみましょう。

ポイント

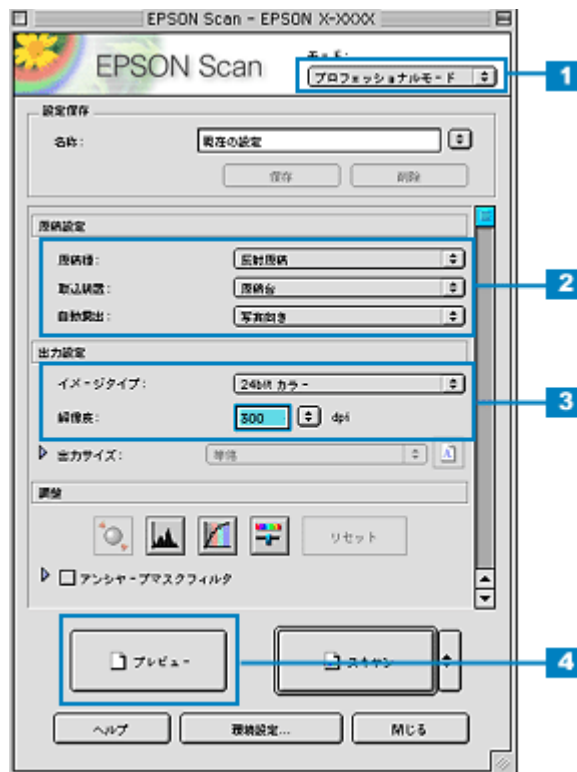
- 画質調整はプレビュー画像が表示されているときに有効ですので、プレビューを実行してください。プレビュー画像では、調整効果をリアルタイムに確認することができます。
- 厳密な調整を行いたいときは、ディスプレイを調整することをお勧めします。ディスプレイが調整されていないと、スキャンした画像が適切な明るさ / 色あいで表示されません。そのため、印刷結果も予測できません。
☞「ディスプレイについて」167

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

☞「EPSON Scan の起動方法」21

2. [原稿設定] を目的に合わせて設定します。

反射原稿の場合は [取込装置] と [自動露出]、フィルムの場合は [フィルムタイプ] を設定してください。



3. [イメージタイプ] と [解像度] を目的に合わせて設定します。
4. [プレビュー] ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。

画像の仮スキャン（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

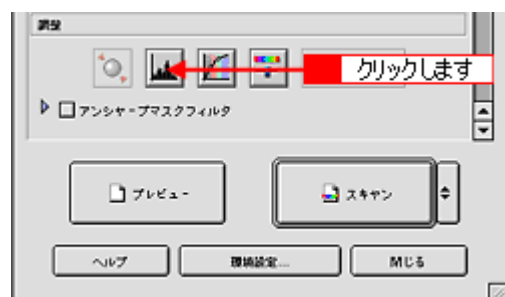
5. 取り込み枠を指定します。

☞「取り込み枠の調整方法」31

サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

6. [ヒストグラム調整]  ボタンをクリックします。

ヒストグラム調整ダイアログが表示されます。



7. ハイライトとシャドウを調整します。

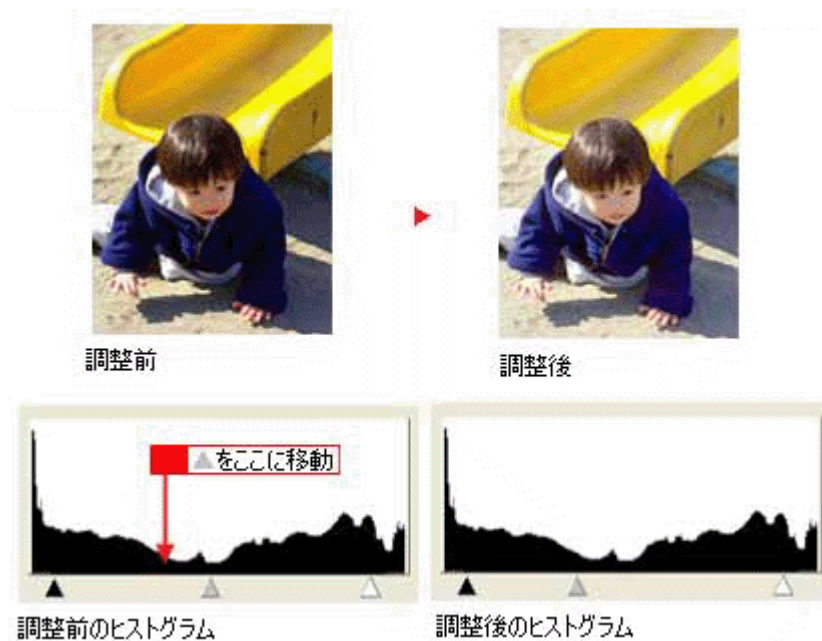
ハイライトポイントを黒い山の右端に、シャドウポイントを黒い山の左端に移動してください。

取り込み枠内の最も明るいピクセルが白に近く、最も暗いピクセルが黒に近くなるように、全体の明暗が調整されず。



8. ガンマを調整します。

ハイライトとガンマの間にある、ガンマポイントを移動してください。明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、中間部分の明暗を調整します。例えば、夕方や曇りの日に撮ったため、全体的に暗くなってしまった写真などを補正できます。



ポイント

調整する取り込み枠またはコマを切り替えたい場合は、プレビューウィンドウ上で切り替えたい枠またはコマをクリックしてください。このダイアログをいったん閉じる必要はありません。

9. 調整が終了したら、ヒストグラム調整ダイアログの [閉じる] ボタンをクリックして画面を閉じ、スキャンを実行します。

以上で、ちょうどよい明るさにするお勧めの方法の手順は終了です。

ポイント

ちょうどよい明るさに調整するよりも、メリハリをつけたい場合には以下を参照してください。


☞「メリハリをつけた調整をする方法」65

さらに微妙な調整をするには

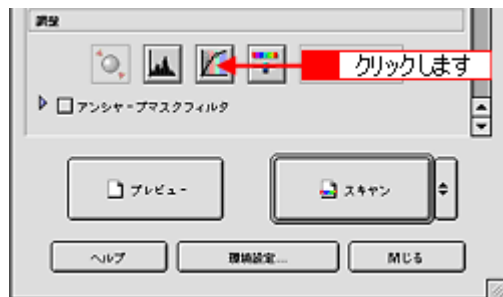
ヒストグラムを調整した後、さらに微妙な調整をする場合は、濃度補正やシャドウ部 / ハイライト部の階調補正を試みましょう。

濃度補正

濃度はトーンともいいます。画像の濃度データを、トーン曲線に合わせて補正します。シャドウ（最暗部）、ミッドトーン（中間調）、ハイライト（最明部）へと変化していく濃度の曲線を補正することで、画像全体の濃度をバランスよく上げることができます。これは、現在プレビューウィンドウで選択されている取り込み枠に対して有効です。


[濃度補正]  ボタンをクリックし、微妙な部分を追加補正します。

☞「濃度を調整する方法」67



シャドウ部 / ハイライト部の階調補正

[ヒストグラム調整] ダイアログで設定したハイライト点 / シャドウ点より外側の階調を補正することができます。

[ヒストグラム調整]  ボタンをクリックし、[端部カーブ形状変更] ボタンを使用してシャドウ部 / ハイライト部の階調を補正します。

☞「シャドウ部 / ハイライト部の階調を調整する方法」69



以上で、明暗の厳密な調整は終了です。

以下の項目で色あいの調整方法を説明していますが、明暗調整をしっかり行えば、通常、色あいの調整は必要ありません。

☞「より色鮮やかにスキャンする方法」80

メリハリをつけた調整をする方法

ヒストグラムでハイライトとシャドウを調整して、メリハリのある画像に補正してみましょう。

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

☞「EPSON Scan の起動方法」21

2. [プレビュー] ボタンをクリックします。

画像の仮スキャン（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

3. [ヒストグラム調整]  ボタンをクリックします。

ヒストグラム調整ダイアログが表示されます。



4. ハイライトとシャドウを調整します。

ハイライトポイントを黒い山の右端よりやや左に、シャドウポイントを黒い山の左端よりやや右に移動すると、メリハリのある画像になります。



調整が終了したら、ヒストグラム調整ダイアログの [閉じる] ボタンをクリックして画面を閉じ、スキャンを実行します。

 **ポイント**

テキストボックスに数値を直接入力して、微調整することもできます。

濃度を調整する方法

自動露出やヒストグラム調整で調整しきれない微妙な濃度の調整は、[濃度補正] で補正します。

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。


☞「EPSON Scan の起動方法」21

2. [プレビュー] ボタンをクリックします。

画像の仮スキャン（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

3. [濃度調整]  ボタンをクリックします。



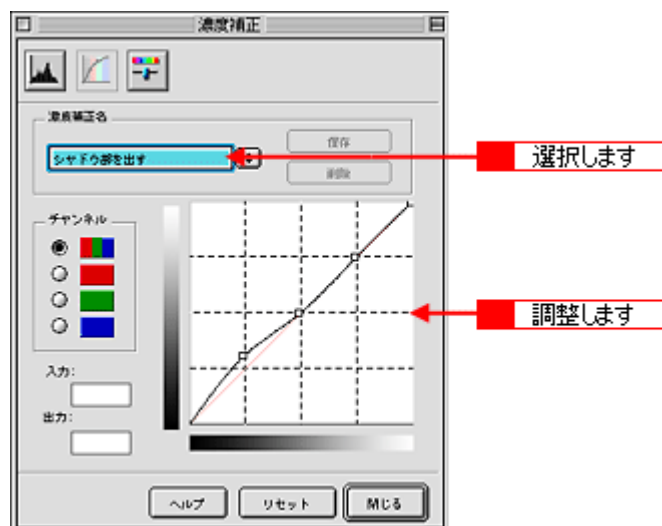
4. [濃度補正名] リストから最適なメニューを選択します。

露出オーバーの補正など、代表的なトーン曲線がメニューに用意されていますので、メニューから選択した後、画像にあわせて微調整することをお勧めします。

濃度補正名	説明
リニア	濃度補正をしません。プレビュー画像上で明暗に問題がなければ、リニアのままスキャンしてください。
より浅い感じに	露出アンダーな画像を、より浅い（明るい）感じに補正します。（露出アンダーとは、露出不足＝暗いことを言います）
より重い感じに	露出オーバーな画像を、より重い（暗い）感じに補正します。（露出オーバーとは、露出過多＝明るいことを言います）
コントラストを弱く	コントラスト（明暗の差）が高すぎる画像を、自然なコントラストに補正します。
コントラストを強く	コントラスト（明暗の差）が低すぎる画像に、メリハリを付けます。
シャドウ部を出す	シャドウ部分を少し明るくして、シャドウ部の階調表現を豊かにします。画像を印刷した時に、シャドウ部が黒ベタになってしまう場合に有効です。

5. トーン曲線で微調整したい部分を補正します。

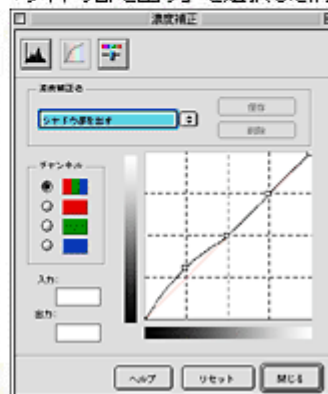
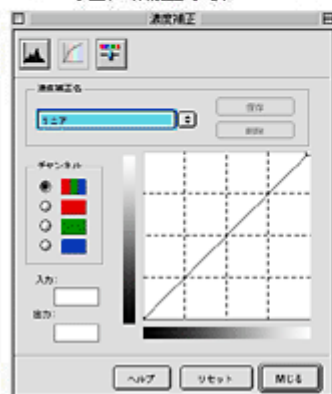
調整が終了したら、濃度調整ダイアログの [閉じる] ボタンをクリックして画面を閉じ、スキャンを実行します。



リニア(補正なし)



「シャドウ部を出す」を選択した例



ポイント

補正前の濃度に戻すには、[濃度補正名] で [リニア] を選択します。

シャドウ部／ハイライト部の階調を調整する方法

ヒストグラムで設定したハイライト/シャドウポイントより外側の階調を、[端部カーブ形状変更] ボタンで調整することができます。

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

☞「EPSON Scan の起動方法」21

2. [プレビュー] ボタンをクリックします。

画像の仮スキャン（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。


ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

3. [ヒストグラム調整]  ボタンをクリックします。



4. [端部カーブ形状変更]  ボタンをクリックします。

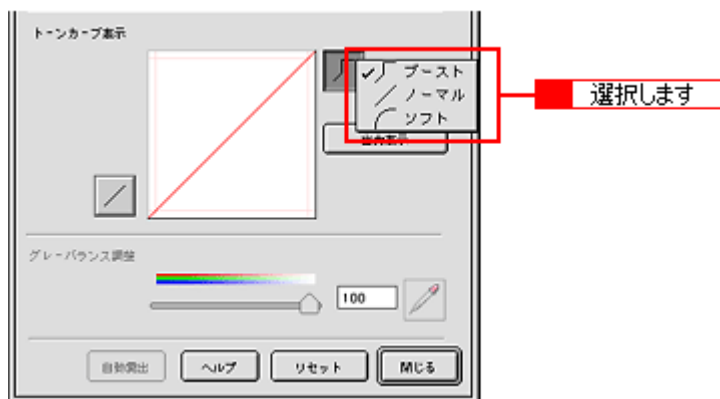
ハイライトまたはシャドウの [端部カーブ形状変更]  ボタンをクリックし、補正したいメニューを選択してください。

ブースト	真っ白に飛ばすまたは、真っ黒に潰す場合に選択してください。
ノーマル	ハイライトやシャドウ部分の階調をそのまま表現する場合に選択してください。
ソフト	真っ白に飛んでしまった場合や、真っ黒に潰れてしまった場合に選択してください。

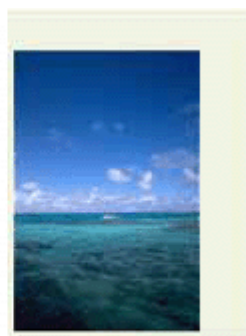
次のように使用してください。

紙の表面のムラや裏写りを除去したい場合：
ハイライト側のボタンを押し、表示されるリストでブーストを選択してください。

黒い部分のムラを除去したい場合：
シャドウ側のボタンを押し、表示されるリストでブーストを選択してください。



選択前

ハイライト側の
ブースト選択時

調整が終了したら、ヒストグラム調整ダイアログの「閉じる」ボタンをクリックして画面を閉じ、スキャンを実行します。

モアレ（網目状の陰影）を取り除く方法

ここでは、スキャンした画像にモアレ（網目状の陰影）がある場合、モアレ除去を使用して取り除く方法を説明します。

ポイント

- ・モアレ除去を行うと、印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生する、モアレパターンの発生を防止できます。モアレとは、網目状などに発生する陰影で、肌色などの中間調部分で特に目立ちます。
- ・ホームモードの場合、原稿種で「フィルム」またはイメージタイプで「モノクロ」を選択すると、モアレ除去フィルタは選択できません。
- ・プロフェッショナルモードの場合、原稿種で「フィルム」を選択すると、モアレ除去フィルタは選択できません。

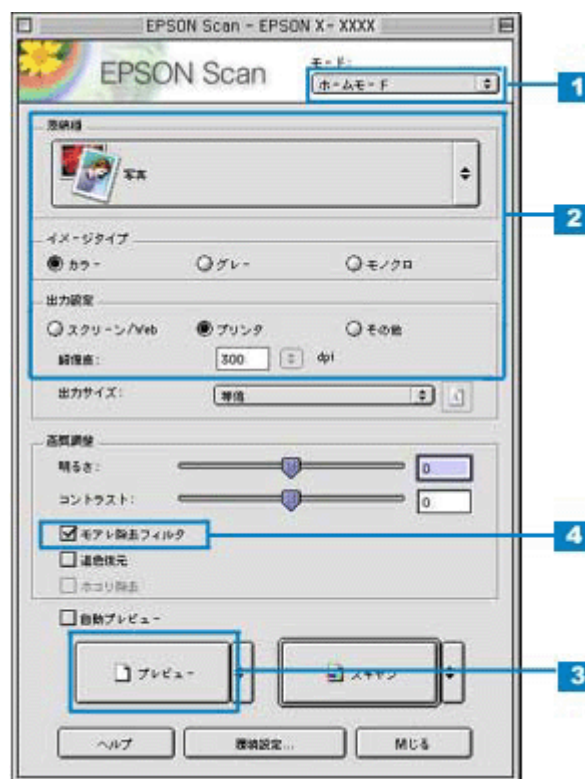
1. EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。

☞「EPSON Scan の起動方法」21

2. 「原稿種」、[イメージタイプ]、[出力設定] を、目的に合わせて設定します。

「原稿種」は実際にセットしている原稿に合わせて選択してください。

出力設定は、「スクリーン/Web」または「プリンタ」を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されず、「その他」を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。

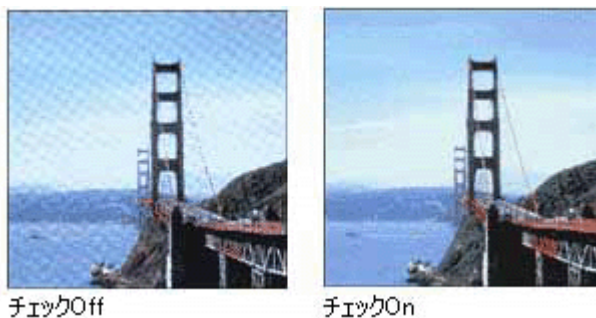


3. 「プレビュー」ボタンをクリックして、仮スキャン（プレビュー）をします。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

4. 「モアレ除去フィルタ」チェックボックスをチェックします。



ポイント

- 画像にモアレパターンが発生しているかどうかは、スキャンした画像をディスプレイ上で 100% (1:1) で表示して確認してください (縮小表示すると画像が荒くなってモアレが発生しているように見えるため)。
- モアレ除去はソフトウェアで処理しますので、チェックされているとスキャンに少し時間がかかります。
- モアレ除去の設定は、プレビュー画像には適用されません。
- モアレ除去は、解像度設定が 600dpi 以上のときは適用できません。

5. [スキャン] ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約 5 分かかる場合があります。

以上で、モアレを取り除く調整は終了です。

それでもモアレが目立つときは

1. スキャンモードをプロフェッショナルモードに切り替えます。

➡「モードの切り替え方法」24

2. [印刷線数] の設定を変更します。

印刷線数を変更すると、モアレが目立たなくなる場合があります。

モアレ除去フィルタの横にある「▶」をクリックして、原稿に適した印刷線数を選択してください。また、一致する線数の選択肢がない場合には、近い値を試してください。



ポイント

モアレ除去機能を使用すると、スキャンした画像がややぼける場合があります。この場合はアンシャープマスクフィルタのチェックボックスをチェックしてください。

フィルムの粒状低減処理

ここでは、スキャンした画像にざらついた感じがある場合に、粒状低減処理を使用して取り除く方法を説明します。

ポイント

- ・ プロフェッショナルモードの場合、原稿種で「反射原稿」を選択すると、粒状低減は選択できません。
- ・ ホームモードの場合は、粒状低減は選択できません。

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

➡「EPSON Scan の起動方法」21

2. [原稿種]、[イメージタイプ]、[出力設定] を、目的に合わせて設定します。

[原稿種] はフィルムを選択してください。

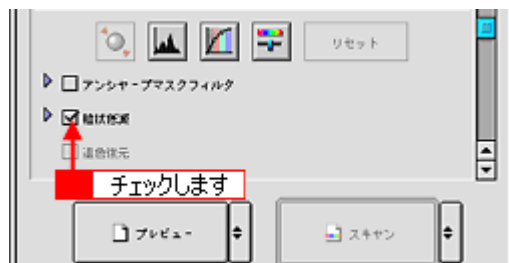


3. [プレビュー] ボタンをクリックして、仮スキャン（プレビュー）をします。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

4. [粒状低減] チェックボックスをチェックします。



5. 必要に応じて、粒状低減の横にある「▶」をクリックして、効果を選択します。

6. [スキャン] ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

以上で、粒状低減の処理は終了です。

色あせてしまった原稿やフィルムの色を復元する方法

昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色した古い写真やフィルムの色あいを、元の色に戻してスキャンする方法を説明します。ここでは、ホームモードの場合を例に説明します。

1. EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。

☞☞「EPSON Scan の起動方法」21

2. [原稿種] で写真、ポジフィルムまたはカラーネガフィルムを選択します。

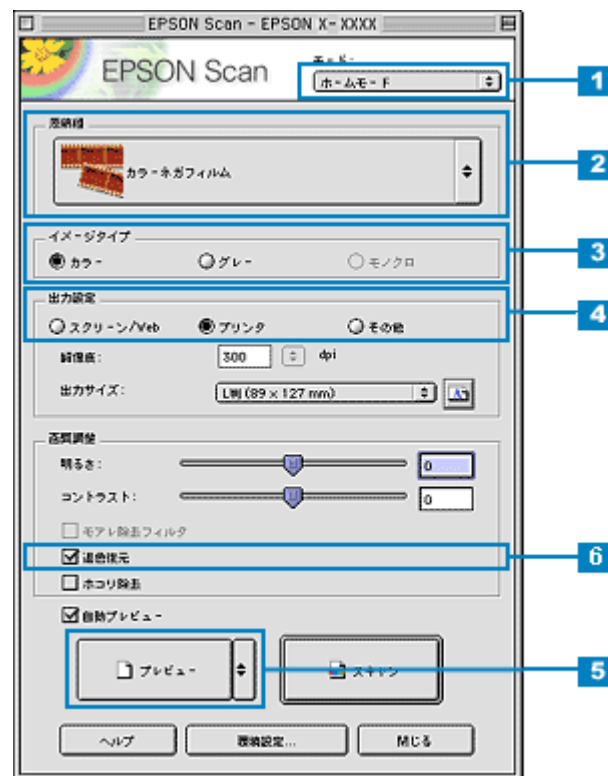
写真、ポジフィルムまたはカラーネガフィルム以外を選択すると、この調整はできません。

3. [イメージタイプ] を選択します。

イメージタイプで [グレー] を選択した場合は使用できません。

4. [出力設定] を目的に合わせて設定します。

出力設定は、[スクリーン / Web] または [プリンタ] を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。[その他] を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。



5. [プレビュー] ボタンをクリックして、仮スキャン (プレビュー) をします。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

6. [退色復元] チェックボックスをチェックします。

以下のように、変色していたものが元の色に復元されます。



チェックOff



チェックOn

ポイント

- 変色していない原稿をスキャンするときは、この機能を使用しないでください。
- スキャンする画像の絵柄によっては、この機能が適切に機能しない場合があります。
- カラーネガフィルムの銘柄によっては、この機能が適切に機能しない場合があります。

7. [スキャン] ボタンをクリックして、スキャンを実行します。**ポイント**

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

以上で、色あせてしまった原稿やフィルムの色を復元する調整は終了です。

おかしい色かぶりを取り除く方法

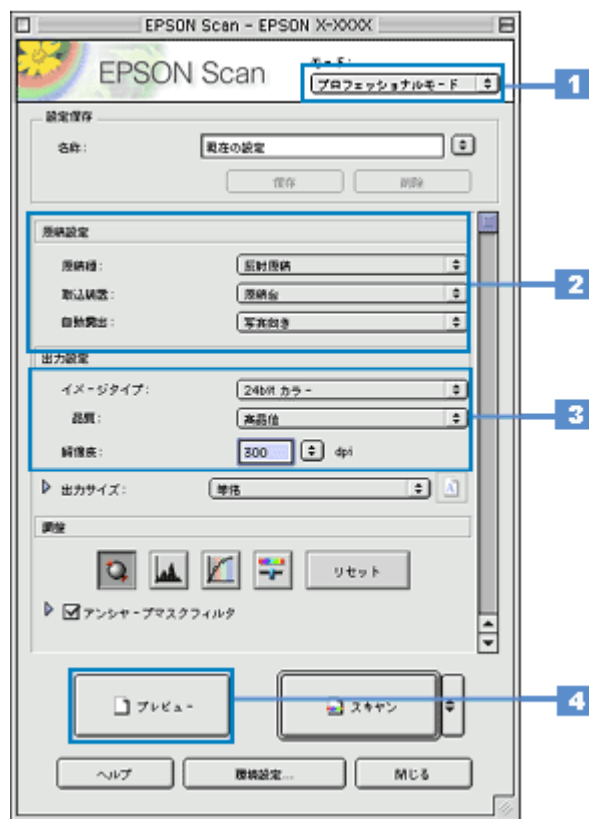
画像に照明などの色がかぶっている場合は、グレーバランスを調整することで色かぶりを取り除くことができます。グレーバランスは、選択した色を無彩色（白黒またはグレー）とする機能です。

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

☞「EPSON Scan の起動方法」21

2. 【原稿設定】を目的に合わせて設定します。

【原稿種】は実際にセットしている原稿に合わせてください。
 反射原稿の場合は【取込装置】と【自動露出】、フィルムの場合は【フィルムタイプ】を設定してください。



3. 【イメージタイプ】と【解像度】を目的に合わせて設定します。

4. 【プレビュー】ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。

画像の仮スキャン（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

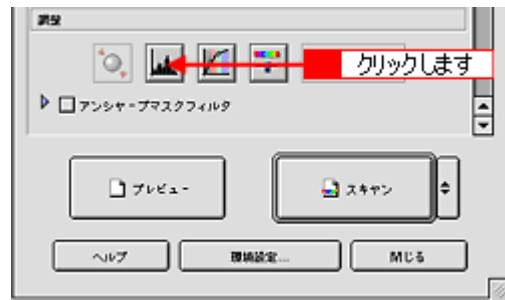
5. 取り込み枠を作成します。

☞「取り込み枠の調整方法」31

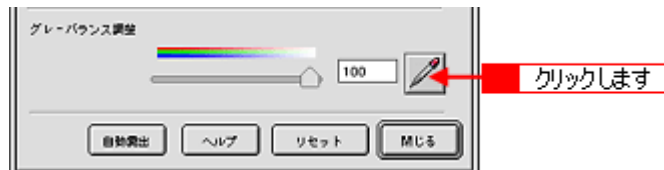
サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

6. 【ヒストグラム調整】 ボタンをクリックします。

ヒストグラム調整ダイアログが表示されます。



7. グレーバランス調整の [スポイト] ボタンをクリックします。



8. 画像の中で、白黒またはグレー（無彩色）となるべき部分をクリックします。

[スポイト] ボタンによる調整をキャンセルしたいときは、キーボード上の [esc] キーを押してください。



9. 色が変わりすぎてしまった場合は、スライダーで微調整します。

調整が終了したら、ヒストグラム調整ダイアログの [閉じる] ボタンをクリックして画面を閉じ、スキャンを実行します。



調整前



調整後

 **ポイント**

グレーバランス調整の範囲は 0 ～ 100 です。

数値を上げるほど、色かぶりを除去する効果が高くなります。100 に設定すると、選択した色が完全な無彩色（白黒、グレー）となり、画像全体の色かぶりが取り除かれます。

0 に設定した場合は、グレーバランス機能は無効になります。ただし、選択した色の情報は保持されているので、もう一度調整することもできます。

より色鮮やかにスキャンする方法

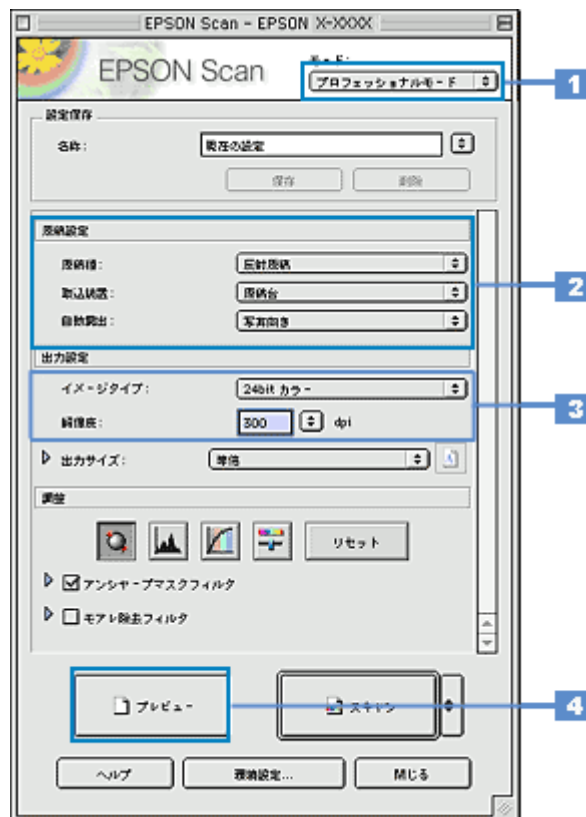
ここでは、原稿に鮮やかさが足りない場合に、彩度を調整して鮮やかにスキャンする方法を説明します。

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

☞「EPSON Scan の起動方法」21

2. 【原稿設定】を目的に合わせて設定します。

反射原稿の場合は【取込装置】と【自動露出】、フィルムの場合は【フィルムタイプ】を設定してください。



3. 【イメージタイプ】と【解像度】を目的に合わせて設定します。
4. 【プレビュー】ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。

画像の仮スキャン（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

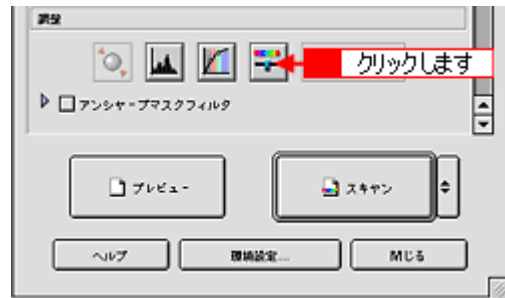
5. 取り込み枠を指定します。

☞「取り込み枠の調整方法」31

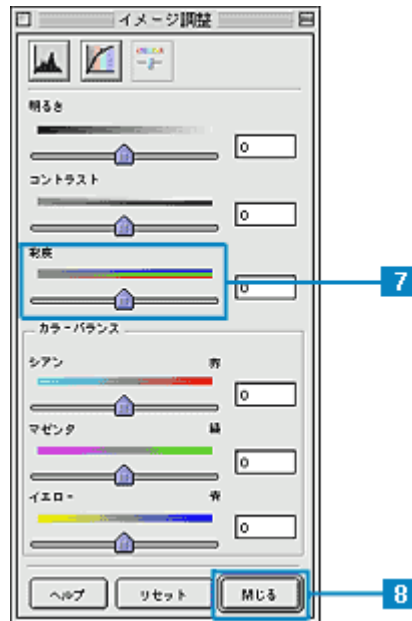
サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

6. 【イメージ調整】 ボタンをクリックします。

イメージ調整ダイアログが表示されます。



7. 彩度のスライダーを左右に動かして、色の鮮やかさを調整します。



調整前(0)



調整後(+50)

ポイント

設定を-（マイナス）にすると色みがなくなり（無色彩化され）、グレーに近くなります。白黒写真風のカラー画像にしてスキャンすることができます。



8. イメージ調整ダイアログの [閉じる] ボタンをクリックして画面を閉じ、[スキャン] ボタンをクリックしてスキャンを実行します。

 **ポイント**

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

以上で、画像の鮮やかさの調整は終了です。

全体的な色あいを変えてスキャンする方法

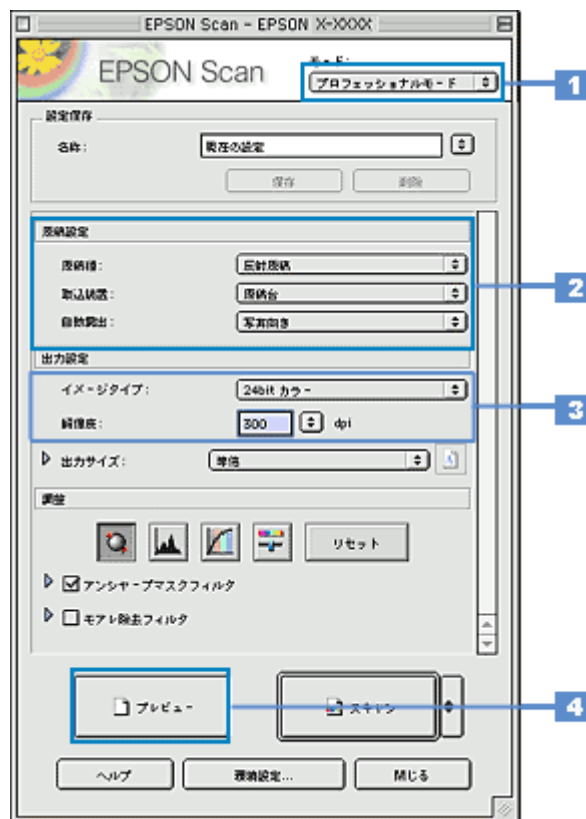
ここでは、天候や撮影場所の照明によって、写真が全体的に赤みを帯びていたり、青っぽいような場合に、色あいを補正してスキャンする方法を説明します。

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

☞「EPSON Scan の起動方法」21

2. 【原稿設定】を目的に合わせて設定します。

【原稿種】は実際にセットしている原稿に合わせてください。
 反射原稿の場合は【取込装置】と【自動露出】、フィルムの場合は【フィルムタイプ】を設定してください。



3. 【イメージタイプ】と【解像度】を目的に合わせて設定します。

4. 【プレビュー】ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。

画像の仮スキャン（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

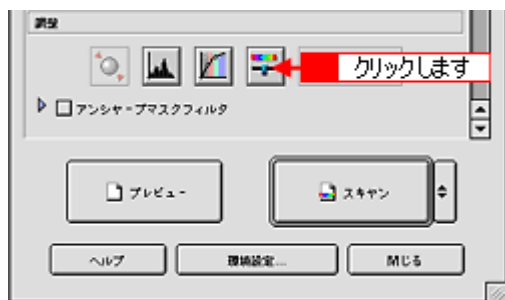
5. 取り込み枠を指定します。

☞「取り込み枠の調整方法」31

サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

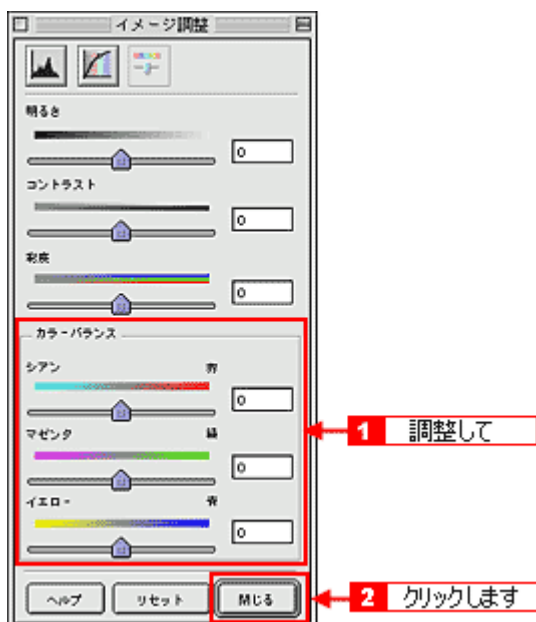
6. 【イメージ調整】 ボタンをクリックします。

イメージ調整ダイアログが表示されます。



7. スライダーを左右に動かして、色あいを調整します。

シアンー赤	スライダーを左に動かすとシアンが強くなり（赤が弱くなり）、右に動かすと赤みが強くなり（シアンが弱くなり）ます。
マゼンター緑	スライダーを左に動かすとマゼンタが強くなり（緑が弱くなり）、右に動かすと緑が強くなり（マゼンタが弱くなり）ます。
イエローー青	スライダーを左に動かすとイエローが強くなり（青が弱くなり）、右に動かすと青みが強くなり（イエローが弱くなり）ます。



シアンー赤 を調整した場合の例

スライダーを左に動かすとシアンが強くなり（赤が弱くなり）、右に動かすと赤みが強くなり（シアンが弱くなり）ます。



設定ー



設定+

8. イメージ調整ダイアログの [閉じる] ボタンをクリックして画面を閉じ、[スキャン] ボタンをクリックしてスキャンを実行します。

 **ポイント**

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

以上で、画像の全体的な色あいを変える調整は終了です。

原稿に合った設定で取り込もう

文字原稿／線画のスキャンに適した設定

スキャナから市販の OCR（光学文字認識）ソフトに文字原稿をスキャンすると、原稿上の文字を文字データに変換することができます。ここでは、OCR（光学文字認識）で利用しやすいように文字原稿の認識率を上げたり、かすれている線画をきれいにスキャンする場合の設定方法について説明します。

ポイント

文字原稿の認識率は、原稿の状態に左右されます。次の場合、認識率は下がることがあります。なお、手書き文字は認識できません。

- ・何度もコピーした原稿（コピーのコピー）
- ・FAX 受信した原稿
- ・文字間や行間が狭すぎる原稿
- ・文字に罫線や下線がかかっている原稿
- ・草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、8 ポイント未満の小さな文字が使われている原稿
- ・折り跡や、しわがある原稿

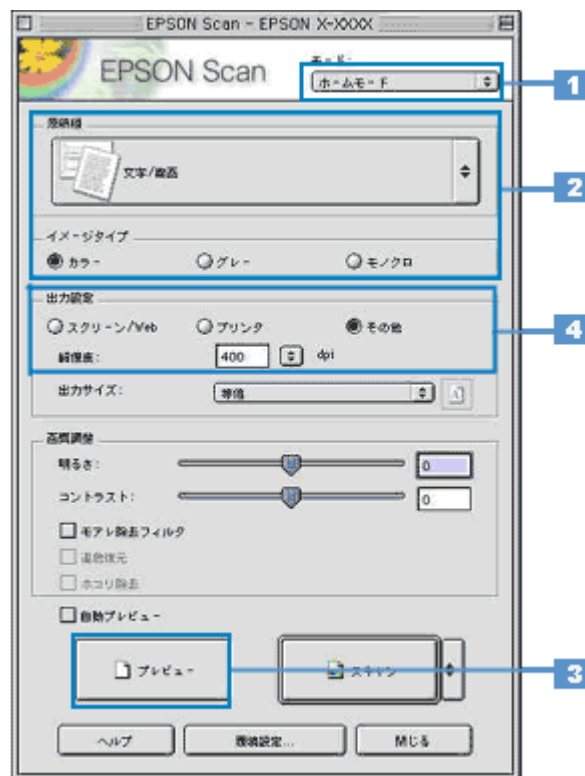
文字／線画のスキャン手順

1. EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。

☞「EPSON Scan の起動方法」21

2. [原稿種]、[イメージタイプ] を原稿に合わせて設定します。

[原稿種] リストから [文字 / 線画] を選択してください。



3. [プレビュー] ボタンをクリックして、仮スキャン（プレビュー）をします。

4. 【解像度】を設定します。

【出力設定】の項目で【その他】を選択し、原稿に最適な解像度を設定してください。

文字原稿の場合：400dpi
 線画の場合：600dpi
 に設定してください。

5. 取り込み枠を作成します。

☞「取り込み枠の調整方法」31

6. 【スキャン】ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

7. 文字原稿の場合は、OCR（光学文字認識）ソフトで文字認識を実行します。

詳しくは、お使いのソフトの取扱説明書をご覧ください。
 認識率がよくない場合は、次の手順へ進んでください。

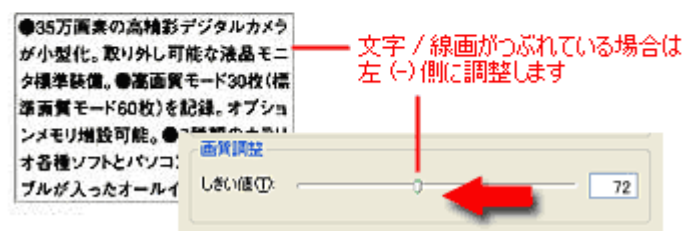
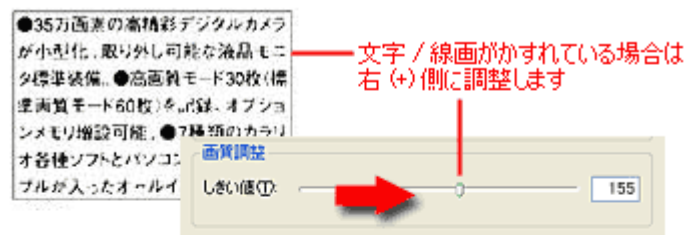
文字や線画がかすれたりつぶれる場合は

1. EPSON Scan を起動し直します。

2. 【イメージタイプ】を選択します。

【イメージタイプ】は【モノクロ】を選択してください。

3. プレビュー画像で効果を確認しながら、【しきい値】を調整します。



しきい値とは、白として認識する部分と、黒として認識する部分の明るさの境界を決めるものです。
 最適なしきい値は原稿の状態によって異なりますので、繰り返し確認しながら、最適な調整値を見つけてください。

それでも認識率が向上しないときは

しきい値を調整しても認識率が向上しない場合は、OCR ソフト側の補正機能（かすれ補正など）を使用してください。
 また、文字のフォントサイズによって認識領域を分けるなどの工夫をしてください。詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

カラーの文書に適した設定

カラーのロゴ・グラフ・イラストなどが入っている原稿は、色数を減らしてスキャンすると、ロゴ・グラフ・イラストなどに色ムラが発生しません。また、スキャンした画像をフォトタッチソフトで編集する場合、減色されているため目的の色を簡単に選択できて便利です。

ここでは、原稿の色の分布を解析し、使用頻度の高い 30 色程度に自動減色するカラースムージングを使用し、カラー書類をきれいにスキャンする場合の設定方法について説明します。

ポイント

以降の説明は、次の場合には不向きです。

- ・ カラー写真をフルカラーでスキャンしたい場合
- ・ グラデーションや近似色を正確にスキャンしたい場合

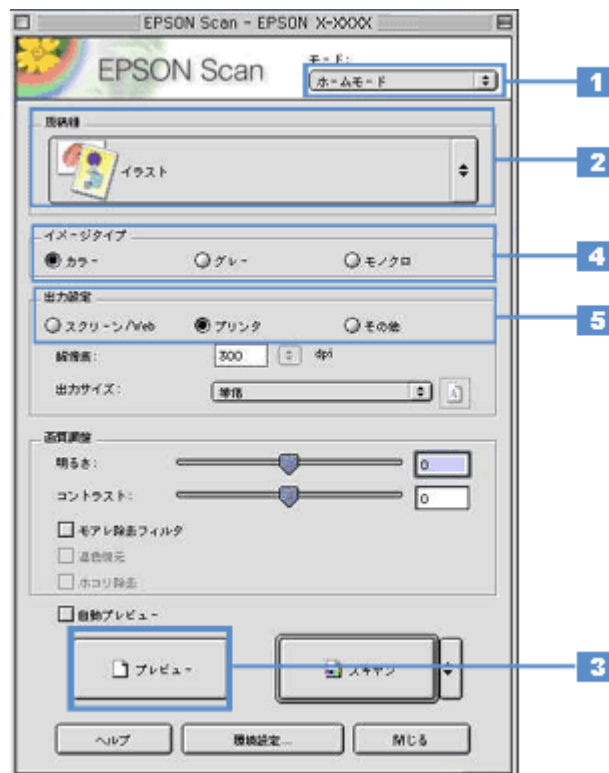
カラー原稿のスキャン手順

1. EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。

☞「EPSON Scan の起動方法」21

2. 【原稿種】を選択します。

【原稿種】リストから【イラスト】を選択してください。



3. 【プレビュー】ボタンをクリックして、仮スキャン（プレビュー）をします。

4. 【イメージタイプ】を選択します。

【イメージタイプ】リストから【カラー】を選択します。原稿種で【イラスト】を、イメージタイプで【カラー】を選択すると、カラースムージングが自動的に適用されます。


 **ポイント**

- カラースムージングの設定は、プレビューには適用されません。スキャンのときにのみ有効です。
- プロフェッショナルモードを使用する場合は、[イメージタイプ] リストから [カラースムージング] を選択してください。

5. [出力設定] を選択します。

[出力設定] の項目で [プリンタ] を選択してください。印刷に最適な解像度が自動的に設定されます。

6. 取り込み枠を作成します。



 「取り込み枠の調整方法」 31

7. [スキャン] ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

新聞・雑誌の切り抜きに適した設定

新聞や雑誌を取り込むと、新聞の白い部分が黄色っぽくなったり、雑誌の裏面が透けて写ることがあります。ここでは、自動露出を調整し、新聞・雑誌をきれいにスキャンする場合の設定方法について説明します。

お勧めのモード

- 簡単に新聞の白い部分の黄色みや、雑誌の裏写りを除去したいときは、ホームモードをお勧めします。
 「ホームモードの場合」 90
- 雑誌の写真をきれいにスキャンし、裏写りを除去しつつ画質調整をしたいときは、プロフェッショナルモードをお勧めします。
 「プロフェッショナルモードの場合」 91

新聞・雑誌のスキャン手順

ホームモードの場合

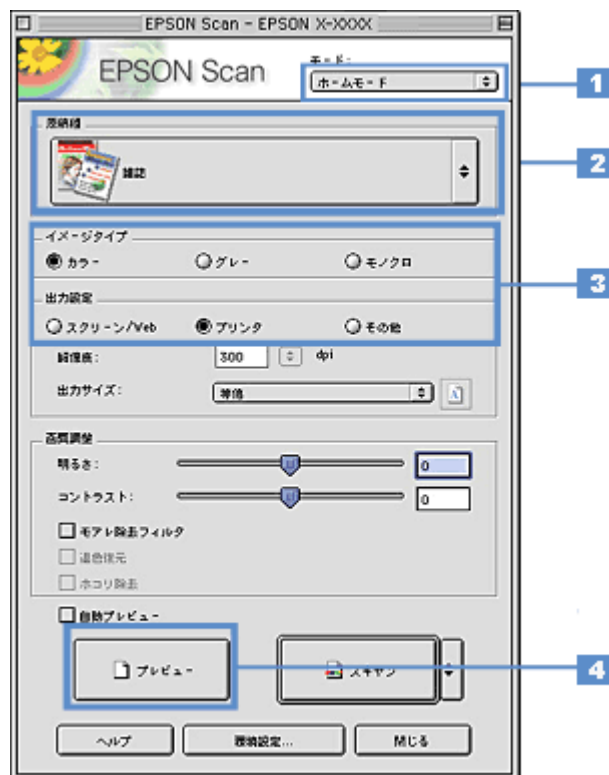
1. EPSON Scan を起動し、ホームモードを選択します。

 「EPSON Scan の起動方法」 21

2. [原稿種] を選択します。

[原稿種] リストから [雑誌] または [新聞] を選択します。

[雑誌] または [新聞] を選択すると、背景の黄色みを除去したり、裏写りを防止できます。



3. [イメージタイプ]、[出力設定] を設定します。

原稿に合わせて、[イメージタイプ] を選択し、[出力設定] の項目で [プリンタ] を選択してください。印刷に最適な解像度が自動的に設定されます。

4. [プレビュー] ボタンをクリックして、仮スキャン (プレビュー) をします。
5. 取り込み枠を作成します。
 ⇨ 「取り込み枠の調整方法」 31
6. [スキャン] ボタンをクリックして、スキャンを実行します。

ポイント

通常は、[原稿種] で [雑誌] または [新聞] を選択すると、[モアレ除去フィルタ] のチェックボックスが、自動的にチェックされます。モアレ除去機能が必要でない場合は、チェックを外してください。

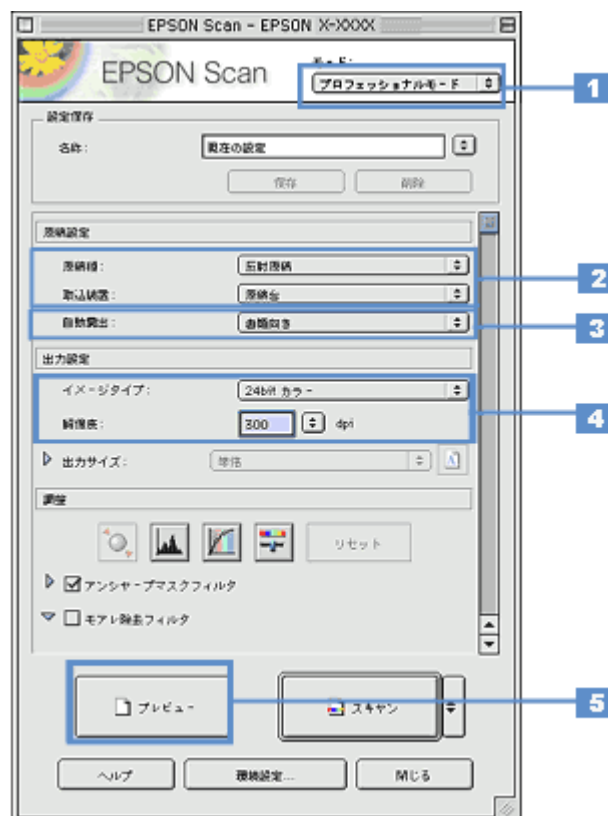
プロフェッショナルモードの場合

1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

⇨ 「EPSON Scan の起動方法」 21

2. [原稿種] を目的に合わせて選択します。

[原稿種] で [反射原稿] を選択してください。



3. 自動露出を選択します。

[自動露出] で [書類向き] を選択してください。

[書類向き] を選択すると、背景の黄色みを除去したり、裏写りを防止できます。

4. [イメージタイプ] と [解像度] を目的に合わせて設定します。
5. [プレビュー] ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。
6. 取り込み枠を作成します。

⇨ 「取り込み枠の調整方法」 31

7. **【スキャン】 ボタンをクリックして、スキャンを実行します。**

便利な取り込み方法

複数の原稿を連続スキャンしよう

TWAIN 対応アプリケーションから EPSON Scan を起動して複数の領域をスキャンする場合は、画像をひとつずつ保存しなければなりません。

EPSON Scan を単独起動した場合、スキャンした画像は自動的にファイル名を付けて保存されます。

ここでは、ホームモードを例に複数の領域を指定して一気にスキャンする方法を説明します。

複数の領域を指定して一気にスキャンする

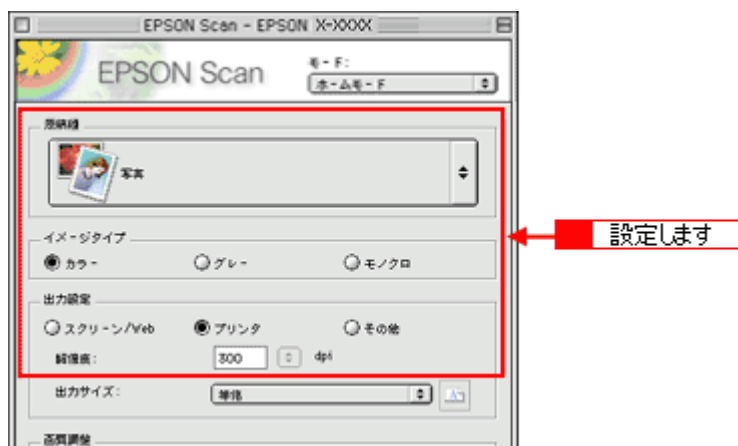
1. EPSON Scan を単独で起動し、ホームモードを選択します。

☞☞「EPSON Scan の起動方法」21

2. [イメージタイプ]、[出力設定] を、目的に合わせて設定します。

[原稿種] は実際にセットしている原稿に合わせてください。

出力設定は、[スクリーン / Web] または [プリンタ] を選んだ場合は、用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。[その他] を選んだ場合は、目的に適した解像度を入力してください。



3. プレビューします。

[プレビュー] ボタン右にある縦長の () ボタンをクリックし、[サムネイル表示] または [通常表示] を選択します。[プレビュー] ボタンをクリックします。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

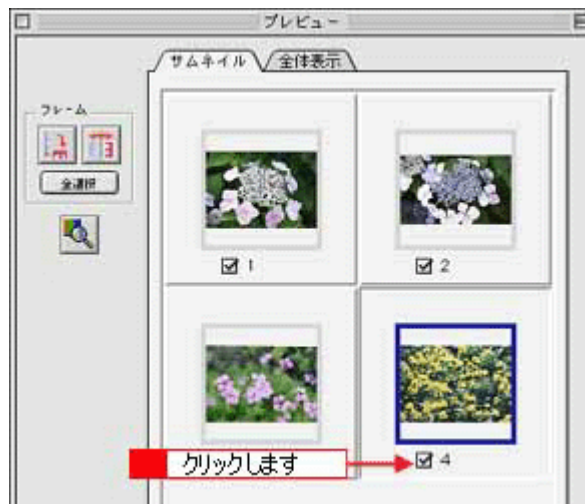
4. スキャンしたい複数のコマ、または領域を選択します。

サムネイル表示の場合

プレビューされた画像の一覧から、スキャンしないフィルムのチェックを外します。

また、スキャンしたい領域を選択してください。

☞☞「サムネイル表示で取り込み枠を指定する」33



通常表示の場合

取り込みたい領域を選択してください。

☐☐➡「取り込み枠の調整方法」31

- 通常表示の場合は、取り込み枠をすべて作成し、[全選択] ボタンをクリックしてください。



- [スキャン] ボタンをクリックします。

[保存ファイルの設定] ダイアログが表示されます。

- 表示された [保存ファイルの設定] ダイアログで、[保存先] や [ファイル名] などを設定してください。

[保存ファイルの設定] ダイアログでの設定については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

**ポイント**

後で画像を開く時はこの「保存先」で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。

8. [OK] ボタンをクリックします。スキャンと保存が連続して実行されます。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

フィルムをインデックス画像として保存しよう

たくさんのフィルムを整理する場合、インデックス画像（一覧用画像）として保存しておくのが便利です。ここでは、プロフェッショナルモードを例にインデックス画像の作り方を説明します。

ポイント

サムネイル表示と通常表示のメリット

プロフェッショナルモードでは、プレビューウィンドウは、サムネイル表示と通常表示があります。サムネイル（インデックス）を作る場合のそれぞれのメリットは以下のとおりです。

- ・ サムネイル表示：任意のコマまたは複数のコマをまとめて回転し、天地を揃えてスキャンすることができます。
- ・ 通常表示：取り込み枠をコピーできます。

インデックスを作る方法（サムネイル表示の場合）

1. EPSON Scan を単独起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

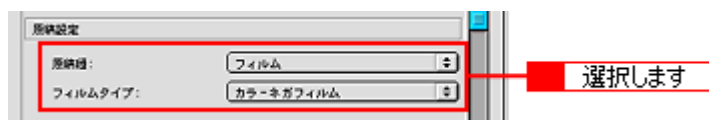
☞「EPSON Scan の起動方法」21

単独起動の場合、スキャンした画像は自動的にファイル名を付けて保存されるので便利です。インデックスを作成するときは、スキャン作業を繰り返すので単独起動をお勧めします。

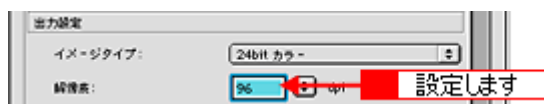
2. [原稿設定] を原稿に合わせて設定します。

[原稿種] は [フィルム] を選択してください。

[フィルムタイプ] はセットしたフィルムに合わせて選択してください。



3. 解像度を 96 ~ 150dpi 程度に設定します。



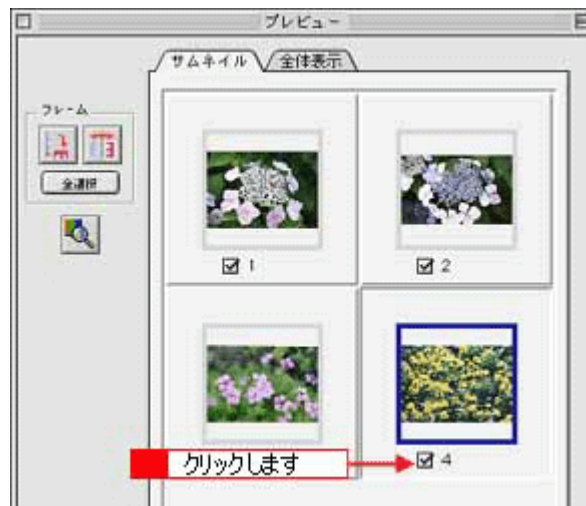
4. サムネイル表示でプレビューします。

[プレビュー] ボタンの右にある縦長の () ボタンで、[サムネイル表示] を選択し、[プレビュー] ボタンをクリックします。

ポイント

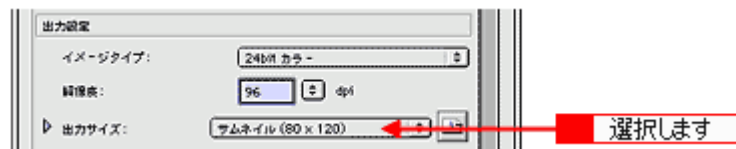
ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

5. 必要に応じて、プレビューされた画像の一覧から、スキャンしないフィルムのチェックを外します。




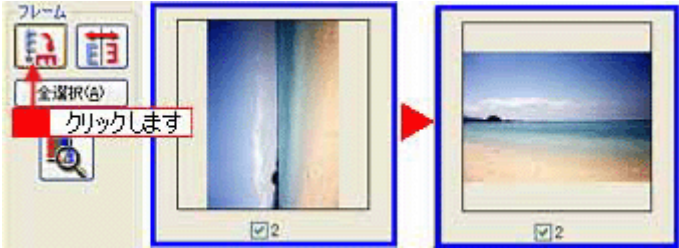


6. [出力サイズ] を選択します。

[出力サイズ] リストで、[サムネイル (80 × 120)] を選択してください。
現在選択されているコマに、取り込み枠が表示されます。



ポイント

- サムネイルを選択すると、80 × 120 ピクセルに設定されます。小さすぎる場合は、他のサイズを選択するか、または [ユーザー定義サイズ] で目的のサイズを設定してください。
- サムネイルの方向を変更したい場合は、[90 度回転] ボタン、[鏡像反転] ボタンを使用してください。[全選択] ボタンをクリックしてから、[90 度回転] ボタン、[鏡像反転] ボタンをクリックすると、すべてのコマの向きをまとめて変えられます。

	<p>[90度回転] ボタン このボタンをクリックすると、選択している画像を右方向（時計回り）に90度ずつ回転できます。</p> 
	<p>[鏡像反転] ボタン このボタンをクリックすると、選択している画像を左右に鏡像反転できます。膜面を下に向けてセットした場合に使用してください。</p> 

7. 取り込み枠を、スキャンしたい領域に移動します。

取り込み枠の大きさをドラッグして変更し、スキャンしたい領域に移動します。

☞「サムネイル表示で取り込み枠を指定する」33



8. 手順6と7をスキャンしたいコマ分繰り返します。

9. [スキャン] ボタンをクリックします。

[保存ファイルの設定] ダイアログが表示されます。

10. 表示された [保存ファイルの設定] ダイアログで、[保存先] や [ファイル名] などを設定してください。

[保存ファイルの設定] ダイアログでの設定については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。



ポイント

- 後で画像を開く時はこの「保存先」で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。
- 保存形式は、圧縮形式の JPEG（拡張子：.jpg）をお勧めします。圧縮品質を選択でき、圧縮率を高くできます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮後のデータは復元不可）、さらに保存のたびに劣化するので、用途によっては、JPEG 以外の形式で保存してください。詳しくは、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

11. [OK] ボタンをクリックします。スキャンと保存が連続して実行されます。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約 5 分かかる場合があります。

サムネイルを作る方法（通常表示の場合）

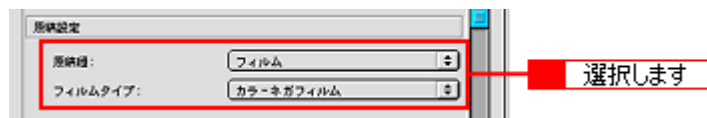
1. EPSON Scan を単独起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

⇒「EPSON Scan の起動方法」21

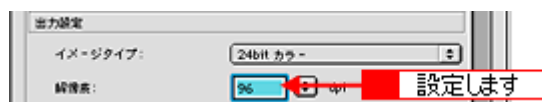
2. [原稿設定] を原稿に合わせて設定します。

[原稿種] は [フィルム] を選択してください。

[フィルムタイプ] はセットしたフィルムに合わせて選択してください。



3. 解像度を 96 ~ 150dpi 程度に設定します。

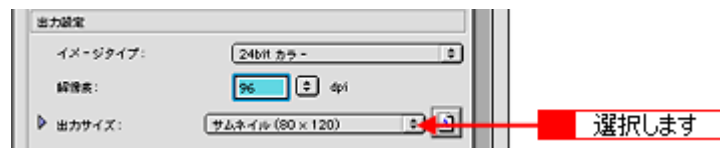


4. 通常表示でプレビューします。

[プレビュー] ボタンの右にある縦長の () ボタンで、[通常表示] を選択し、[プレビュー] ボタンをクリックします。

5. [出力サイズ] を選択します。

[出力サイズ] リスト、[サムネイル (80 × 120)] を選択してください。
取り込み枠が表示されます。



ポイント

サムネイルを選択すると、80 × 120 ピクセルに設定されます。小さすぎる場合は、他のサイズを選択するか、または [ユーザー定義サイズ] で目的のサイズを設定してください。

6. 取り込み枠の大きさを変更して、移動します。

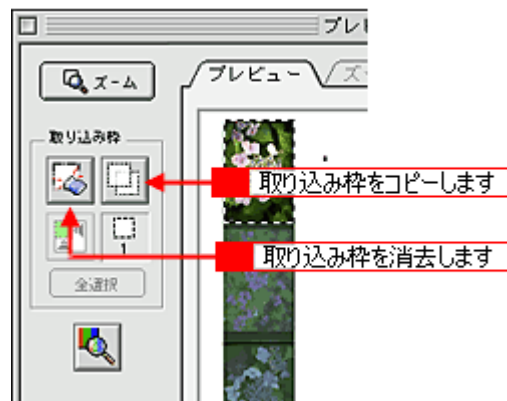
取り込み枠の大きさをドラッグして変更し、スキャンしたいコマの上に移動します。

☞ 「取り込み枠の調整方法」 31



7. 取り込み枠を、スキャンしたいコマ分コピーします。

プレビュー画面左上のボタンを使って、作成した取り込み枠をコマ分コピーして移動してください。
作成した取り込み枠を削除したいときは、プレビュー画面左上のボタンを使って削除してください。



8. [全選択] ボタンをクリックします。



9. [スキャン] ボタンをクリックします。

[保存ファイルの設定] ダイアログが表示されます。

10. 表示された [保存ファイルの設定] ダイアログで、[保存先] や [ファイル名] などを設定してください。

[保存ファイルの設定] ダイアログでの設定については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。



ポイント

- 後で画像を開く時はこの [保存先] で設定したフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。

- 保存形式は、圧縮形式の JPEG（拡張子：.jpg）をお勧めします。圧縮品質を選択でき、圧縮率を高くできます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータは復元不可）、さらに保存のたびに劣化するので、用途によっては、JPEG 以外の形式で保存してください。詳しくは、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

11. [OK] ボタンをクリックします。スキャンと保存が連続して実行されます。

 **ポイント**

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約 5 分かかる場合があります。

スキャナの最高画質でスキャンしよう

ここでは、プロフェッショナルモードでの設定を例に、最高解像度でスキャンする場合の設定を説明します。

ポイント

- 解像度を数千 dpi まで上げると、データ転送の規格上の制限などにより、スキャン可能サイズに制限が生じます。そのため、エラーメッセージが表示され、スキャンができない場合があります。またスキャンに非常に時間がかかる場合があります。
- 反射原稿をスキャンする場合、解像度が高すぎるとスキャンできない範囲が発生することがあります。

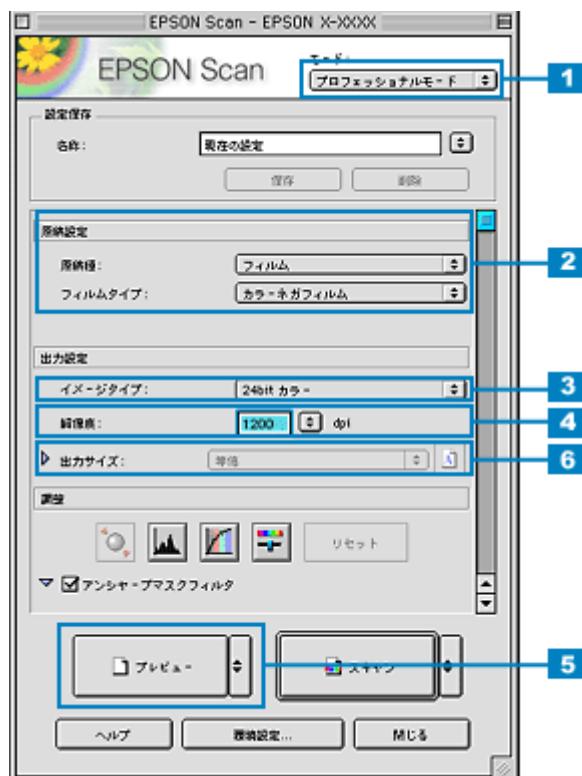
1. EPSON Scan を起動し、プロフェッショナルモードを選択します。

☞「EPSON Scan の起動方法」21

2. [原稿設定] を原稿に合わせて設定します。

[原稿種] は実際にセットしている原稿に合わせてください。

反射原稿の場合は [取込装置] と [自動露出]、フィルムの場合は [フィルムタイプ] を設定してください。



3. [イメージタイプ] を選択します。

4. 解像度を選択します。

解像度リストからお使いのスキャナの光学解像度を選択してください。

光学解像度については、以下の項目（センサ解像度の主走査の値）を参照してください。

☞「基本仕様」179

5. [プレビュー] ボタンをクリックして、原稿をプレビューします。

画像の仮スキャン（プレビュー）が実行され、プレビュー画面が表示されます。

ポイント

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

6. [出力サイズ] の設定が [等倍] になっていることを確認します。

そのほかの設定になっている場合は、[等倍] を選択してください。

ポイント

手順 4 で設定した解像度は、出力解像度（スキャン後の画像の解像度）です。スキャナからの入力解像度を設定した解像度と一致させたい場合は、[出力サイズ] を必ず [等倍] に設定してください。[等倍] 以外を選択すると、入力解像度と出力解像度が一致しません。

7. 取り込み枠を指定します。

☞「取り込み枠の調整方法」31

サムネイル表示でコマが複数ある場合は、調整したいコマをクリックします。

8. [スキャン] ボタンをクリックして、スキャンを実行します。**ポイント**

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約 5 分かかる場合があります。

取り込んだ画像の活用方法

EPSON Photo!4 を利用する

同梱の EPSON Photo!4 は、画像のデータ管理や印刷が簡単にできるソフトウェアです。ここでは、EPSON Photo!4 の起動から画像のデータ管理、印刷などの基本的な方法や機能を紹介しています。詳しい使い方は、以下をご覧ください。

👉『EPSON Photo!4 オンラインヘルプ』

EPSON Photo!4 でできること

EPSON Photo!4 では、以下のようなことができます。

- 画像を簡単に表示できる
フォルダを指定するだけで、保存してある画像をサムネイル表示できるので、どんな画像があるのかすぐに把握できます。
- いろいろな方法で画像を表示できる
ツールボタンをクリックするだけで、サムネイル表示、拡大表示、90° 回転表示など、いろいろな方法で画像を表示することができます。
また、画像の情報の確認もできます。
- スライドショーや壁紙設定
画像のスライドショーを楽しんだり、好きな画像を壁紙に設定したりすることができます。
- 印刷できる
EPSON Photo!4 での印刷は、EPSON Easy Photo Print または EPSON PhotoQuicker を利用して印刷します。

ポイント

- EPSON Photo!4 では次のファイル形式に対応しています。
TIFF、JPEG
- EPSON Photo!4 では、スキャナからの原稿読み取りはできません。
- EPSON Easy Photo Print または EPSON PhotoQuicker 3.4 以上がインストールされていない場合は、EPSON Photo!4 からの印刷はできません。
- EPSON Easy Photo Print と EPSON PhotoQuicker は、エプソン製プリンタに添付されているソフトウェアです。
- 他にも EPSON Photo!4 には、いろいろな機能が用意されています。詳しくは以下をご覧ください。
👉『EPSON Photo!4 オンラインヘルプ』

EPSON Photo!4 の起動

1. [ハードディスク内の [アプリケーション] (または [Applications])] - [EPSON Photo!4] フォルダにある [EPSON Photo!4] のアイコンをクリックします。

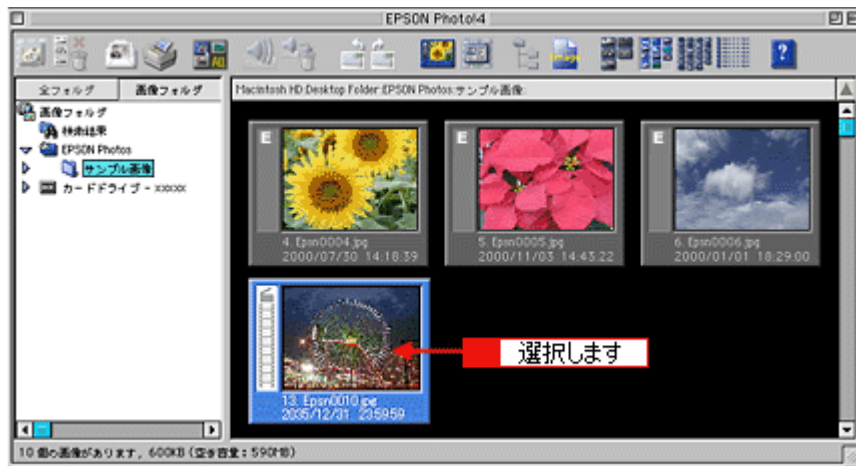


メイン画面が表示されます。

保存してある画像を表示する

1. 画像を表示するには、画面左側のフォルダ表示フレームから、表示したい画像が保存されているフォルダを選択します。

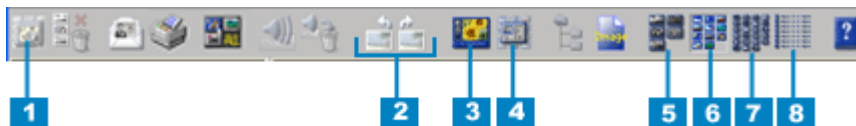
画面右側の画像一覧表示フレームに、画像が表示されます。



いろいろな方法で画像を表示する

画像一覧表示フレームに表示した画像を、いろいろな表示方法に切り替えて見たり、画像の情報を見たりすることができます。表示を切り替えたり、情報を見たりするには、ツールバーに表示されているツールボタンをクリックします。

ツールボタンとその内容は次の通りです。



No.	ツールボタン	内容	表示				
1	[開く] ボタン	画像ビューワのウィンドウが開き、選択した画像を拡大表示します。					
2	[左回転] / [右回転] ボタン	選択した画像を 90° 右回転または左回転して、表示します。	 右回転表示の例				
3	[情報アイコン表示 / 非表示] ボタン	表示されている画像の種類や情報をアイコンで表示します。このボタンをクリックすると、情報アイコンの表示/非表示を切り替えることができます。 D : DCF/JPEG イメージのファイル T : DCF/TIFF イメージのファイル など 他にも情報アイコンがあります。詳しくは、『EPSON Photo!4 オンラインヘルプ』をご覧ください。	<table border="0"> <tr> <td>表示</td> <td>非表示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表示	非表示		
表示	非表示						
							

No.	ツールボタン	内容	表示
4	[プロパティ] ボタン	選択している画像の情報をプロパティウィンドウを開いて、表示します。	
5	[サムネイル (大)] ボタン	選択しているフォルダの画像をサムネイル (大) で表示します。	
6	[サムネイル (中)] ボタン	選択しているフォルダの画像をサムネイル (中) で表示します。	
7	[サムネイル (小)] ボタン	選択しているフォルダの画像をサムネイル (小) で表示します。	
8	[詳細] ボタン	選択しているフォルダの画像を詳細な情報をリスト形式で表示します。	

スライドショー

EPSON Photo!4 では、画像一覧表示フレームに表示されている画像を、スライドショーで表示することができます。ここでは、スライドショーを実行する方法を説明します。

1. 右側の画像一覧表示フレームから、スライドショーで表示したい画像を選択します。

どの画像も選択していない状態にするとすべての画像をスライドショーで表示します。1枚だけ画像を選択すると、選択した画像以降の画像のみをスライドショーで表示します。

2. [画像] メニューをクリックし、[スライドショー] をクリックします。



3. スライドショーが開始されます。


3秒ごとに画像が切り替わって表示されます。

すべての画像の表示が終了すると、画面右下にスライドショーの操作パネルが表示されます。



4. 操作パネルの [×] ボタンをクリックすると、スライドショーが終了します。

ポイント

- 操作パネルで、スライドショーの表示をコントロールできます。
- スライドショーの表示サイズや再生間隔（何秒ごとに表示するか）などの設定を変更することができます。スライドショーの設定を変更するには、[編集]メニューをクリックし[設定]をクリックすると表示される[EPSON Photo4 -設定]ダイアログボックスの[スライドショー]タブで変更します。
- 操作パネルや、スライドショーの設定について、詳しくは、以下をご覧ください。
 『EPSON Photo4 オンラインヘルプ』

画像を壁紙に設定する

画像一覧表示フレームに表示されている画像を、デスクトップの壁紙に設定することができます。ここでは、壁紙に設定する方法を説明します。

1. 画面右側の画像一覧表示フレームで、壁紙に設定したい画像を1つだけ選択します。
2. [画像]メニューの[壁紙に設定]をクリックします。



3. 配置方法を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

左側の画面で、選択した配置方法の表示例を確認することができます。

[OK] ボタンをクリックすると、OS ごとに以下のフォルダに保存され、壁紙として表示されます。

OS	保存先フォルダ	保存ファイル名と形式
----	---------	------------

Mac OS 8.6~9.X	[システム] - [アピアランス] - [デスクトップピクチャ] フォルダ	EPSON DSC Photo(PICT 形式)
Mac OS X	[ライブラリ] - [Desktop Pictures] フォルダ	



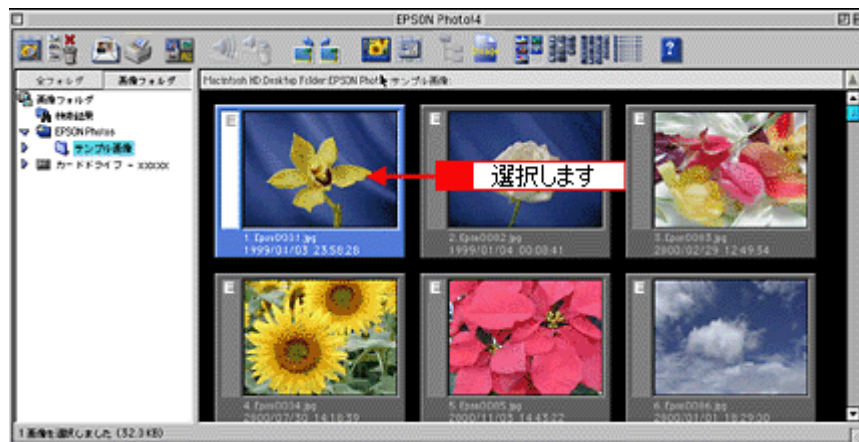
印刷する

選択した画像を印刷します。印刷には、EPSON Easy Photo Print または EPSON PhotoQuicker を使用します。ここでは、EPSON Easy Photo Print を使用して、選択した画像を印刷する方法を説明します。

ポイント

- EPSON Easy Photo Print または EPSON PhotoQuicker3.4 以上がインストールされていないと、EPSON Photo!4 からの印刷はできません。
- EPSON Easy Photo Print と EPSON PhotoQuicker は、エプソン製プリンタに添付されているソフトウェアです。

1. 印刷する画像を選択します。



ポイント

画像を複数選択する場合は、キーボード上の [Ctrl] キー [option] キーを押しながら画像を選択します。

2. [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

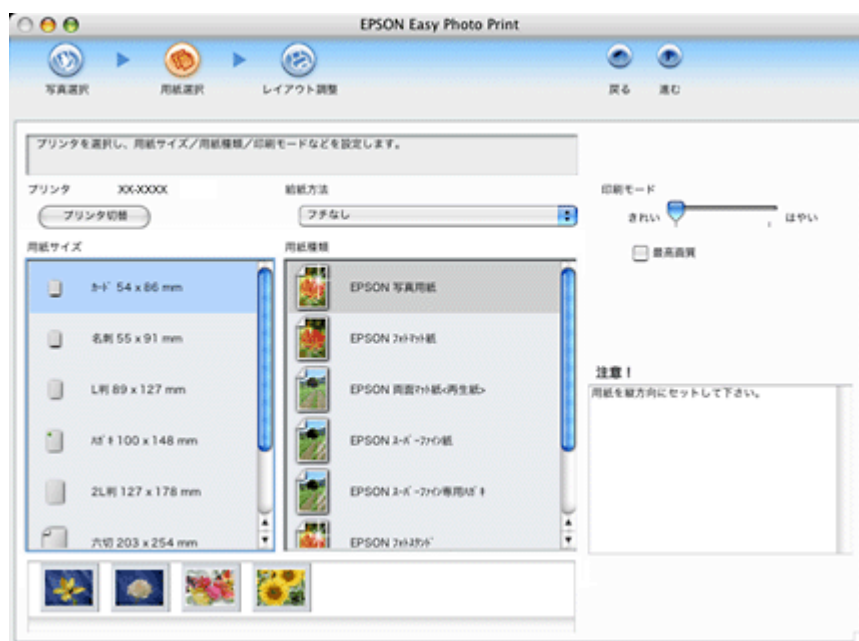
EPSON Easy Photo Print が起動します。



ポイント

EPSON Easy Photo Print と EPSON PhotoQuicker の両方がインストールされている場合は、EPSON Photo!4 から画像を印刷するときに EPSON Easy Photo Print が起動します。

3. 設定をして印刷を実行します。



ポイント

EPSON Easy Photo Print と EPSON PhotoQuicker の操作方法については、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Adobe Photoshop Elements 2.0 を利用する

同梱の Adobe Photoshop Elements 2.0 は、高品質な画像を編集できる、デジタル画像編集ソフトウェアです。Adobe Photoshop Elements 2.0 には、操作が簡単なツールを備えており、スキャンした画像を好きなように編集・加工することができます。

ここでは、Adobe Photoshop Elements 2.0 の起動から画像の編集、印刷などの基本的な操作方法や機能を紹介しています。詳しい使い方は、以下をご覧ください。

☞『Adobe Photoshop Elements 2.0 ヘルプ』

Adobe Photoshop Elements 2.0 でできること

Adobe PhotoShop Elements 2.0 では、以下のようなことができます。

また、ここに紹介した以外にも、いろいろな機能があります。詳しくは以下をご覧ください。

☞『Adobe Photoshop Elements 2.0 ヘルプ』

- フォルダ内の画像を確認できる
ファイルブラウザで、フォルダ内に保存してある画像をサムネイルで表示できるので、どんな画像があるのかを一目で確認できます。
- 1つのウィンドウでまとめて補正できる
めんどろな補正も、複数のウィンドウを開いたりすることなく、1つのウィンドウで補正結果をプレビューで確認しながら、まとめて操作できます。
また、傾いた画像の修正をするとき、画像の回転と切り抜きという別々の操作を行わなくても、一度の操作で行うことができます。
- 自由自在に選択範囲を指定できる
人物など複雑な形も、ドラッグして選択範囲を指定できます。選択範囲は、自由に加工できるので、合成写真の作成に利用できます。
- 画像の合成もすばやくできる
360° ぐると撮影した風景写真も、自動的に画像を連結して1枚のパノラマ写真にすることができます。
また、画像を合成すると、自動的にレイヤーができ、合成後の画像の加工も簡単です。
- 画像の好きな位置にテキストを配置できる
画像上の好きな位置に、テキストを配置することができます。また、配置したテキストのサイズや色を変更したり、変形したりもできるので、楽しいポストカードも作成できます。
- Web 用に画像を最適化
画像をご自分のホームページで紹介したい場合でも、設定後の画像を確認しながら Web 用に最適化できます。Internet Explorer などのブラウザで表示を確認することもできます。
- 携帯電話用に画像を調整する
お気に入りの画像を i モード用の画像に調整できます。
- 印刷
プレビューで、用紙サイズや画像の大きさ、配置を調整し、確認しながら印刷できます。

Adobe Photoshop Elements 2.0 の起動から画像を開くまで

ここでは、Adobe Photoshop Elements 2.0 を起動し、保存してある画像をファイルブラウザで確認してから開く方法を説明します。スキャナから原稿を読み込む場合の操作は、以下を参照してください。

☞「TWAIN 対応アプリケーションから起動」22

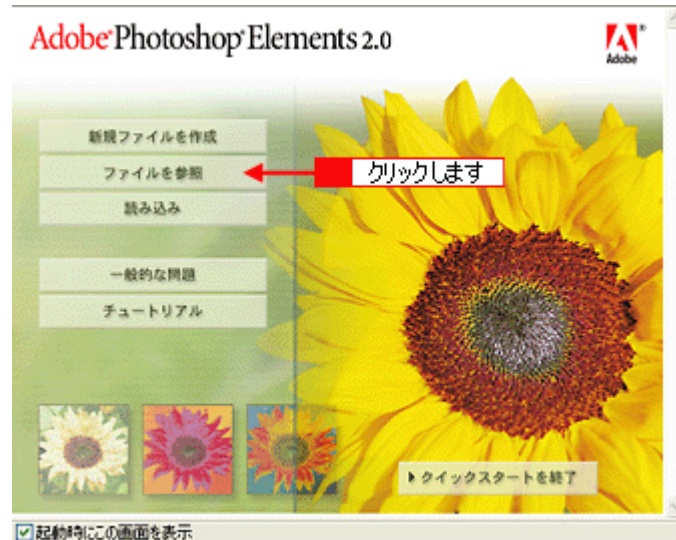
1. ハードディスク内の [アプリケーション] (または [Applications]) - [Adobe Photoshop Elements 2] フォルダにある [Photoshop Elements 2.0] をダブルクリックして起動します。



Photoshop Elements 2.0

2. クイックスタート画面で [ファイルを参照] をクリックします。

クイックスタート画面が表示されていない場合は、[ファイル] メニューをクリックし、[参照] をクリックします。



[ファイル ブラウザ] 画面が表示されます。

3. 画像を保存してあるフォルダをクリックすると、画面の右側に画像が表示されます。

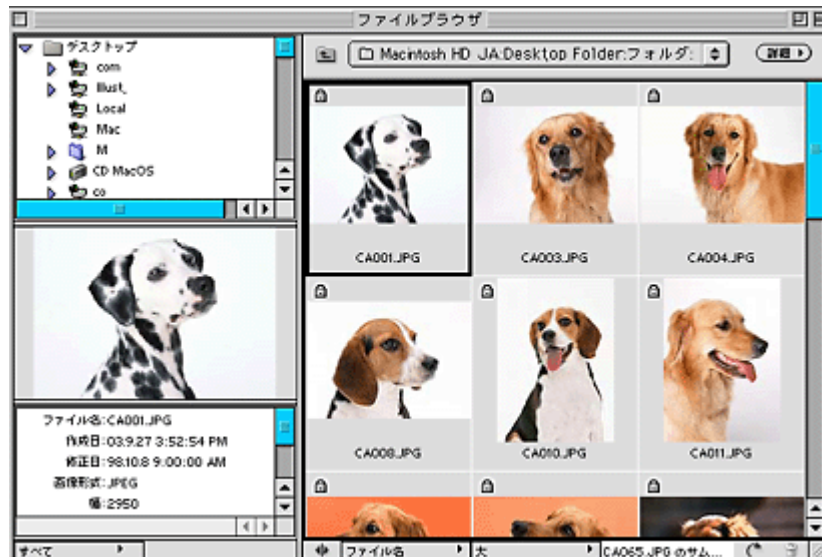


ポイント

選択した画像の情報が画面の左下に表示されます。

4. 画像を確認し、特定の画像を開きたい場合は、その画像をダブルクリックします。

画像が開きます。



ポイント

ファイルブラウザを使用せずに画像を開く場合は、[ファイル] メニューから [開く] をクリックして、画像を選択して開きます。

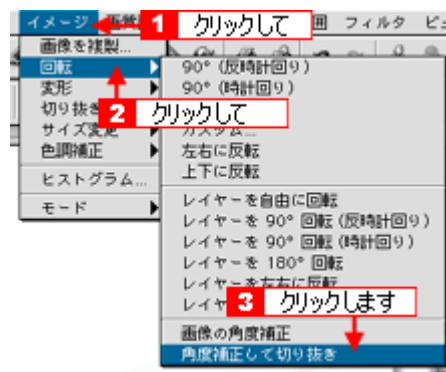
傾いた画像を補正する

ここでは、傾いた写真などの画像を補正する際、角度の補正と切り抜きの操作を一度の操作で行う方法を説明します。

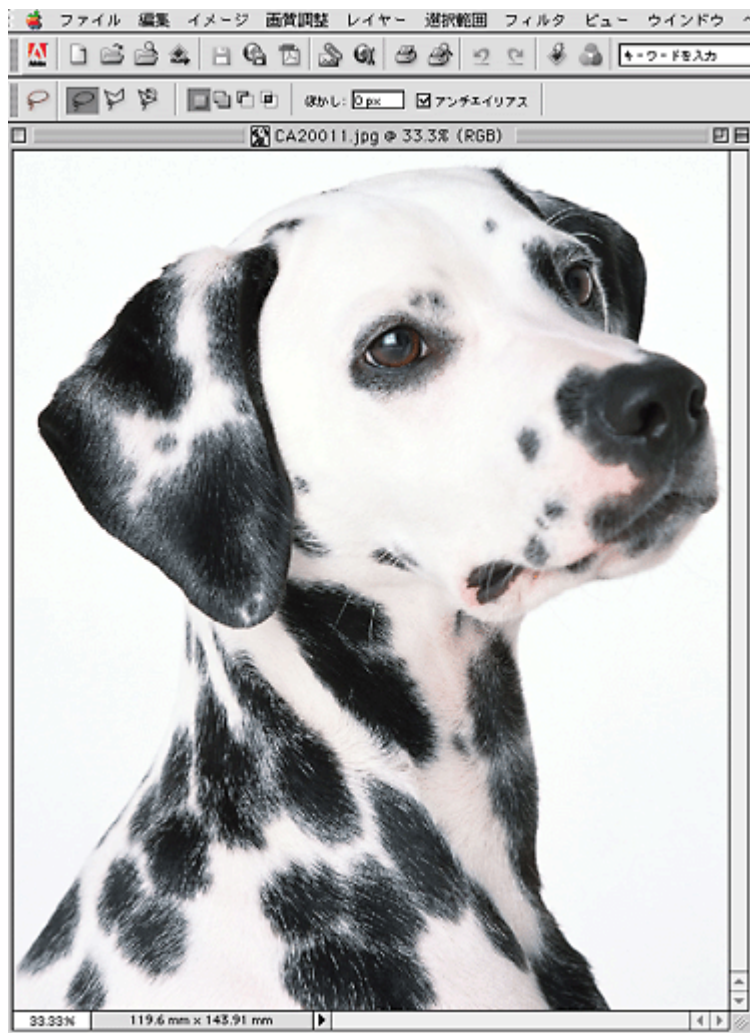
1. 補正したい画像を開きます。

⇒「Adobe Photoshop Elements 2.0 の起動から画像を開くまで」111

2. [イメージ] メニューから [回転] をクリックし、[角度補正して切り抜き] をクリックします。



画像が自動で角度補正され、切り抜きされます。



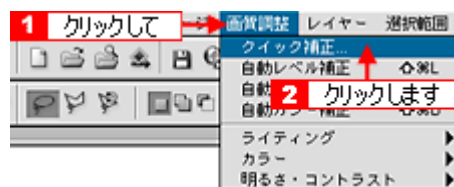
クイック補正する

ここでは、画像の微調整したい場合など、1つのウィンドウで補正できる方法を説明します。

1. 補正したい画像を開きます。

⇒「Adobe Photoshop Elements 2.0 の起動から画像を開くまで」111

2. [画質調整] メニューをクリックし、[クイック補正] をクリックします。



3. 必要な補正をします。終わったら、[OK] ボタンをクリックします。

[1. カテゴリを選択] → [2. 補正方法を選択] → [3. 適用] の順に操作します。
補正方法を選択すると、それに対応した説明が [説明] のところに表示されます。
また、[現在] のところに、補正結果の画像がプレビュー表示されます。



必要部分を選択する

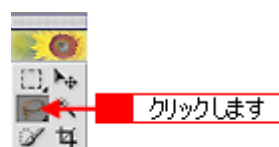
写真内の人物だけを選択して合成写真に使用する場合など、必要な部分を選択したいときがあります。ここでは、画像内の必要な部分を選択範囲として指定する方法を説明します。

1. 目的の画像を開きます。

☞「Adobe Photoshop Elements 2.0 の起動から画像を開くまで」111

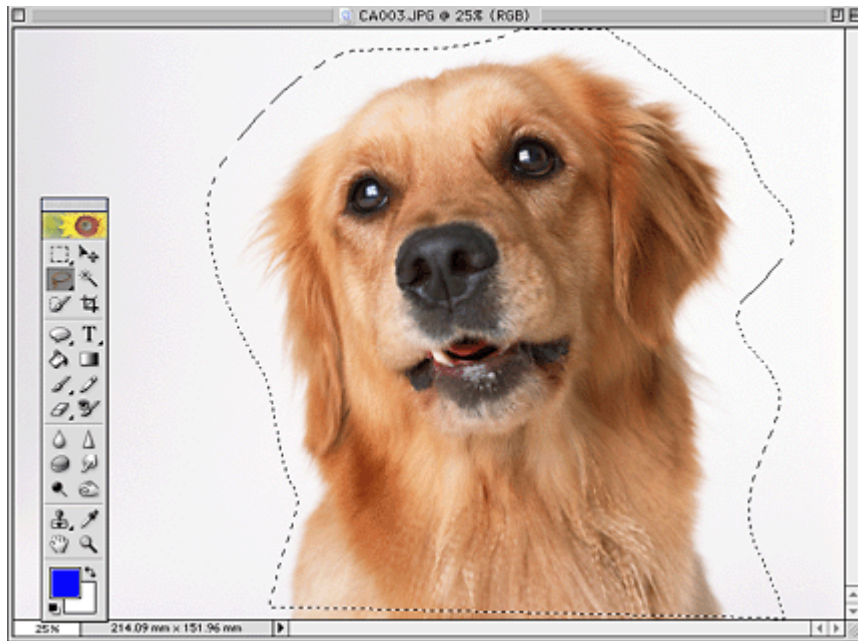
2. ツールボックスの [なげなわツール] ボタンをクリックします。

マウスポインタが、なげなわの形に変化します。



3. 選択したい部分をドラッグして囲み、選択範囲にします。

波線で囲まれたところが、選択範囲になり、この中だけが、ペイントや加工などができるようになります。



合成写真などを作るときは、選択範囲をコピーするなどして利用します。

ポイント

- ツールボックスの（[移動ツール] ボタン）をクリックすると、選択範囲をドラッグして移動できます。
- なげなわツールの代わりに、[マグネット選択ツール] ボタンを使用すると、すばやく選択範囲を指定できます。

パノラマ写真を作る

360° ぐると撮影した風景写真や、1枚に収まらずに複数枚になってしまった写真を1枚のパノラマ写真にすることができます。

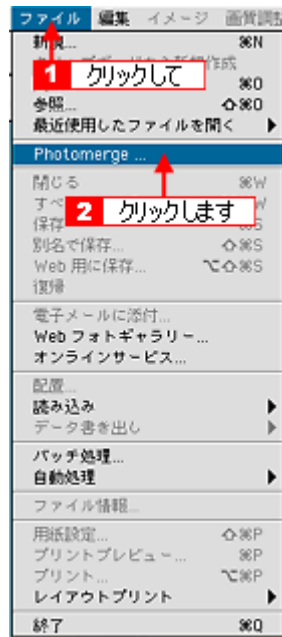
ここでは、複数枚の画像を自動的に連結したパノラマ写真を作る方法を説明します。

1. パノラマ写真を作りたい画像を開きます。

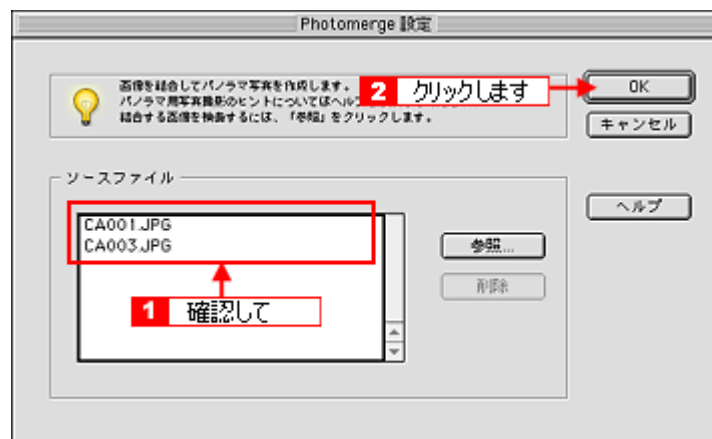
☞「Adobe Photoshop Elements 2.0 の起動から画像を開くまで」111

ここでは、2枚の画像を使用します。

2. [ファイル] メニューをクリックし、[Photomerge] をクリックします。



3. [Photomerge] ダイアログボックスで、パノラマ写真の元になる写真のファイルのファイル名が表示されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。



画像が自動的に合成され、プレビュー表示されます。

4. つなぎ方の設定をし、よければ [OK] ボタンをクリックします。

つなぎ方の設定は、[コンポジション設定] の [高度な合成] チェックボックスをチェックすると、画像の境目が自然になるように色が補正されます。



新しい画面が開き、パノラマ写真ができあがります。

[切り抜き] ツールで切り取って完成です。



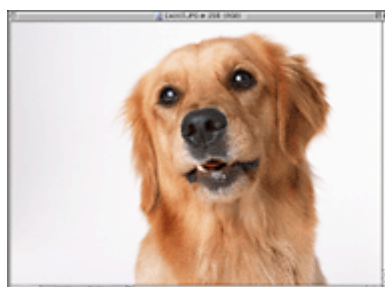
レイヤーを使った合成写真を作る

複数枚の画像を組み合わせて、1つの画像にしたいとき、レイヤーを設定してレイヤーごとに画像を配置することができます。こうすると、レイヤーごとに画像が独立しているため、編集や制御もしやすくなります。ここでは、レイヤーを使った画像の合成方法を説明します。

1. 背景になる画像と、その画像に合成したい画像を開きます。

ここでは、合成する画像は2枚で説明していますが、複数枚ある場合は、すべての画像を開いてください。

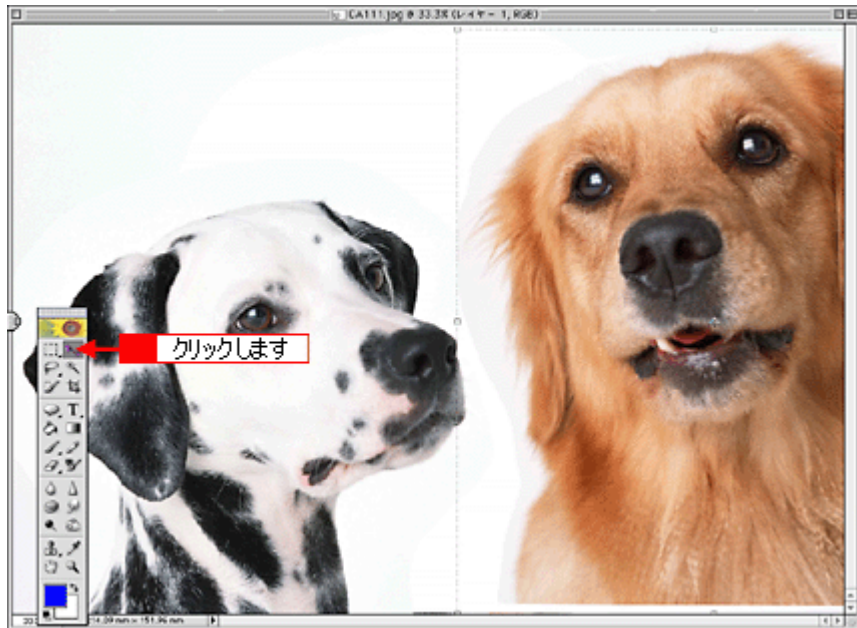
☞「Adobe Photoshop Elements 2.0の起動から画像を開くまで」111



2. 画像を合成します。

ここでは、右の画像から犬の画像を「なげなわツール」ボタンを利用して選択範囲を指定し、「移動ツール」ボタンで、背景画像へ移動しています。

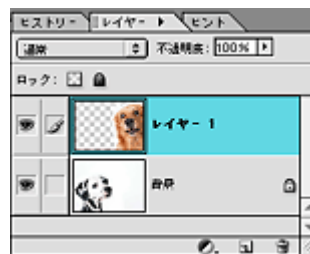
☞「必要部分を選択する」115



画像を合成すると、自動的にレイヤーができます。

3. 【ウインドウ】メニューをクリックし、【レイヤー】をクリックします。

【レイヤー】パレットが表示され、合成した画像が階層になっていることがわかります。

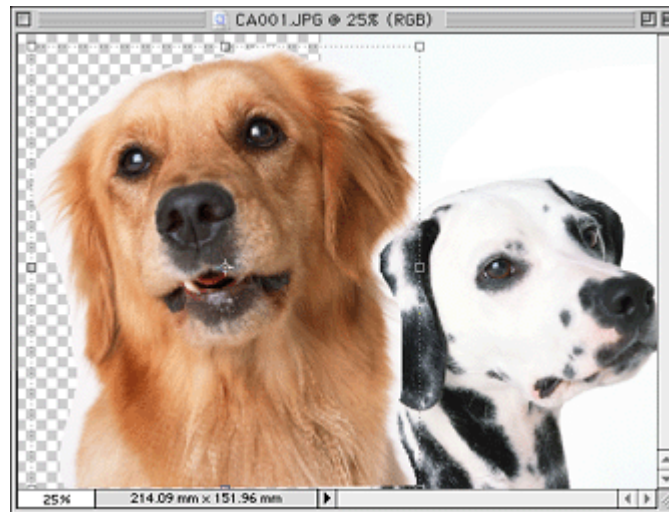


4. 合成した画像を移動したいときは、移動したい画像のレイヤーをクリックし、ツールボックスの（【移動ツール】ボタン）をクリックします。


画像のまわりに、破線が表示されます。



5. ドラッグして移動します。




ポイント

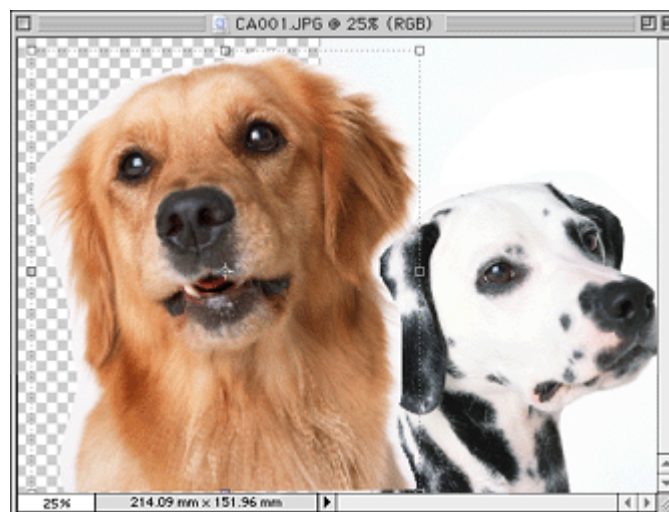
- 背景画像は移動できません。
- レイヤーを使って、合成画像の加工もできます。詳しくは、以下をご覧ください。
 『Adobe Photoshop Elements 2.0 ヘルプ』

画像にテキストを配置する

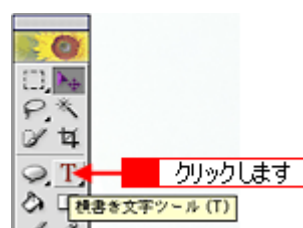
画像上に、好きなテキストを配置することができます。
ここでは、画像上にテキストを配置する方法を説明します。

1. テキストを配置する画像を開きます。

 「Adobe Photoshop Elements 2.0 の起動から画像を開くまで」 111

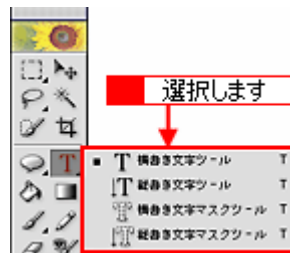


2. ツールボックスで、([文字ツール] ボタン) をクリックし、[横書き文字ツール] をクリックします。

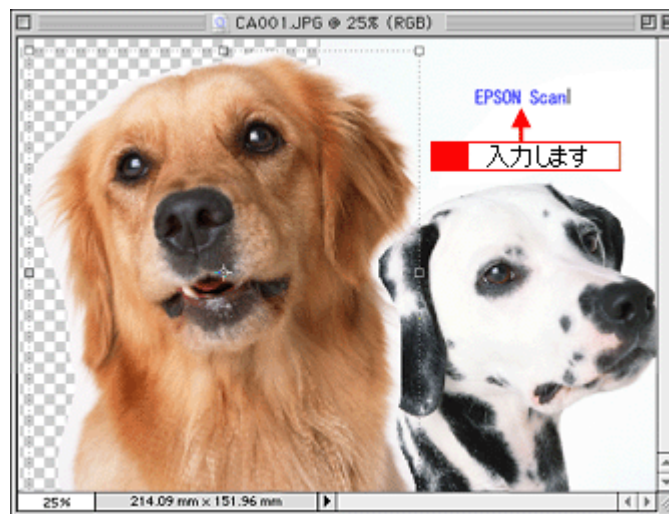


「ツールボックスの文字ツールアイコン」を、しばらくクリックしたままの状態にすると、文字ツール種類のメニューが表示されます。


ここでは、[横書き文字ツール] を選択します。



3. カーソル(「」)が表示されますので、テキストを追加したい位置をクリックし、キーボードから文字を入力します。




ポイント

- 入力した文字は、テキスト専用レイヤー（テキストレイヤー）が自動で作成されます。
- 入力した文字は、サイズやフォント、色の変更、さらに変形もできます。詳しくは以下をご覧ください。
 『Adobe Photoshop Elements 2.0 ヘルプ』

Web用に画像を最適化する

画像を Web 用に最適化し、保存することができます。
ここでは、画像を Web 用に最適化する方法を説明します。

1. 最適化する画像を開きます。

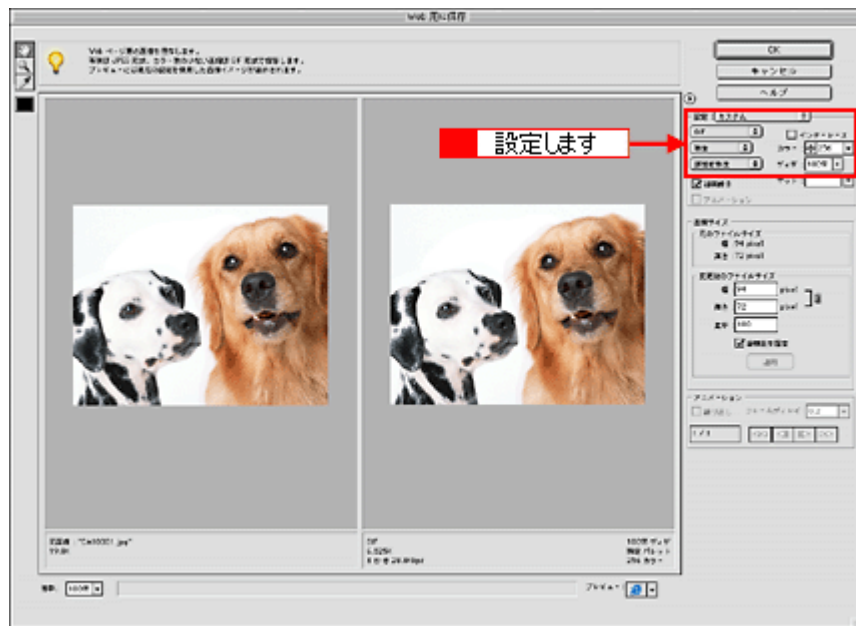
 『Adobe Photoshop Elements 2.0 の起動から画像を開くまで』 111

2. [ファイル] メニューをクリックし、[Web 用に保存] をクリックします。



3. Web用に画質を設定します。

左側に元の画像、右側に設定が反映された画像が表示されます。
ここでは、ファイル形式に「JPEG」、画質に「標準画質」を設定します。



ポイント

[プレビュー] ボタン (Internet Explorer の場合) をクリックすると、ブラウザで表示を確認できます。

4. 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。
5. [最適化ファイルを別名で保存] ダイアログボックスで、[保存する場所] と [ファイル名] を指定し、[保存] ボタンをクリックします。



画像が Web 用に最適化されて保存されます。

携帯電話用に画像を調整する

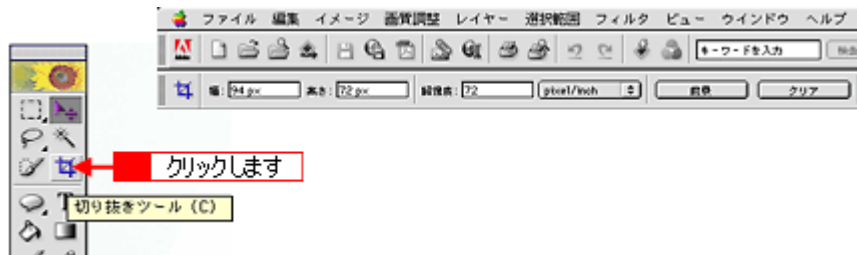
お好みの画像を携帯電話用に調整することができます。
ここでは、iモード用に画像を調整する方法を説明します。

1. iモード用に調整したい画像を開きます。

⇒「Adobe Photoshop Elements 2.0 の起動から画像を開くまで」111

2. ツールボックスで〔切り抜きツール〕ボタンをクリックし、オプションバーに切り抜くサイズを指定します。

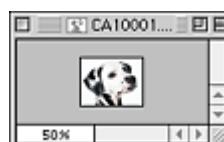
ここでは、iモード用の画像サイズとして、〔幅〕に「94px」、〔高さ〕に「72px」、解像度に「72pixel/inch」を指定します。



3. ドラッグして切り抜く位置を決め、ダブルクリックします。



画像が指定したサイズに切り抜かれて、表示されます。



ポイント

画像が切り抜かれると小さくなるので、見にくいときは、ツールボックスの〔ズームツール〕ボタンで拡大表示します。

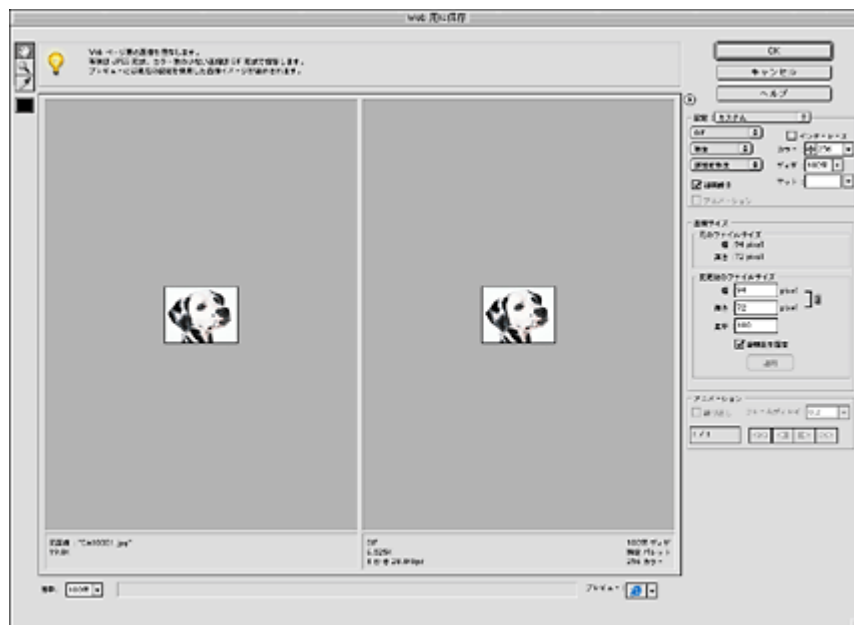
4. [ファイル] メニューをクリックし、[Web用に保存] をクリックします。



5. i モード用に画質を設定します。

左側に元の画像、右側に設定が反映された画像が表示されます。

ここでは、ファイル形式に「GIF」を設定します。また、右側の画像の左下にファイルサイズが表示されますので、5K以下になるように [カラー] で数値を調整します。

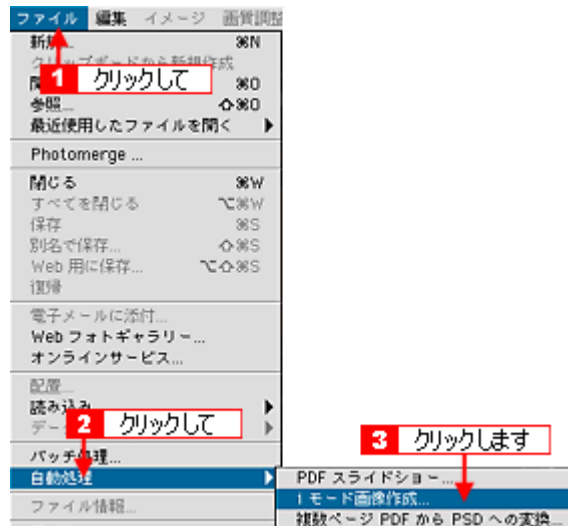


6. 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。

7. [最適化ファイルを別名で保存] ダイアログボックスで、[保存する場所] と [ファイル名] を指定し、[保存] ボタンをクリックします。

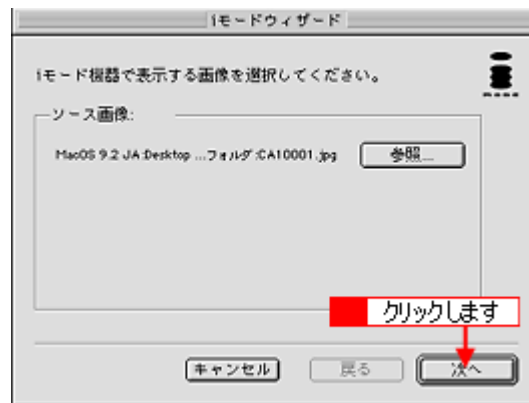


8. [ファイル] メニューから [自動処理] をクリックし、[i モード画像作成] をクリックします。



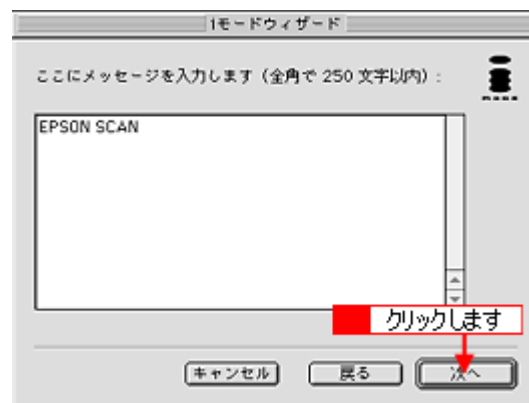
9. [iモードウィザード] ダイアログボックスで、iモード機器で表示する画像を選択し、[次へ] ボタンを押します。

iモード機器で表示する画像は [ファイル参照] ボタンをクリックして、操作手順 5 で保存したファイルを選択します。



10. メッセージを入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

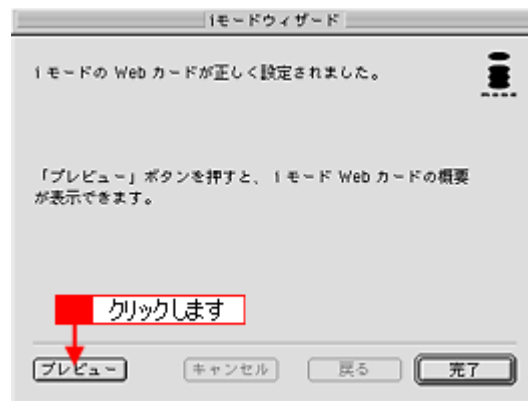
メッセージの入力は自由です。何も入力しなくてもかまいません。



11. [フォルダの参照] ダイアログボックスで、保存先を指定し、[選択] ボタンをクリックします。



12. 次の画面が表示されたら、[プレビュー] ボタンをクリックして画像の表示をブラウザで確認します。



ブラウザが起動し、プレビューが表示されます。画面を閉じるときは、画面右上の [—] をクリックします。



13. 確認したら、[完了] ボタンをクリックします。

ポイント

作成したiモード用の画像は、携帯電話へ転送する必要があります。転送の方法は、各アプリケーションや携帯電話の取扱説明書などをご覧ください。

印刷する

印刷する前に、用紙サイズや画像の大きさ、配置などを設定し、印刷します。ここでは、プリンタで印刷する方法を説明します。

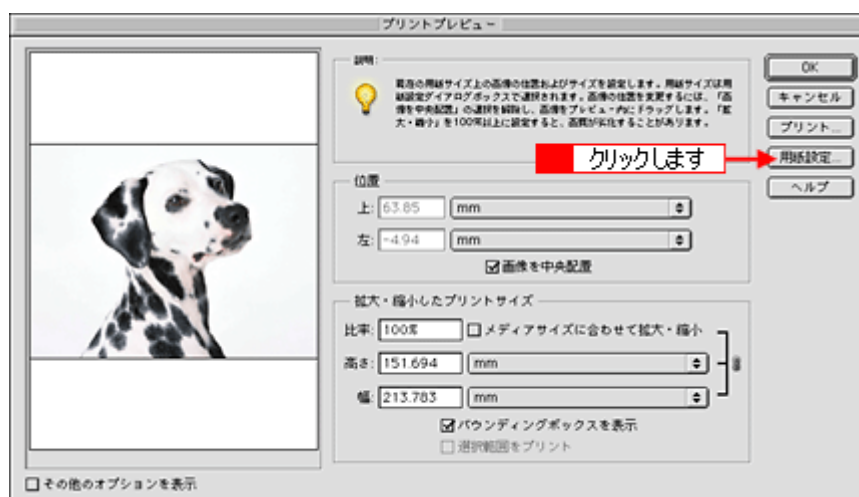
1. 印刷したい画像を開きます。

⇒「Adobe Photoshop Elements 2.0 の起動から画像を開くまで」111

2. [ファイル] メニューをクリックし、[プリントプレビュー] をクリックします。

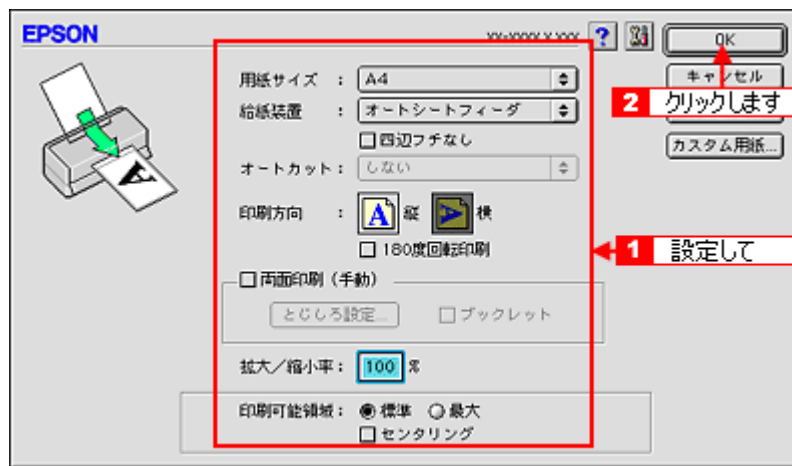


3. [プリントプレビュー] ダイアログボックスで、[用紙設定] ボタンをクリックします。



4. [用紙設定] ダイアログボックスで、用紙サイズと印刷の向きを設定し、[OK] をクリックします。

用紙サイズは、[用紙サイズ] の [] ボタンをクリックして、リストから目的のサイズを選択します。ここでは、[用紙] の [サイズ] で「Letter」、[印刷の向き] で [横] を設定します。



[OK] ボタンをクリックすると、[プリントプレビュー] ダイアログボックスに戻ります。

5. 画像の大きさや位置を設定し、[プリント] ボタンをクリックします。

画像の大きさを変更するには、画像の四隅に表示されている四角をドラッグします。
位置を移動するには、画像上をドラッグします。



ポイント

[位置] の [画像を中央に配置] チェックボックスをチェックしていると、画像が中央に固定されていて移動できません。画像の位置を移動したいときは、チェックをはずします。

6. 内容を確認し、[印刷] ボタンをクリックします。

印刷が開始されます。

トラブル対処方法

スキャナ本体の動作確認

本機の「電源」スイッチを押して、液晶画面が表示しているか確認してください。
スキャナが動かない場合や、エラーランプが赤色に点灯する場合は、以下の項目を参照してください。

⇒「電源がオンにならない」 130

⇒「電源をオンにするとエラーランプが点灯した」 131



ポイント

「電源」スイッチを押してから電源がオンになるまで約3秒かかります。

電源がオンにならない

[電源] スイッチを押してもスキャナが動作しない。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

✓ チェック

電源プラグがコンセントから抜けていませんか？

差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。また、壁に固定されたコンセントに電源プラグを差し込んでいるか再度確認してください。

✓ チェック

コンセントに電源はきていますか？

ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確認してください。ほかの電気製品が正常に動作するときは、本機の故障が考えられます。

💡 ポイント

以上の2点を確認しても電源が入らない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『取扱説明書』（冊子）の裏表紙をご覧ください。

電源をオンにするとエラーランプが点灯した

✓ チェック

本機とコンピュータが正しく接続されていますか？

接続ケーブル（USB、IEEE1394）が、本機とコンピュータにしっかり接続されているかを確認してください。

💡 ポイント

以上の項目を確認してもエラーが発生する場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『取扱説明書』（冊子）の裏表紙をご覧ください。

スキャナが認識されない

コンピュータが本機を認識しない。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

✓ チェック

ご利用のコンピュータは Mac OS 8.6 から 9.x または Mac OS X 10.2 以上ですか？

本機は Mac OS 8.6 から 9.x または Mac OS X 10.2 以上で使用できます。

✓ チェック

インストールが不完全な状態で終了している可能性があります。

何らかの原因で、正常にインストールできない、スキャンができないなどの症状が発生した場合は、いくつかの項目をチェックして再度、インストール作業を実行する必要があります。詳しくは、『取扱説明書』（冊子）をご覧ください。

💡 ポイント

以上の項目を確認しても症状が改善しない場合は、インフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は、『取扱説明書』（冊子）の裏表紙をご覧ください。

スキャンに時間がかかる

スキャンに時間がかかる。こんなときは、次のチェック項目を確認してください。

✓ チェック

画像を高解像度でスキャンしていませんか？

画像を高解像度でスキャンする設定にしていると、スキャンに時間がかかります。解像度を下げて、画像をスキャンしてください。

☞「解像度について」169

✓ チェック

スキャンしている原稿はフィルムですか？

フィルムのスキャンでは複雑な画像変換処理が必要なため、反射原稿より時間がかかります。

ポジフィルムをスキャンする場合、スキャン開始までのウォーミングアップに約5分かかる場合があります。

プレビュー画像の色がおかしい

プレビューを実行したときの画像の色あいがおかしい。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

✓ チェック

[環境設定] ダイアログの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。

[環境設定] の [カラー] タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、[自動露出] ボタンを使用して調整してください。

ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。詳しくは、EPSON Scan のヘルプの「環境設定」をご覧ください。

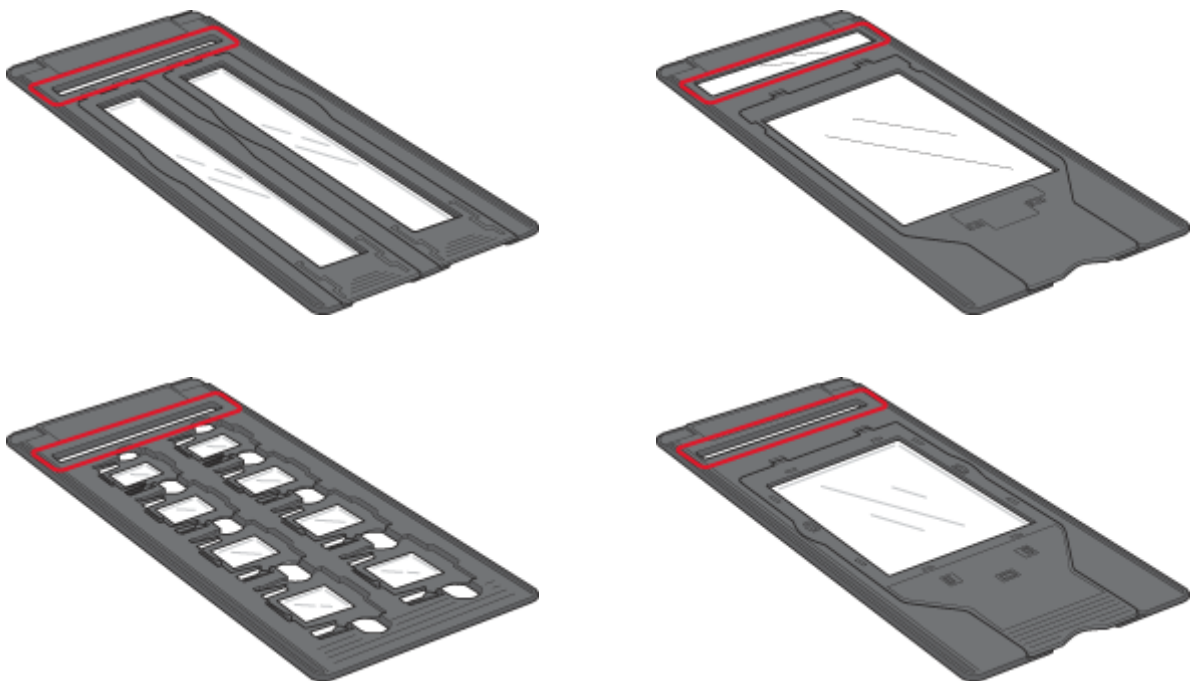
自動調整で意図通りの結果が得られない場合は、プロフェッショナルモードの [ヒストグラム調整] ダイアログでハイライト/シャドウ/ガンマを調整してください。

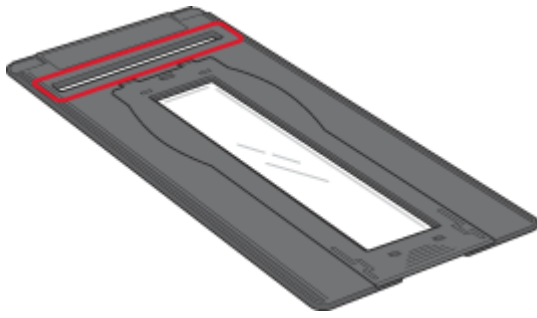
☞「明暗を厳密に調整する方法」60

✓ チェック

フィルムホルダの長方形窓の部分をふさいでいませんか？

付属のフィルムホルダの上部には、光量を補正するための長方形窓部分があります（丸囲みの部分）。この部分をふさがないように正しくセットしてください。





画像がぼけている・細部が良く見えない・ゆがんでいる・スジが出る

スキャンした画像がぼけていたり、細部が良く見えなかったり、ゆがんでいる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

✓ チェック

スキャン中に本機を揺らしていませんか？

本機に振動を与えないように気を付けながら、もう一度スキャンしてください。

✓ チェック

プロフェッショナルモードの場合、「アンシャープマスク」のチェックが外れていませんか？

メインウィンドウ上のアンシャープマスクのチェックボックスをチェックしてください。

☞「画像をシャープにする方法」52

✓ チェック

ディスプレイガンマの設定は適切ですか？

ディスプレイはメーカーや型番によって、明るさ・コントラスト（明暗の差）が異なります（ガンマ値の設定にバラつきがあります）。そのため、画像をお使いのディスプレイに合わせて最適な明るさでスキャンできるよう、[環境設定]の[カラー]タブで「ディスプレイガンマ」の設定を行ってください。

設定は、ご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。印刷しない場合は、1.8 に設定してください。なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。

[環境設定] ダイアログボックスの詳細については、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

✓ チェック

原稿自体のピントがずれていませんか？

スキャンした原稿自体のピントがずれている可能性があります。プロフェッショナルモードのアンシャープマスクのチェックボックスをチェックしてみてください。

☞「画像をシャープにする方法」52

ただし、その場合、モアレ（網目状の陰影）が生じるおそれがあります。モアレが生じる場合は、次の項目を参照して対処してください。

☞「モアレ（網目状の陰影）を取り除く方法」71

✓ チェック

[環境設定] ダイアログの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われなため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。

[環境設定] の[カラー]タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、[自動露出] ボタンを使用して調整してください。

ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。

✓ チェック

解像度が適切に設定されていますか？

EPSON Scan の機能により、スキャンする画像のきめ細かさ（解像度）を設定できます。適切な解像度を設定してスキャンしてください。

☞「解像度について」169

✓ チェック

35mm スライドフィルムをスキャンした時、スライド押さえを使用しないでスライドフィルムをホルダにセットしていませんか？

スライド押さえを使用してスキャンしてください。

それでも改善されない場合は EPSON Scan の解像度を低く設定してスキャンしてください。

☞「35mm スライドフィルムのセット方法」 10

✓ チェック

本機の内部ガラスが汚れていませんか？

スキャンした画像にスジが出た時、同梱のダストワイパーを使いクリーニングをしてください。

☞「スキャナのメンテナンス」 155

点がいくつか現れるだけで画像にならない

スキャンした画像が真っ白、影のように点がいくつか現れる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

✓ チェック

ホルダに原稿をセットしてありますか？

ホルダに原稿をセットしてください。

✓ チェック

原稿をスキャンする面を上にしてセットしてありますか？

原稿をスキャンする面を上にしてセットしてください。

✓ チェック

モノクロ（白黒2値）でスキャンする場合、しきい値の設定は適切ですか？

メインウィンドウの「しきい値」の設定を変更してみてください。設定を変更すると線や文字をスキャンできるようになります。

☐☐➡「文字原稿／線画のスキャンに適した設定」86

画像が暗い、原稿の裏面が写ってしまう

スキャンした画像が暗い、原稿の裏の内容までスキャンされる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

✓ チェック

ディスプレイガンマの設定は適切ですか？

ディスプレイはメーカーや型番によって、明るさ・コントラスト（明暗の差）が異なります（ガンマ値の設定にバラつきがあります）。そのため、画像をお使いのディスプレイに合わせて最適な明るさでスキャンできるよう、[環境設定]の[カラー]タブで「ディスプレイガンマ」の設定を行ってください。

設定は、ご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。印刷しない場合は、1.8 に設定してください。なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。自動露出は環境設定ダイアログで設定できます。環境設定ダイアログの詳細は、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

✓ チェック

[環境設定] ダイアログの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われなため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。環境設定ダイアログの詳細は、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。

[環境設定] の [カラー] タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、[自動露出] ボタンを使用して調整してください。

ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。

✓ チェック

原稿に裏が透けて見えるほどの薄い用紙を使用していませんか？

原稿の紙が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りしてスキャンされることがあります。裏写りは、黒い紙や下敷きを原稿の裏側に重ねると、改善できる場合があります。

✓ チェック

[原稿種] で [雑誌] または [新聞]、[自動露出] で [書類向き] を選択していますか？

ホームモードの場合は、[原稿種] リストから [雑誌] または [新聞]、プロフェッショナルモードでは、[自動露出] で [書類向き] を選択すると、ハイライト（画像の最も明るい部分）が 255（真っ白）になるように調整されます。そのため、裏写りを防止できます。また、背景地の黄色味などの色かぶりを除去できます。

☞ 「新聞・雑誌の切り抜きに適した設定」 90

画像にモアレ（網目状の陰影）が生じる

スキャンした画像に網目状の陰影（モアレ）が生じる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

✓ チェック

[モアレ除去フィルタ] チェックボックスをチェックしていますか？（反射原稿のみ）

[モアレ除去フィルタ] をチェックすると、モアレを防止することができます。

☞ 「モアレ（網目状の陰影）を取り除く方法」 71

✓ チェック

印刷物などのスクリーン処理された原稿をスキャンしていませんか？

印刷物などは、スクリーン処理がされているため、モアレ（網目状の陰影）が発生しやすい原稿です。モアレを完全になくすことはできませんが、次のいずれかの方法で少なくすることができます。

- EPSON Scan（プロフェッショナルモード）で「アンシャープマスク」のチェックを外してスキャンする
- [モアレ除去フィルタ] をチェックしてスキャンする
- 原稿の向きを変えてスキャンし、アプリケーションで本来の向きに回転する
- EPSON Scan のプロフェッショナルモードで「ズーム」の設定を少し変更してスキャンする

💡 ポイント

画像スキャンにおけるモアレ

スクリーン処理された印刷物の画像は、ドット（点）の集まりで構成されています。この画像を本機でスキャンしたときに、印刷上のドットとスキャン後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生します。

アンシャープマスクのチェックを外したり、モアレ除去機能を使用したり、原稿の向きを変えてスキャンすることによって、ドットの一致をある程度防ぐことができますが、完全に防ぐことはできません。

印刷におけるモアレ

画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換します。網点は中心部ほど高濃度になっていて、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出されます。網点はハーフトーンスクリーンともいい、網点の配列される角度をスクリーン角度といいます。

2色以上で印刷する場合は、それぞれの色ごとにこの処理（スクリーン処理）を行い、印刷時に再び重ね合わせられますが、このときにそれぞれのスクリーン角度が一致（＝網点が重複）すると、モアレが発生します。

画像にむらやシミ、斑点がでる

スキャンした画像にむらやシミ、斑点がでる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

✓ チェック

原稿やホルダが汚れていませんか？

ホルダの透明部分に汚れが付いていると画像にシミ・斑点などが入る原因になります。汚れが付いている場合は柔らかい布や同梱のクリーニングクロスを使いきれいに拭いてください。

汚れているときは、以下の項目を参照して、お手入れをしてください。

☞「スキヤナのメンテナンス」155

✓ チェック

原稿をホルダにセットするとき、原稿を強く押さえ付けていませんか？

原稿は、静かに置いてホルダのカバーをしめてください。強く密着させると画像をスキャンするとき、ホルダの透明部分に原稿が貼り付いて、ムラや斑点がでることがあります。

画像が画面に大きく表示される

スキャンした画像が必要以上に画面に大きく表示される。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

✓ チェック

画像を高解像度でスキャンしていませんか？

通常ディスプレイの解像度は 70 ~ 90dpi しかありません。しかし、アプリケーションによっては、スキャンした画像データの各画素（画像を構成している細かな点のひとつひとつ）を画面の解像度に対応させて表示するものがあります。その場合、高解像度の画像データは大きく表示されますが、アプリケーション上で縮小してご確認いただければ、問題ありません。印刷すると原稿と同じ大きさになります。

画像の色がセットした原稿と違う

スキャンした画像がセットした原稿の色あいと異なる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

✓ チェック

[イメージタイプ] を正しく設定していますか？

原稿の種類や画像の用途に合わせて、「イメージタイプ」を正しく設定してください。

✓ チェック

ディスプレイの表示色数が 256 色以下になっていませんか？

フルカラー（1677 万色以上）のデータを表示させるのであれば、表示色を Windows の場合 High Color（65000 色）以上、Macintosh の場合 32,000 色以上にしなければきれいな表示は得られません。

✓ チェック

[環境設定] ダイアログの「常に自動露出を実行」のチェックが外れていませんか？

チェックが外れていると自動露出調整が行われないため、露出（明暗）が不適切な画像となり、ぼけているように見える場合があります。

[環境設定] の [カラー] タブで「ドライバによる色補正」を選択して、「常に自動露出を実行」をチェックしておくか、[自動露出] ボタンを使用して調整してください。
ほとんどの場合は適切な露出に調整され、鮮明な画像になります。

✓ チェック

ディスプレイの調整はできていますか？

ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、画像が適切な明るさ / 色あいで表示されませんし、また印刷結果が予測できません。ディスプレイを正しく調整してください。

☞「ディスプレイについて」167

✓ チェック

アプリケーションソフトでのモニタ設定をしていますか？

Adobe Photoshop などのフォトタッチソフトを使用している場合は、フォトタッチソフト側の [モニタ設定] など、モニタ（ディスプレイのことですが、多くのフォトタッチソフトではモニタと表現しています）のキャリブレーションを行ってください。

モニタ設定を行うと、モニタやディスプレイアダプタによるクセをソフト上で取り除き、画像を適切に表示することができます。

詳しい手順については、お使いのフォトタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

💡 ポイント

印刷物とディスプレイの色は一致しない

印刷物は CMY（シアン・マゼンタ・イエロー / 色の三原色）、ディスプレイは RGB（赤・緑・青 / 光の三原色）で色を表現するため、すべての明るさや色あいを完全に一致させることはできません。

自分が最も気になる部分（肌色など）が合うように、EPSON Scan またはフォトタッチソフトで調整してみてください。

ディスプレイと印刷結果の色が合わない

せっかくきれいにスキャンした画像を印刷するとディスプレイと印刷結果の色合いが異なる。こんなときは、以下のチェック項目を確認してください。

✓ チェック

カラーマッチング技術を使用してみましたか？

Windows の「ICM/sRGB」や Macintosh の「ColorSync」などのカラーマッチング技術を使用してみてください。Windows の場合は、さらに [画面のプロパティ] で、お使いのディスプレイ用のカラープロファイル（色変換用の情報が入っているファイル）を追加しておいてください。

また、印刷に使用するアプリケーションソフトで ICM/sRGB の設定をしておいてください。そうしないと、ICM/sRGB を使用してもディスプレイと印刷結果の色は合いません。

☞「カラーマネージメントシステムについて」178

✓ チェック

ディスプレイの調整はできていますか？

ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、印刷結果が予測できません。ディスプレイを正しく調整してください。

☞「ディスプレイについて」167

✓ チェック

アプリケーションソフトでのモニタ設定をしていますか？

Adobe Photoshop などのフォトタッチソフトを使用している場合は、フォトタッチソフト側の [モニタ設定] など、モニタ（ディスプレイのことですが、多くのフォトタッチソフトではモニタと表現しています）のキャリブレーションを行ってください。

モニタ設定を行うと、モニタやディスプレイアダプタによるクセをソフト上で取り除き、画像を適切に表示することができます。

詳しい手順については、お使いのフォトタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

🔍 ポイント

印刷物とディスプレイの色は一致しない

印刷物は CMY（シアン・マゼンタ・イエロー / 色の三原色）、ディスプレイは RGB（赤・緑・青 / 光の三原色）で色を表現するため、すべての色を完全に一致させることはできません。また、インクジェットプリンタで印刷する場合、プリンタで表現する画素（インクの粒）はインクの色そのままであるのに対し、ディスプレイは画素 1 つ 1 つの階調を豊富に表現できます。そのため、画像の階調表現力はディスプレイの方が圧倒的に勝ります。

自分が最も気になる部分（肌色など）の色や階調が合うように、EPSON Scan またはフォトタッチソフトで画質を調整してみてください。

書籍のご案内

「カラーマネージメント！」

カラーマネージメントシステムの使いこなすテクニックが徹底解説されています。モニタキャリブレーションについても詳しく解説されています。

ISBN4-87280-336-1

発行所：株式会社 IDG コミュニケーションズ

サムネイルプレビューでコマが正常に切り出されない

ホーム / プロフェッショナルモードのサムネイルプレビューで、コマが正常に切り出されない。こんなときは、次の項目を確認してください。

✓ チェック

サムネイルプレビューに対応した原稿種を選択していますか？

セットした原稿が、サムネイルプレビューに対応した原稿種であるか確認してください。対応している原稿種は以下の通りです。

ホームモードの場合：
写真、ポジフィルム、カラーネガフィルム、白黒ネガフィルム

プロフェッショナルモードの場合：
フィルム（ブローニ判の6 × 9cm より大きなサイズはサムネイル表示に対応していません）

サムネイル表示の場合でも、取り込み枠を指定できます。
☞「サムネイル表示で取り込み枠を指定する」33

取り込み枠を指定してスキャンしても、思ったとおりの結果が得られないときは、ホームモードまたはプロフェッショナルモードで通常表示を選択し、取り込み枠を指定してください。

✓ チェック

極端に暗い（または明るい）画像をセットしていませんか？

以下のような画像をセットしていると、思った通りの画像をスキャンできない場合があります。その場合は、ホームモードまたはプロフェッショナルモードで通常表示を選択して、手動で取り込み領域を指定してからスキャンしてください。

- 極端に暗い（または明るい）画像
- 露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像

✓ チェック

フィルムにゴミが付いていませんか？

フィルムにゴミ、汚れなどがある場合、コマが正常に切り出せない場合があります。

✓ チェック

付属のフィルムホルダを、正しい向きにセットしていますか？

必ず、本機に付属しているフィルムホルダを使用してセットしてください。また、フィルムホルダは正しい向きにセットしてください。

✓ チェック

標準コマとパノラマが混在していませんか？

標準コマとパノラマが混在していると、パノラマが正常に認識されません。パノラマを含むフィルムをスキャンする場合は通常表示を選択してスキャンしてください。

✓ チェック

ブローニーフィルムをご使用の場合、環境設定の「フィルムサイズ」タブでブローニーフィルムサイズが正しく設定されていますか？

フィルムサイズが正しく設定されていない場合、コマが正常に切り出せない場合があります。

フィルムのスキャンで画像がおかしい

セットしたフィルムをスキャンしても、ディスプレイに表示される画像が意図しない結果となる。こんなときは、次の項目を確認してください。

✓ チェック

フィルムを正しくセットしていますか？

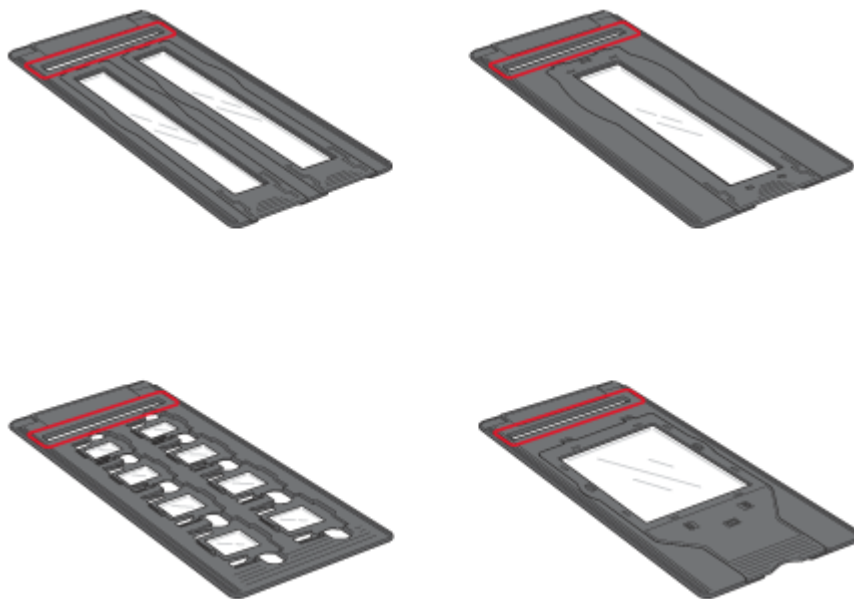
フィルムホルダにフィルムを正しくセットしてください。

- ☐➡ 「35mm ストリップフィルムのセット方法」 7
- ☐➡ 「35mm スライドフィルムのセット方法」 10
- ☐➡ 「120 / 220 (ブローニ) フィルムのセット方法」 13
- ☐➡ 「4 × 5 インチフィルムのセット方法」 16

✓ チェック

ホルダの長方形窓部分をふさいでいませんか？

付属のホルダの上部には、光量を補正するための長方形窓部分があります（丸囲みの部分）。この部分をふさがないよう正しくセットしてください。



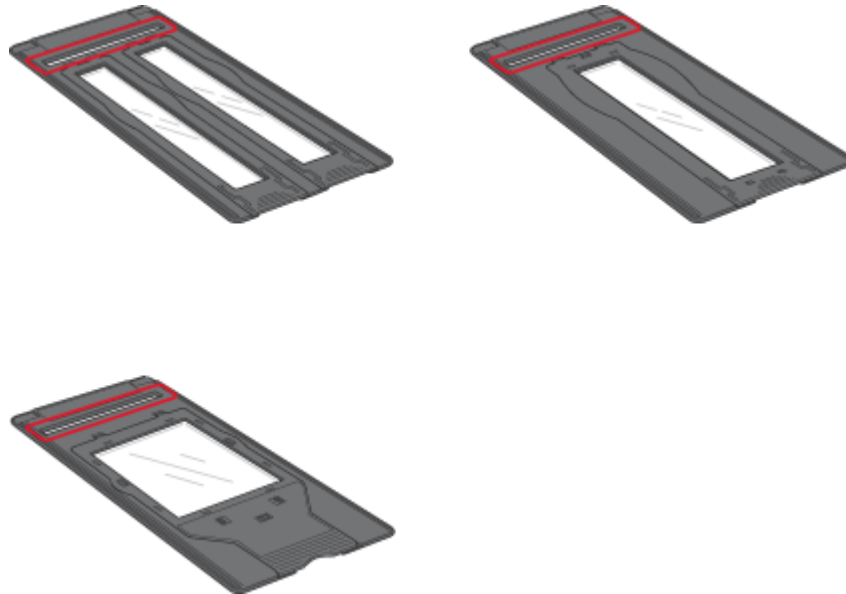
ネガフィルムのレビュー画像が粗い、色がおかしい

ネガフィルムのスキャンで、レビューに表示される画像が粗い、色がおかしい。こんなときは、次の項目を確認してください。

✓ チェック

ホルダの長方形窓部分をふさいでいませんか？

付属のホルダの上部には、光量を補正するための長方形窓部分があります（丸囲みの部分）。この部分をふさがないように正しくセットしてください。



ソフトウェア関連情報

EPSON Scan のシステム条件

EPSON Scan を使用するために最小限必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。

ポイント

以下の条件をすべて満たす場合にのみご使用いただけます。

USB1.1 の場合

- Mac OS 8.6 以上 / Mac OS 9.x または、Mac OS X 10.2 以上のコンピュータ
- USB インターフェイスを標準装備している機種

USB2.0 の場合

- Mac OS X 10.2.7 以上のコンピュータ

IEEE1394 の場合

- Mac OS 8.6 ~ 9.2.x、Mac OS X 10.2 以上ただし、Mac OS 8.6 の場合は FireWire Support 2.1 以上が必要

最新の情報はエプソンホームページでご確認ください。

システムソフトウェア	Mac OS 8.6 から 9.x Mac OS X 10.2 以上 (USB インターフェイスを標準装備している機種)
メモリ空き容量	64MB 以上 (128MB 推奨) ただし Mac OS X の場合は、128MB 以上
ハードディスク空き容量	インストール時 : 20MB 実行時 : 50MB スキャンを行う画像データによって、さらに多くの空き容量が必要となります。

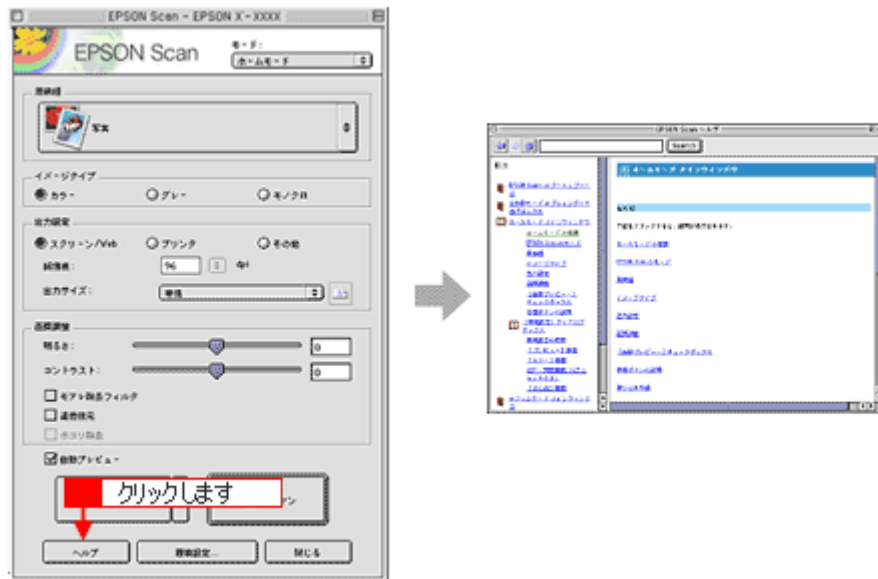
Mac OS X では、複数のユーザーが同時に 1 台のコンピュータを使用することができます (マルチユーザーログイン)。ソフトウェアをインストールするときは、一人 (コンピュータの管理者) だけがログインした状態で行ってください

各画面の説明を見たいときは

EPSON Scan の各画面、各項目の説明は、「ヘルプ」をご覧ください。
ヘルプは以下の方法で表示されます。

ヘルプの表示方法

EPSON Scan の使用時に、知りたい項目がある EPSON Scan の画面上で、[ヘルプ] ボタンをクリックしてください。ヘルプが表示されます。



同梱ソフトウェアの削除方法

次のソフトウェアを削除（アンインストール）するときは、以下の手順に従ってください。

- ・ EPSON Scan
- ・ EPSON Photo!4
- ・ Adobe Photoshop Elements2.0

ポイント

Mac OS X では、複数のユーザーが同時に 1 台のコンピュータを使用することができます（マルチユーザーログイン）。ソフトウェアをアンインストールするときは、1 人（コンピュータの管理者）だけがログインした状態で行ってください。

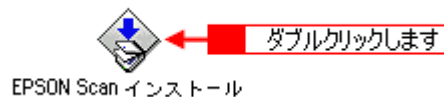
1. 本機の電源をオフにするか、またはインターフェイスクーブルを取り外します。
2. ソフトウェア CD-ROM をセットします。
3. Mac OS X の場合は、[Mac OS X] フォルダをダブルクリックします。Mac OS 8.6 ~ 9. x の場合は、手順 4 に進みます。



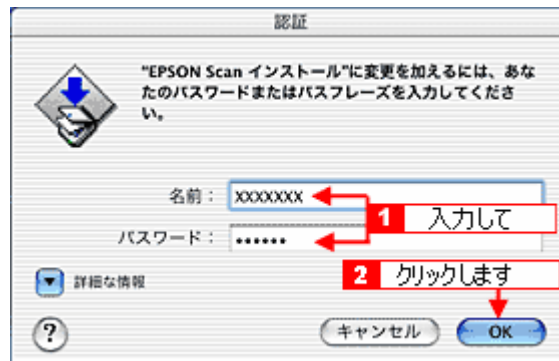
4. 画面を下の方にスクロールさせ、[削除するソフトウェア] のフォルダをダブルクリックします。ここでは EPSON Scan の削除方法について説明します。他のソフトウェアを削除する場合も同様に操作をしてください。



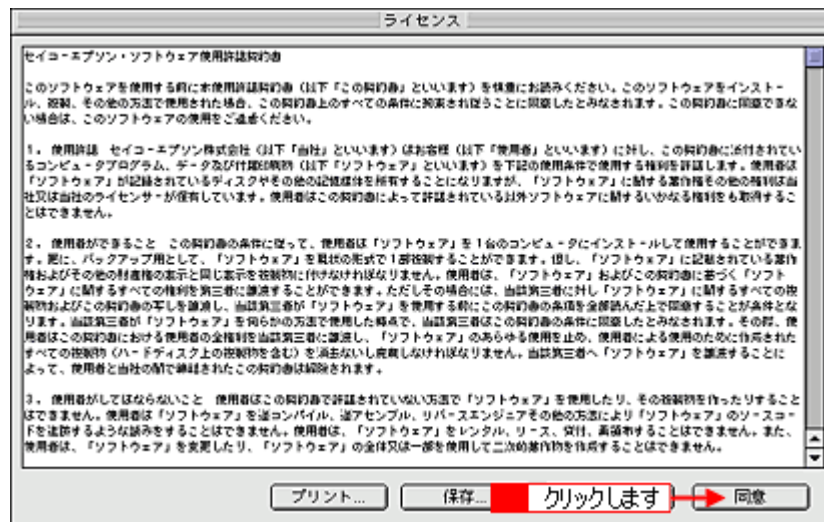
5. [EPSON Scan インストール] アイコンをダブルクリックします。



6. Mac OS X の場合は、以下の画面が表示されたら、Mac OS にログインしているユーザーの名前とパスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックします。Mac OS 8.6 ~ 9. x の場合は、手順 7 に進みます。

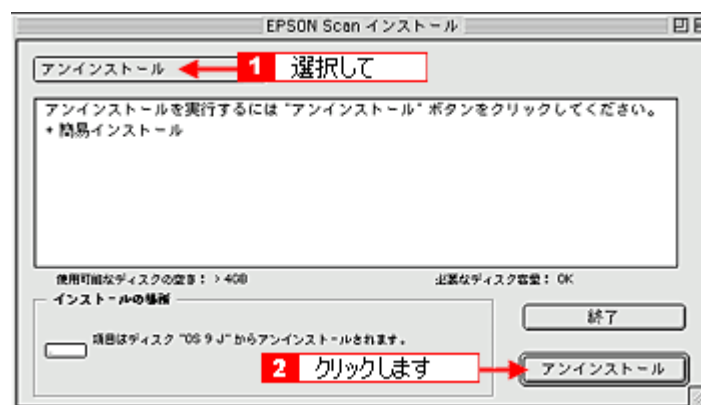


7. 使用許諾契約の内容を確認し、[同意] ボタンをクリックします。

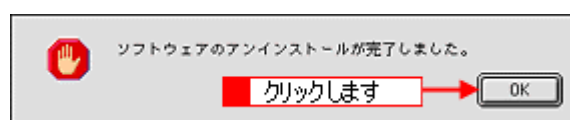


8. メニューから [アンインストール] を選択して、[アンインストール] ボタンをクリックします。

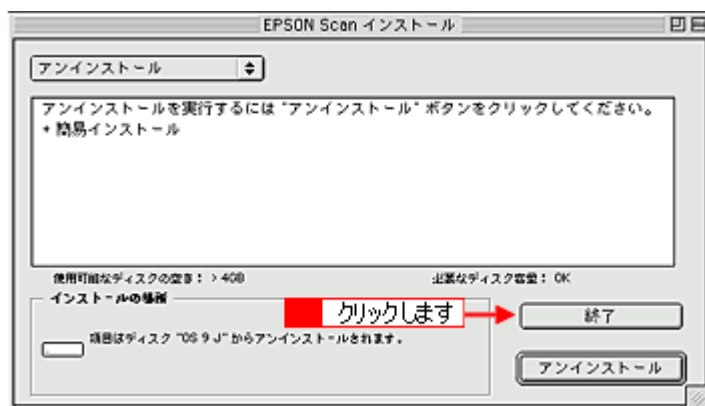
EPSON Scan の削除が実行されます。



9. [OK] ボタンをクリックします。



10. [終了] ボタンをクリックします。



以上で削除は終了です。Macintosh を再起動してください。

最新スキャナソフトウェアの入手方法

EPSON Scan などのスキャナソフトウェアをバージョンアップする際は、エプソンのホームページ、および CD-ROM による提供を行います。

入手方法

エプソンのホームページからダウンロードしてください。
【アドレス】 <http://www.i-love-epson.co.jp/guide/scanner/>

ダウンロード方法 / インストール方法は、ダウンロードするページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。

Love EPSON 検索 [MyEPSON] ID パスワード 新規登録 EPSON

製品情報 サポート ダウンロード イベント・キャンペーン ビジネスソリューション PRINTOWN PHOTO GARDEN

サポート Support

イメージスキャナ ナビゲーションサイト

Information 内容

- 実証型「オフィリオ」シリーズ 誕生！ **New!**
- ネットワークスキャニングボックス ESNSB1 のバージョンアップについて
- Microsoft® Windows® XP 対応について
- MacOS X 対応について

ナビゲーションメニュー

- ▼ **ドライバダウンロードページへ**
最新のドライバをダウンロードするならこちら！
- ▼ **SCSI接続について**
コネクタ形状やSCSIホストアダプタの一覧を掲載しております。
- ▼ **ネットワークスキャニングボックス(ESNSB1)**
サーバスキャン機能に対応したソフトウェア一覧は、こちらでご確認ください。
- ▼ **スマートパネル対応一覧**
EPSON SMART PANELでご利用いただけるソフトウェア一覧です。
- ▼ **よくある製品のお問い合わせ FAQ**
皆様から御質問にお寄せいただく質問とそれに対する回答集です。
- ▼ **消耗品オンラインショップ**
欲しエプソン純正消耗品を、今すぐここで注文できます！
- ▼ **Webブラウザ**
写真をカードに加工できる「GreetingCARD」、平フットボックスやブックカバーが作れる「01V」コーナーがあります。
- ▼ **EPSON 使用済みカートリッジ回収ホスト設置店一覧 **New!****
個別にエプソン純正消耗品を販売している店をご紹介します。
- ▼ **ショールームのご案内**
エプソン製品を目で見て触れて、確かめてください。
- ▼ **エプソン・デジタル・カレッジ(パソコンスクール)のご案内**
エプソン製品を使いこなすための、パソコンスクールです。
- ▼ **TWAIN全自動モードマルチフォースキャン対応アプリケーション一覧**
TWAIN5/GT-9700F/8200U/8200UF/7200UJ
TWAIN5/GT-8700シリーズ/GT-7700UJ, TWAINL/GT-6700LJ, Colorio Copy FB TWAIN
OC-600LJにおける全自動モードマルチフォースキャン機能搭載取り込みに対応したアプリケーション一覧です。

◎ HOME ◎ このページの先頭へ 2004年11月現在

メンテナンス

スキャナのメンテナンス

いつでも快適にお使いいただくために、以下の方法でお手入れをしてください。

本体の清掃

本体の外装ケースが汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よくしぼって汚れをふきとってから、乾いた布でふいてください。

注意

シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品はケースなどの表面を痛めることがありますので、絶対に使わないでください。

本体には絶対に水などがかからないように注意してください。

内部ガラスのクリーニング

スキャンした画像にスジが出た時、同梱のダストワイパーを使いクリーニングをしてください。

1. 本機の電源をオフにします。
2. ダストワイパーをホルダ挿入口から突き当たるまで押し込んだ後、引き抜きます。



ダストワイパー使用後はホコリを払い、濡らしたり汚したりしないように袋に入れて保管してください。

蛍光ランプが切れたときの対応方法

蛍光ランプが切れたときは、交換修理が必要です。お買い求めの販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『取扱説明書』（冊子）の裏表紙をご覧ください。

ホルダの清掃と保管

ホルダの透明部分は同梱のクリーニングクロスでホコリをふいてください。
汚れがひどいときは中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よくしぼり、汚れをふき取ってからクリーニングクロスでふいてください。

ホルダの保管の際は次の点に注意してください。


- 同梱の保管袋に入れ、高温になる場所をさけて平らな場所に保管してください。
- ホルダの上には物を置かないでください。ホルダが反ってしまう場合があります。極端に反ったホルダを使用すると故障の原因になります。
- 保管袋にはホルダ以外のものを入れないでください。

故障のとき

スキャナ本体には、お客様自身で修理、交換できる部品はありません。故障のときや調整が必要なときは、お買い求めの販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。お問い合わせ先は、『取扱説明書』（冊子）の裏表紙をご覧ください。

ポイント

故障かな？と思っても、「困ったときは」の内容を確認すれば、解決できることもあります。「困ったときは」の内容を確認してください。

 「スキャナが認識されない」 132

輸送するときは

本機を輸送するときは、衝撃などから守るために十分に注意して梱包してください。

1. **本機の電源をオフにします。**
2. **本機からケーブル類を取り外します。**
3. **梱包材を取り付け、本機を梱包します。**

専用の梱包箱と梱包材を使って、開梱したときと同じ状態で梱包してください。正しく梱包しないと、輸送中に振動や衝撃が加わって故障の原因になります。

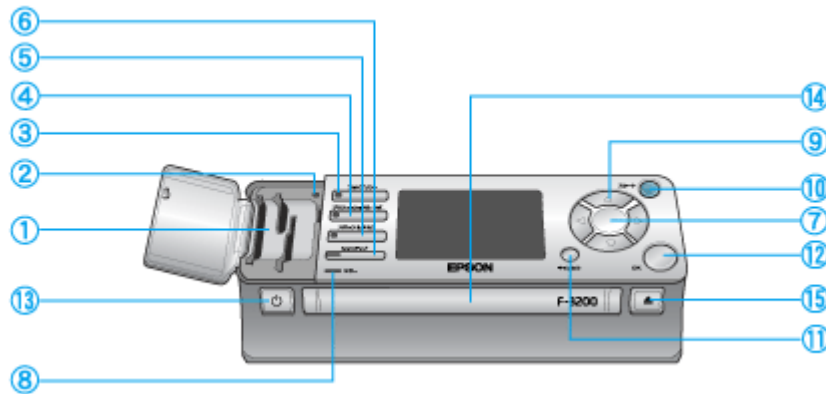
ポイント

本機の輸送時は、上下を逆にしないでください。

スキャナについて

各部の名称と働き

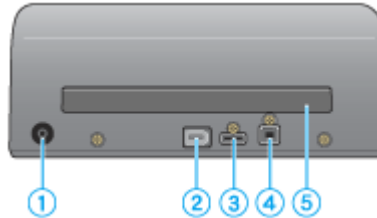
前面



番号	名称	説明
1	カードスロット	各種メモリカードを差し込みます。
2	アクセスランプ	メモリカードのセット時は点灯、本機にスキャンした画像をメモリカードに保存中は点滅します。
3	[フォトプリント] ボタン	画像を焼き増しするときに押します。このボタンを押すと最初に「原稿選択」画面が表示されます。 フォトプリント機能を使っている間は、このLEDが点灯します。
4	[プロフェッショナルラボ] ボタン	画像にトリミングまたはレタッチを行うときに押します。このボタンを押すと最初に「原稿選択」画面が表示されます。トリミング機能またはレタッチ機能を使っている間は、トリミング・レタッチランプが点灯します。
5	[スキャン&メモリ] ボタン	スキャンした画像を、メモリカードに保存するときに押します。スキャン&メモリ機能を使っている間は、このLEDが点灯します。
6	[セットアップ] ボタン	本機の液晶表示の調整、プリンタのメンテナンスおよびメモリカードの画像の削除をするときに押します。 このボタンを押すとセットアップ機能のメニューが液晶画面に表示されます。 [十字] で操作して、メニューを選択します。セットアップ機能を使っている間は、このLEDが点灯します。
7	通信ランプ	画像のスキャン作業中に点滅します。
8	エラーランプ	本機を操作中に異常が発生したときに点灯します。問題が解決し、本機が正常な状態に戻ったときは消灯します。
9	[十字] ボタン	メニューを選択するときに押します。
10	[スタート] ボタン	スキャンと印刷を開始するときに押します。
11	[キャンセル] ボタン	各機能で設定した内容をキャンセルするときに押します。
12	[OK] ボタン	次のときに押します。 ・印刷するために選択した画像を確定するとき ・各機能で設定した内容を保存するとき
13	[電源] スイッチ	電源のオン/オフ切り替えをするときに押します。
14	ホルダ挿入口	フィルムをセットした各種ホルダを差し込みます。

番号	名称	説明
15	[イジェクト] ボタン	ホルダを本機から取り出すときに押します。

背面



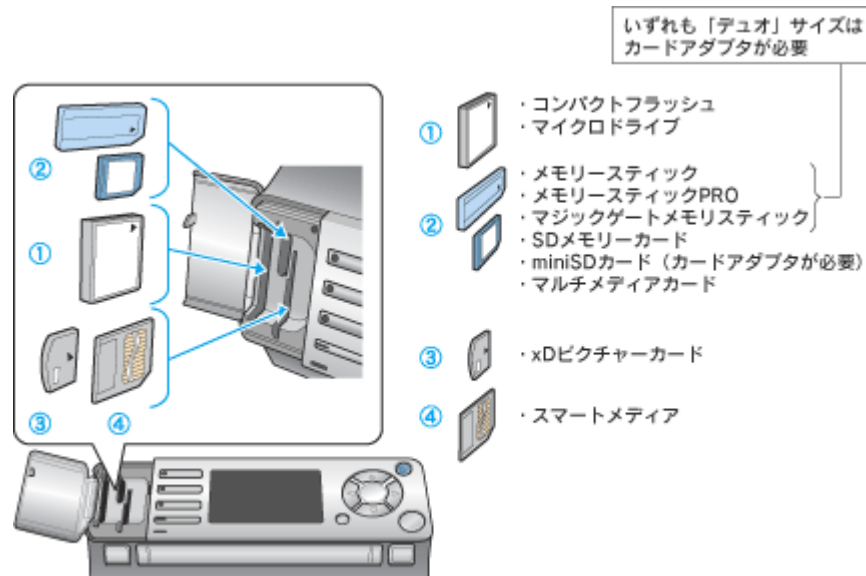
番号	名称	説明
1	AC アダプタ接続口	同梱の AC アダプタを接続します。
2	IEEE1394 コネクタ接続口	パソコンからの IEEE1394 ケーブルを接続します。
3	USB コネクタ接続口 (プリンタとの接続コネクタ)	プリンタからのケーブルを接続します。
4	USB コネクタ接続口 (パソコンとの接続コネクタ)	パソコンからの USB2.0 ケーブルを接続します。(使用されるパソコン環境が USB2.0 に対応していない場合は USB1.1 として機能します)
5	ホルダ出入口	スキャン中にホルダが入り出します。

メモ리카ードのセット方法

ここでは、メモ리카ードのセット方法をご説明します。

1. 本機の電源をオンにします。
2. カバーを開けて、メモ리카ードをセットします。

メモ리카ードによって、差し込むスロットが異なります。カードは表を右に向けて以下の図を参考に、奥までしっかりセットしてください。
セットが完了したら、カバーを閉めます。



注意


- ・本機の処理中（アクセスランプ点滅中）にメモ리카ードを取り外したり、電源をオフにしたりしないでください。保存されているデータが壊れるおそれがあります。
- ・メモ리카ードを本機にセットした状態で、本機の電源をオフにしたり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。メモ리카ード内のデータが壊れるおそれがあります。
☞「スキャナの電源をオフにする、ケーブルを抜く際のご注意」164
- ・メモ리카ードがセットされていないカードアダプタを、本機にセットしないでください。
- ・カードアダプタにセットされたメモ리카ードを本機から取り出す場合は、メモ리카ードのみを取り出さずに、カードアダプタと一緒に取り出してください。

ポイント

本機でセットできるメモ리카ードは、以下のとおりです。

- ・コンパクトフラッシュ（メモ리카ードのみ）
- ・マイクロドライブ
- ・スマートメディア
- ・メモリースティック
- ・マジックゲートメモリースティック（著作権保護機能は機能しません）
- ・メモリースティック PRO
- ・メモリースティックデュオ（必ずメモリースティックデュオアダプタ使用）
- ・メモリースティック PRO デュオ（必ずメモリースティックデュオアダプタ使用）

- マジックゲートメモリースティックデュオ（必ずメモリースティックデュオアダプタ使用、著作権保護機能は機能しません）
- SD メモリーカード
- miniSD カード（必ず SD アダプタを使用）
- マルチメディアカード
- xD ピクチャーカード

以上でメモリーカードのセットは終了です。
次は「写真データを読み込んで印刷する方法」162 へ

写真データを読み込んで印刷する方法

ここでは、メモ리카ード内の写真データを印刷する方法についてご説明します。

アプリケーションソフトを使って印刷

アプリケーションソフトを使用する場合は、メモ리카ード内の写真データをコンピュータのハードディスクにコピーしてから、アプリケーションソフトで開き、印刷してください。

1. メモ리카ード内の画像をコンピュータのハードディスクにコピーします。

本機のメモ리카ードスロットは、フロッピーディスクドライブと同じように、カードドライブとしてファイル（画像データなど）を読み込んだり、書き込んだり（保存したり）することができます。

☞☞ 「メモ리카ードのデータをコピーする方法」 165

☞☞ 「データをメモ리카ードに保存する方法」 166

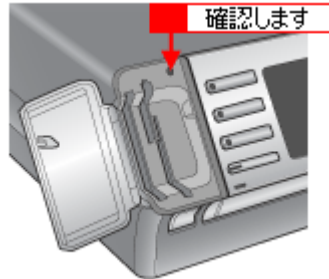
2. 使用するアプリケーションソフトを起動して、コピーした画像を開き印刷します。

この後の印刷方法については、お使いのアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

メモ리카ードの取り出し方法

ここでは、メモ리카ードの取り出し方法についてご説明します。

1. メモ리카ードスロット上のアクセスランプが点滅していないことを確認します。

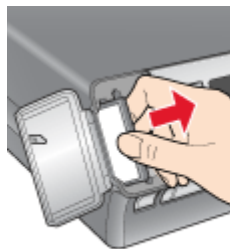


注意

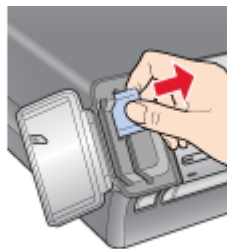
- 本機の処理中（アクセスランプ点滅中）にメモ리카ードを取り外したり、電源をオフにしたりしないでください。メモ리카ードに保存されている写真データが壊れるおそれがあります。
- メモ리카ードがセットされていないカードアダプタを、本機にセットしないでください。
- カードアダプタにセットされたメモ리카ードを本機から取り出す場合は、メモ리카ードのみを取り出さず、カードアダプタと一緒に取り出してください。

2. カバーを開けて、メモ리카ードを取り外します。

メモ리카ードを引き抜きます。
メモ리카ードは取り出し用グリップに指をかけ、そのまま引き抜きます。



コンパクトフラッシュ



メモリースティック



スマートメディア

上記以外のメモ리카ードも、同様に引き抜きます。

以上で、メモ리카ードの取り出しは終了です。

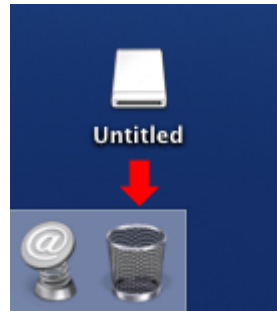
スキャナの電源をオフにする、ケーブルを抜く際のご注意

本機にメモリカードをセットした状態で、本機の電源をオフにする、またはケーブルを抜く場合は、以下の手順に従ってください。

注意

以下の手順に従わないと、メモリカード内のデータが壊れるおそれがあります。

デスクトップ上のメモリカードのアイコンをごみ箱に捨てます（ドラッグアンドドロップします）。



以上で安全に本機の電源をオフにする、またはケーブルを抜くことができます。

メモ리카ードのデータをコピーする方法

本機のメモ리카ードスロットは、フロッピーディスクドライブと同じように、カードドライブとしてファイル（画像データなど）を取り込んだり（コピーしたり）、書き込んだり（保存したり）することができます。

ここでは、メモ리카ードからコンピュータのハードディスクにデータをコピーする方法についてご説明します。

コピー方法

1. 本機の電源がオンになっていること、メモ리카ードがセットされていること、本機とコンピュータがUSBケーブルで接続されていることを確認します。
2. デスクトップ上のメモ리카ードのアイコンをダブルクリックして、写真データが保存されているフォルダを開きます。

ドライブ名は、ボリュームラベルが設定されている場合は、そのボリュームラベルが表示され、設定されていない場合、「NO_NAME」または「名称未設定」と表示されます。

ポイント

USBケーブルが接続されていない、メモ리카ードが確実にセットされていないとメモ리카ードのアイコンは表示されません。

3. 取り込む画像を選択して、コンピュータ上のお好きなフォルダにコピーします。

ポイント

上記のコピー方法は、いくつかある方法の中の1つです。そのほかのコピー方法については、お使いのコンピュータの取扱説明書などをご覧ください。

以上で、画像のコピーは終了です。

データをメモ리카ードに保存する方法

本機のメモ리카ードスロットは、フロッピーディスクドライブと同じように、カードドライブとしてファイル（画像データなど）を取り込んだり（コピーしたり）、書き込んだり（保存したり）することができます。ここでは、コンピュータからメモ리카ードにデータを保存する方法についてご説明します。

保存時のご注意

- Windows 98/Me の場合は、EPSON USB メモ리카ードドライブ用ドライバ2 をインストールしていないと、カードドライブとしてコンピュータから使用することはできません。なお、EPSON USB メモ리카ードドライブ用ドライバ2 は、スキャナドライバと同時にインストールされています。
- 書き込み禁止（ライトプロテクト）スイッチや誤消去防止シールが付いているメモ리카ードをご使用の場合は、それらのスイッチやシールを書き込み可能状態にしてからセットしてください。
- メモ리카ードから直接印刷をしているときは、メモ리카ードへの書き込みはできません。
- コンピュータからメモ리카ードに画像データ（ファイル）を保存した場合は、本機操作パネルの枚数欄の表示は更新されません。更新するためには、メモ리카ードをセットし直してください。

保存方法

1. 本機の電源がオンになっていること、メモ리카ードがセットされていること、本機とコンピュータが USB ケーブルで接続されていることを確認します。
2. デスクトップ上のメモリーカードのアイコンをダブルクリックします。

ドライブ名は、ボリュームラベルが設定されている場合はそのボリュームラベルが表示され、設定されていない場合、「NO_NAME」または「名称未設定」と表示されます。

ポイント

USB ケーブルが接続されていない、メモ리카ードが確実にセットされていないと、メモリーカードのアイコンは表示されません。

3. データを保存します。

以上で、データの保存は終了です。

マメ知識

ディスプレイについて

ディスプレイ上で表示される画像などを、いくつの色数を使って表現するか設定することができます。ディスプレイ、印刷結果ともに、よりきれいに表現するためには [16bit]、[24bit] などの値に設定する必要があります。ここでは、表示色の設定方法とディスプレイの調整方法について説明します。

ディスプレイの表示色の設定

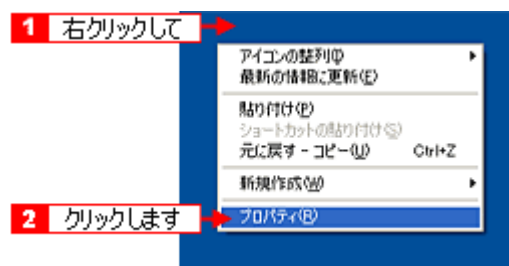
ポイント

設定できる値や各項目名は、ディスプレイを使用するためのドライバなどの性能によって異なります。詳しくは、お問い合わせいただいたディスプレイのメーカーへお問い合わせください。

1. 表示色の設定をする画面を開きます。

Mac OS 8.6 ~ 9.x の場合は、画面左上のアップルメニューをクリックしてから、[コントロールパネル] - [モニタ] の順にクリックします。

Mac OS X の場合は、アップルメニューをクリックしてから、[システム環境設定] - [ディスプレイ] をクリックします。



ポイント

すべてのアプリケーションソフトを終了させてから設定することをお勧めします。

2. 表示色を設定します。

カラーの一覧から、[色 32000 色] または [約 1670 万色] をクリックして選択します。



3. [OK] ボタンをクリックして画面を閉じます。

Mac OS X の場合は [OK] ボタンはありませんので、画面を閉じてください。以上で、設定は終了です。

ディスプレイの調整方法

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。

このように偏った表示をしている状態では、スキャンした画像や Photo CD などの画像を、適切な明るさや色あいで表示することはできません。また、印刷結果も予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。

ポイント

- ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）を本格的に行うためには、非常に手間がかかり、測定機器なども必要になります。ここでは簡易的な調整手順を紹介します。ディスプレイの調整方法については、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。
- これらの調整を行うと、一部の明るさや色あいは、原稿または印刷結果に近づけることができますが、すべてを近づけることはできません。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

1. ディスプレイの電源をオンにして 30 分以上放置し、ディスプレイの表示を安定させます。

室内の照明環境を一定にします。自然光は避けて、一定の照明条件になるようにフードを装着すると良いでしょう。

2. ディスプレイのカラーバランス（色温度）を調整できる場合は、6500K に調整します。

3. ディスプレイのブライトネス調整を行います。

4. ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、スキャンした画像の色が原稿または本機の印刷結果に近くなるように調整を行います。

5. 調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。

これらの調整を行うと、一部の明るさや色あいは、原稿または印刷結果に近づけることができますが、合わない部分もあります。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

ポイント

書籍のご案内

「カラーマネージメント！」

カラーマネージメントシステムの使いこなしテクニックが徹底解説されています。モニタキャリブレーションについても詳しく解説されています。

ISBN4-87280-336-1 発行所：株式会社 IDG コミュニケーションズ（1998 年初版発行）

解像度について

より美しい画像を印刷するためには、プリンタの性能に見合った適度な解像度の画像データを用意する必要があります。ここでは、画像データと印刷解像度について説明します。

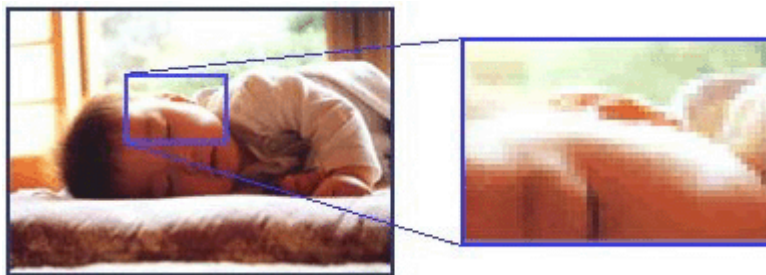
解像度とは

スキャンされた画像は、基本的にすべて点（ドット）の集まりで構成されています。

そのため、この点が多ければ多いほどきめこまかい表現が可能になり、解像度が高いこととなります。この解像度を示す単位として通常用いられるのが「dpi」[25.4mm あたりのドット数 (Dot Per Inch)] という単位で、これは、25.4mm (1 インチ) 当たりにどれだけ点が含まれているかを示しています。

解像度が高い画像は、解像度が低い画像に比べて、より多くの点の集まりで構成されているため、きめの細かい、美しい画像となります。

ただし、解像度が高い画像は、解像度の低い画像に比べて、データの容量が大きくなります。



画像データの解像度と印刷解像度の関係

印刷の設定をいくら高解像度に設定して印刷しても、スキャンされた画像データの解像度が低ければ思うような印刷結果は得られません。印刷解像度（印刷モード）に応じた画像データが必要です。

基本的には、画像データの解像度を上げれば印刷画質も必然的に向上するわけですが、解像度を上げすぎても、印刷速度が遅くなるだけで大きな画質向上効果は望めません。

☞「解像度を上げるときれいになる？」 54

プリンタ出力解像度に合わせた、適度な解像度のデータを作成してください。



ポイント

EPSON インクジェットプリンタの各印刷モード（解像度）で理想的な印刷結果を出力するためには、下表の解像度の画像データをご用意ください。（カラー印刷の場合）

最適な印刷結果が得られる解像度の範囲です。

- ・印刷解像度の整数分の一倍（例えばプリンタの 1440dpi の 6 分の 1 である 240dpi など）を指定すると、ジャギー（線のギザギザ）が目立たなくなります。
- ・モノクロ印刷を行う場合は、印刷解像度と同じ解像度の画像データをご用意ください。

印刷モード(品質)	画像データの解像度の目安			
	100dpi	200dpi	300dpi	400dpi
ファイン印刷	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●
スーパーファイン印刷	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●
フォト印刷	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●
スーパーフォト印刷	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●

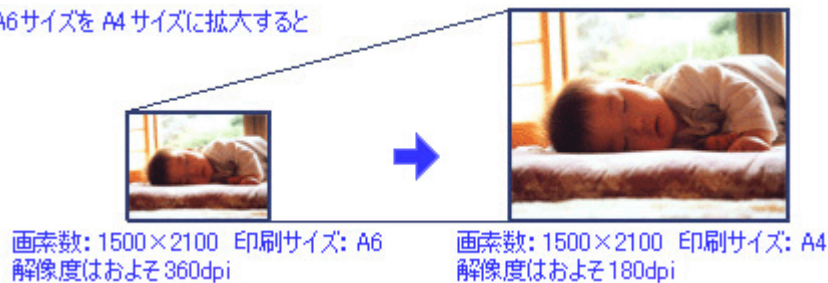
印刷サイズと解像度の関係

1つの画像データに含まれる点(ドット)の総数を画素数(ピクセル数)と呼びます。画素数は、アプリケーションソフトなどで調整しない限り拡大/縮小してもその数は変わりません。

つまり、300dpiの画像データは、そのままのサイズで印刷すれば十分な品質の印刷結果を期待することができますが、拡大印刷すると、画像を構成する点(ドット)も大きくなることで解像度が低下し、好ましい画像品質は得られません。

逆に、画素数の多い画像データを小さなサイズに印刷すれば、解像度は上がりますが、印刷時間がかかるだけで見た目には画像品質の向上は認識できません。

A6サイズをA4サイズに拡大すると



下表は、スキャナによる画像スキャンで生成される画像データの基本的な画素数および画像データ容量(ファイルサイズ)と印刷サイズごとの画像品質の関係を示しています。「※」の場合は、画像データの解像度をアプリケーションソフトなどで調整する必要があります。

<反射原稿の場合>

スキャン解像度	原稿サイズ	画素数(ピクセル) (24bitカラーの場合)		画像データ容量 MB	印刷サイズ				
		短辺	長辺		L判	ハガキ	2L判	A4	A3
300	L判	1051	1500	4.5	◎	◎	○	×	×
300	ハガキ	1181	1748	5.9	◎	◎	○	×	×
600	L判	2102	3000	18.0	※	※	※	◎	○
600	ハガキ	2362	3496	23.6	※	※	※	◎	○
1200	L判	4205	6000	72.2	※	※	※	※	※
1200	ハガキ	4724	6992	94.5	※	※	※	※	※

<フィルムの場合>

スキャン解像度	原稿サイズ	画素数(ピクセル) (24bitカラーの場合)		画像データ容量 MB	印刷サイズ				
		短辺	長辺		L判	ハガキ	2L判	A4	A3
300	35mmフィルム	283	425	0.3	×	×	×	×	×
300	ブローニ(6×4.5)フィルム	490	661	0.9	×	×	×	×	×
300	ブローニ(6×7)フィルム	661	815	1.5	○	×	×	×	×

スキャン 解像度	原稿サイズ	画素数 (ピクセル) (24bit カラーの場合)		画像データ容量 MB	印刷サイズ				
		短辺	長辺		L判	ハガキ	2L判	A4	A3
300	4 × 5 インチフィルム	1134	1429	4.6	◎	○	○	×	×
600	35 mm フィルム	567	850	1.4	○	×	×	×	×
600	ブローニ (6 × 4.5) フィルム	980	1323	3.7	◎	○	○	×	×
600	ブローニ (6 × 7) フィルム	1323	1630	6.2	◎	◎	○	×	×
600	4 × 5 インチフィルム	2268	2858	18.5	※	※	※	○	○
1200	35 mm フィルム	1134	1701	5.5	◎	◎	○	×	×
1200	ブローニ (6 × 4.5) フィルム	1961	2646	14.8	※	※	※	○	○
1200	ブローニ (6 × 7) フィルム	2646	3260	24.7	※	※	※	◎	○
1200	4 × 5 インチフィルム	4535	5717	74.2	※	※	※	※	◎
1600	35 mm フィルム	1512	2268	9.8	※	※	◎	○	×
1600	ブローニ (6 × 4.5) フィルム	2614	3528	26.4	※	※	※	◎	○
1600	ブローニ (6 × 7) フィルム	3528	4346	43.9	※	※	※	※	◎
1600	4 × 5 インチフィルム	6047	7622	131.9	※	※	※	※	※
2400	35 mm フィルム	2268	3402	22.1	※	※	※	◎	○
2400	ブローニ (6 × 4.5) フィルム	3921	5291	59.4	※	※	※	※	◎
2400	ブローニ (6 × 7) フィルム	5291	6520	98.7	※	※	※	※	※
2400	4 × 5 インチフィルム	9071	11433	296.7	※	※	※	※	※

※オーバースペック：用紙サイズに対して画素数が多すぎます。印刷に時間がかかるだけで、印刷品質の向上は望めません。

◎推奨：用紙サイズに対し理想的な画素数です。高品質な印刷結果を出力できます。

○許容：用紙サイズに対し多少画素数が少なめですが、十分な品質の印刷物を出力できます。

(注：×：出力解像度 150dpi 未満、○：150～250 dpi、◎：250～360 dpi、※：360dpi 以上で判定してあります)

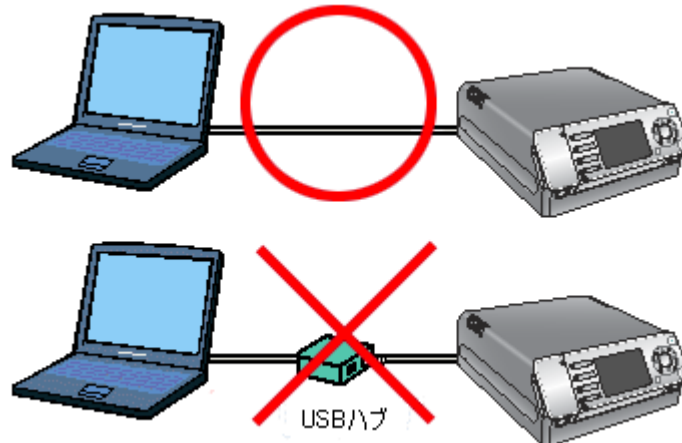
ポイント

上表の「解像度」とは、EPSON Scan において出力サイズを等倍にしたときの解像度設定値です。

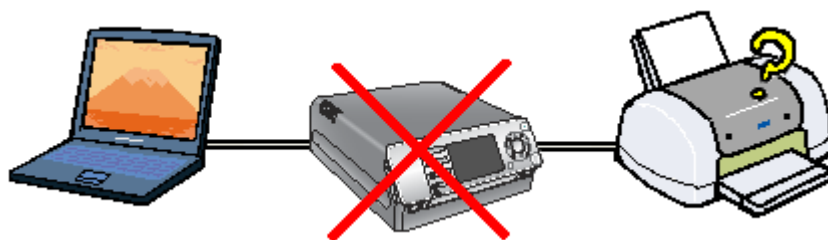
USB について

複数の USB 機器を接続する方へ

- 本機は「USB ハブ」には対応していません。1 台のコンピュータに、本機のほかにも USB 機器を接続して使用する場合、本機と USB 機器は直接接続してください。



- 本機を中継してパソコンのデータを印刷することはできません。



USB ケーブルについて

本機との接続には、同梱の USB ケーブルをお使いください。

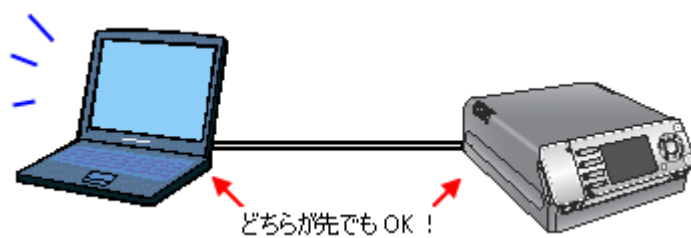
タイプ A コネクタ (コンピュータ側)	タイプ B コネクタ (USB 機器側)

ポイント

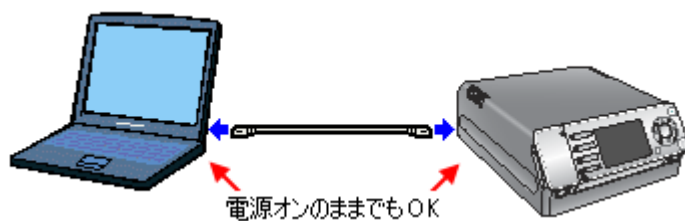
USB ケーブルは、コンピュータ側 (上位) と USB 機器側 (下位) に接続するコネクタの形状が異なります。

USB の基礎知識

- 電源をオン/オフする順序は、USB 機器が先でも、コンピュータが先でも構いません。



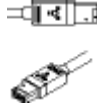
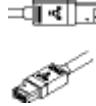

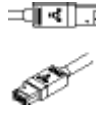
- USB 接続では、コンピュータや USB 機器の電源がオンの状態のまま、USB 機器を接続したり、外すことができます。



IEEE1394 について

IEEE1394 ケーブル

お使いのコンピュータの IEEE1394 コネクタ (Macintosh の場合は、FireWire コネクタ) 形状に合ったケーブルが必要です。

コンピュータ側	スキャナ側	説明
6 ピン 	6 ピン 	別売りオプション (型番: FWCB2) をご使用ください。
4 ピン 	6 ピン 	動作確認済みケーブルについては、エプソンホームページをご覧ください。

ポイント

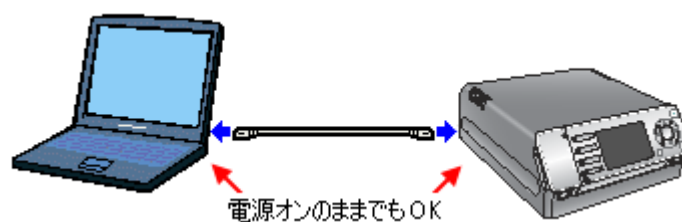
お使いのコンピュータの IEEE1394 コネクタ (Macintosh の場合は、FireWire コネクタ) 形状については、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

IEEE1394 の基礎知識

- 電源をオン/オフする順序は、IEEE1394 機器が先でも、コンピュータが先でも構いません。



- IEEE1394 接続では、コンピュータや IEEE1394 機器の電源がオンの状態のまま、IEEE1394 機器を接続したり、外したりすることができます。



- 本機が電源オンの状態および、プレビューまたは画像のスキャン中は、他の IEEE1394 機器に対して以下の操作をしないでください。
 - 電源のオン/オフ
 - ケーブルの抜き差し
 - 他の IEEE1394 機器の追加（接続）

ポイント

- 本機が電源オンの状態では、スキャナとして認識されなくなる場合があります。この場合は次のように対処してください。
 - 1 EPSON Scan および TWAIN 対応アプリケーションを終了します。
 - 2 本機の電源を再度オンにするか、コンピュータから IEEE1394 ケーブルをいったん外し、接続し直してください。
 - 3 それでも本機が認識されない場合は、コンピュータを再起動してください。
- 本機がプレビューまたは画像のスキャン中の場合は、システムが応答しなくなる場合があります。この場合は、コンピュータをリセットしてください。
- 複数の IEEE1394 機器を接続する場合、各機器間のケーブル長は 4.5m まで、端から端までの最大接続機器数は 16 台までです。
- 本機とパソコンを IEEE1394 ケーブルで接続した場合、パソコンから本機のメモリカードへのアクセスはできません。

色について

普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される“色”にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、「色」について説明しています。

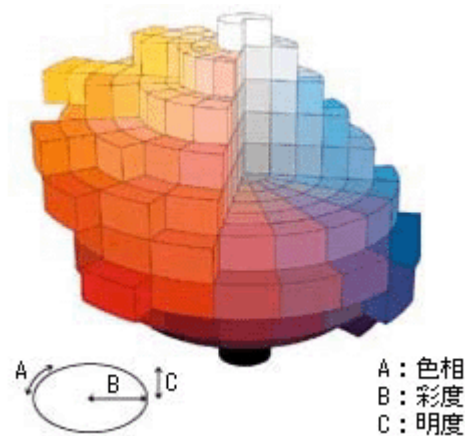
色の要素

一般に「色」というと赤や青などの色相（色あい）を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相のほかに彩度、明度という要素があります。

彩度はあざやかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合をいいます。例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。

明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。

下の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。

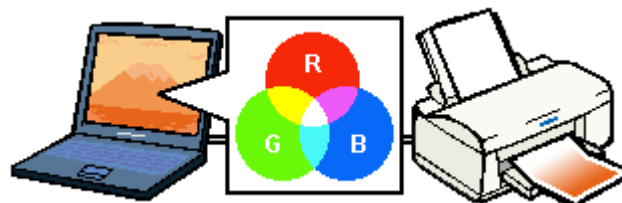


ディスプレイの発色プロセス<加法混色>

色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、赤（R）、緑（G）、青（B）の3色の光が見えます。

これは「光の三原色」と呼ばれるもので、光はこれら3色の組み合わせでさまざまな色を表現します。

この方法は、どの色も光っていない状態（全てが0：黒）を起点に、全ての色が光っている状態（全てが100：白）まで色を加えることで表現するため、CRT ディスプレイで表現される色は、加法混色（加色法）と呼ばれます。



プリンタ出力の発色プロセス<減法混色>

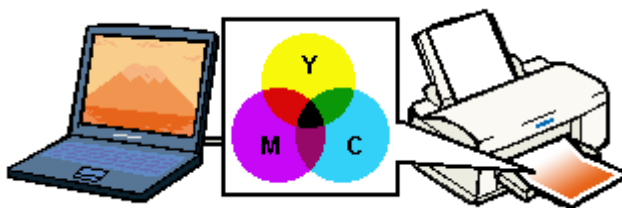
加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります。(正確には、当たった光のうち一部の色を吸収(減色)し、残りの色を反射することで色を表現します。)

例えば「赤いインク」の場合、次のようになります。
一般的に見られる「光」の中には、さまざまな色の成分が含まれています。

この光が赤いインクに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体(インク)が赤く見えるのです。

このような方法を減法混色(減色法)と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色の RGB ではなく、混ぜると黒(光を全く反射しない色)になるシアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)の3色です。この3色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。

理論的には CMY の3色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒(BK)インクを使用し、CMYBKの4色で印刷します。



出力装置による発色の違い<ディスプレイとプリンタ出力>

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、CRT ディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。

この RGB → CMY 変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの調整状態によっても変化するため、完全に一致させることはできません。

このように発色方法の違いにより、ディスプレイ上と実際の印刷出力の色あいには差異が生じます。しかし、これらの差異をできる限り合わせこむことが可能です。

ポイント

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画(CMY) → ディスプレイ(RGB) → 印刷(CMY)の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。そのため市販のユーティリティソフトウェアの中には、次の機能を持たせて対応しています。

- スキャナ、ディスプレイ、プリンタなどの個々の機器の性能を安定させる機能(キャリブレーション機能)
- スキャナ、ディスプレイ、プリンタなどの機器間の色再現を近づけるための特性ファイル(プロファイル)を作成する機能

これらの機能で作成したプロファイルを各機器のドライバや Adobe Photoshop などのカラーマネジメント対応アプリケーションで運用して、カラーマッチングさせる事を可能にしています。

カラーマネージメントシステムについて

カラーマネージメントシステムとは

スキャナ・ディスプレイ・プリンタは色の表現方法が異なり（光の三原色－RGB と色の三原色－CMY）、またメーカー・モデルによる違いがあるため、原画・ディスプレイ表示・印刷物の色を一致（カラーマッチング）させるには測定機器や専門知識などが必要です。

測定機器や専門知識などがなくても、機器間の色合わせを行い、原画・ディスプレイ表示・印刷物の色を近づけるためのシステムの 1 つに、ICM（Windows）または ColorSync（Macintosh）というカラーマネージメントシステムがあります。

Windows 用 EPSON Scan は ICM2.0（sRGB）に対応しています。Macintosh 用 EPSON Scan は、ColorSync2.0 以降に対応しています。

ただし、お使いのディスプレイ（印刷する場合はプリンタ）が ICM または ColorSync 以降に対応していなければ、ICM または ColorSync 以降の機能は利用できません。

ICM / ColorSync を使用したスキャンから印刷までの手順

1. モニタを調整します。詳しくは、以下の項目を参照してください。

 「ディスプレイについて」 167

モニタが正しく調整されていなければ、ICM/ColorSync を使用しても、またどのようなアプリケーションを使用しても、モニタ表示の色を原稿や印刷物に近づけることはできません。

2. モニタ用のカラープロファイルをシステムに追加します。手順は次の通りです。

ColorSync 3.0 の場合を例に説明します。ほかのバージョンをお使いの方は、Mac OS ヘルプをご覧ください。

- (1) コントロールパネルの [ColorSync] アイコンをダブルクリックします。
- (2) [プロファイル] 画面の [ディスプレイ] リストに、モニタ用のプロファイルが表示されます。これを変更するには、モニタコントロールパネルを開いて [カラー] ボタンをクリックし、リストからプロファイルを選択してください。そのほかの項目は、設定する必要はありません。

ポイント

- Adobe ガンマユーティリティなどを用いて独自のモニタプロファイルを作成している場合は、そのプロファイルを選択しておくとういでしょう。
- モニタ用のカラープロファイルは、モニタのメーカーから提供されるものです。そのため、以下の内容についてはモニタのメーカーにお問い合わせください。
- お使いのモニタ用のカラープロファイルが提供されているかどうか（提供されていない場合、モニタ表示の色を原稿や印刷物に近づけることはできません）
- 提供されていれば、そのプロファイル名

3. アプリケーションで、ICM/ColorSync をオンにします。

4. EPSON Scan の [環境設定] で [ICM/ColorSync] を選択し、ソースプロファイルとターゲットプロファイルを設定します。

5. 画像をスキャンします。

6. ICM/ColorSync を使用してスキャンした画像を印刷する時は、プリンタドライバで ICM/ColorSync を選択（オン）します。詳しくは、プリンタドライバの取扱説明書をご覧ください。

この時、アプリケーションのカラーマネージメント機能はオフにしておいてください（プリンタカラー管理をオンにしてください）。

付録

基本仕様

本機の技術的な仕様について記載します。

ハードウェア基本仕様

機種名	F-3200
外形寸法	幅 210mm × 奥行 250mm × 高さ 94mm
重量	約 2.8kg
走査方式	原稿ホルダ移動式
画像読み取りセンサ	6 ラインカラー CCD マイクロレンズ搭載
原稿サイズ	反射原稿 (4 × 6 インチ)、35mm フィルム (ストリップ 12 コマ、スライド 8 コマ)、ブローニ (最大 6 × 18cm)、4 × 5 インチフィルム (1 コマ)
最大有効領域	反射 : 102mm × 153mm 透過 : 105mm × 230mm
最大有効画素	反射原稿 : 主走査 12,848 画素 × 副走査 19,280 画素 透過原稿 : 主走査 13,232 画素 × 副走査 28,976 画素
センサ解像度	主走査 : 3200dpi 副走査 : 6400dpi
読取解像度	50 ~ 6400dpi (1dpi 刻みで設定可能)
階調	各色 16bit (入力) / 16bit (出力)
色分解方式	CCD 上のカラーフィルタによる分解 (R・G・B)
インターフェイス	USB2.0 (PC 接続用)、USB1.1 (プリンタ接続用)、IEEE1394 (PC 接続用)
光源	水銀蛍光管 3 本

* ハードウェア側の仕様です。

電気的特性

電源電圧	定格 AC100V - 120V (AC100V ± 10%)
電源周波数	50 - 60Hz (50 ~ 60Hz)
消費電力	動作時 : 26.4W 低電力モード時 : 9.5W 待機時 : 12.5W

適合規格

電磁波障害	VCCI クラス B
電源高調波	高調波抑制対策ガイドライン適合
省エネ	国際エネルギースタープログラムに適合

環境条件

温度	動作時：5～35度 保存時：-25～60度
湿度	動作時：10～80%（非結露） 保存時：10～85%（非結露）

使用条件

塵埃	一般事務所、一般家庭程度 異常にほこりの多いところは避けること
照度	直射日光、光源の近くは避けること

原稿条件

反射原稿	写真、印刷物など、表面が滑らかなもの 原稿表面に段差がある場合（台紙に写真を貼ったときなど）、読み取った画像の段差部分に色が付くことがあります 原稿が薄い場合、裏側の画像も裏写りしてスキャンされることがあります
透過原稿（フィルム）	ネガ、ポジの各フィルムを専用の原稿ホルダを使用してスキャンする

ユーザーズガイドの削除方法

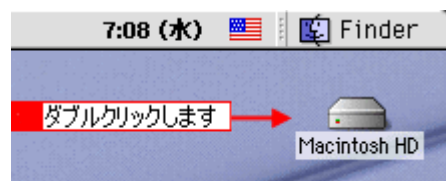
ここでは、ユーザーズガイドを削除する手順をご説明します。

ポイント

ユーザーズガイドは、コンピュータにインストールされていなくても、添付のソフトウェア CD-ROM からも見ることができます。

Mac OS X では、複数のユーザーが同時に 1 台のコンピュータを使用することができます（マルチユーザーログイン）。ソフトウェアをアンインストールするときは、一人（コンピュータの管理者）だけがログインした状態で行ってください。

1. **【ハードディスク】のアイコンをダブルクリックします。**



ポイント

ハードディスクの名前を変更している場合、アイコンの名前が【Macintosh HD】ではない場合があります。また、インストール時に特定のインストール先を指定した場合は、インストール先のフォルダ（ドライブ）をダブルクリックして開いてください。

2. **【EPSON F-3200 ユーザーズガイド】フォルダをゴミ箱に捨てます（ドラッグアンドドロップします）。デスクトップにエイリアスがある場合には、同じようにゴミ箱に捨てます。**



以上で削除は終了です。

通信販売のご案内

EPSON 製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ	http://www.epson-supply.co.jp
お電話で	電話番号	0120-251-528（フリーダイヤル）
	受け付け時間	月～金曜日 AM9:00～PM6:15 土曜日 AM9:00～PM5:00 （祝祭日・弊社指定休日を除く）

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日発送	営業日 PM4:30 までのご注文受付分は、即日発送手配いたします（在庫分のみ）。	
お届け予定日	本州・四国	翌日
	北海道・九州	翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払ください。	
クレジットカード	取り扱いカード	UC、JCB、VISA、Master、NICOS
コンビニエンスストア振込み（前払い）	ご注文承り後、注文明細入り見積書と請求書、振込用紙をお送りいたします。請求書到着後、2週間以内にお振り込みください。ご入金確認後、商品を発送させていただきます。利用可能なコンビニエンスストアなどの詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。	
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前の審査と、ご登録が必要になります。下記にご連絡ください。	
	電話番号	0120-251-528（フリーダイヤル）

送料

お買い上げ金額の合計が 4,500 円以上（消費税別）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。4,500 円未満（消費税別）の場合は、全国一律 500 円（消費税別）です。

消耗品カタログの送付

プリンタの消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの発送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。

用語集

ここでは、スキャナ関連の用語を説明します。

英数字

API (エーピーアイ)

Application Program Interface の略で、アプリケーションソフトとコンピュータ (OS) の仲立ちをするもの。汎用性のある API を定めることによって、周辺装置のインターフェイスが容易に使えるようになる。TWAIN とは、スキャナを制御するための API の規格。

bit (ビット)

binary digit (2進法) の略。コンピュータが扱うデータの最小単位で、0 か 1 で表す。8bit で 0 ~ 255、16bit で 0 ~ 65,535 の数値 (デジタルデータ) を表すことができる。本スキャナおよび EPSON Scan は各色 16bit での出力が可能なので、赤 (R) ・ 緑 (G) ・ 青 (B) それぞれ 65,536 階調、トータルで約 281 兆 5 千億色の表現力がある。

I/O (アイオー) ポートアドレス

コンピュータと周辺装置との間で情報をやりとりするために複数の出入り口があるが、それを区別するためにつける番号のこと。キーボード、マウスなどにはあらかじめ番号が割り当てられているが、双方向パラレルなどのボードを新たに接続する場合は、これらと重複しないように番号を設定する必要がある。ハードウェア間で I/O ポートアドレスが重複すると、正常な動作ができなくなる。

PDA (ピーディーエー)

Personal Digital Assistant の略。携帯端末装置の意。

PDF (ピーディーエフ)

Portable Document Format の略。電子形式書類の一種で、Acrobat Reader という無料ソフトによって閲覧できる。

PRINT Image Matching (プリントイメージマッチング)

PRINT Image Matching は、この機能を搭載したスキャナで読み込んだ画像、または、この機能を搭載したデジタルカメラで撮影した写真を、対応プリンタから簡単に・きれいに印刷するためのシステム。

PRINT Image Matching 対応のスキャナで画像を読み込んで JPEG ファイルまたは TIFF ファイルで保存したり、あるいは PRINT Image Matching 機能対応のデジタルカメラで撮影すると、プリント指示のためのコマンド (命令) が画像データに付加される。

readme (リードミー) ファイル

ソフトウェアが納められている CD - ROM などに保存されている文書ファイルで、使用上の制限など、読んでほしい内容が書かれている。

TWAIN (トウェイン)

スキャナを制御するソフトウェアのための、アプリケーションインターフェイス (API) の規格。スキャンのソフトウェア自体も TWAIN と呼ばれる。

EPSON Scanは、このTWAIN規格に対応しているので、各種TWAIN対応ソフトから画像を直接スキャンすることができる。

USB (ユーエスピー)

Universal Serial Bus の略で、中速、低速向けのシリアルインターフェイスの規格の1つ。

コンピュータやプリンタなどの接続機器の電源が入ったまま、ケーブルの抜き差しができる。また、「USB ハブ」という機器を使用することで、規格上、同時に 127 台までの USB 対応機器を接続することができる。

USB2.0 の特徴はデータ転送速度の理論値が最大 480Mbps と、USB1.x の 12Mbps より 40 倍高速なことである。

また、今までの USB1.x と互換性があり、ケーブルやコネクタは同じものが使用可能である。

120/220

中型カメラに使われる、幅 60mm のロール・フィルム。一般的なフィルムは 35mm。

120/220 フィルムは、中判またはブローニ判 (brownie) とも言う。

アイウエオ

アンシャープマスクフィルタ (Unsharp Mask Filter)

画像にかける輪郭強調のフィルタ。通常画像を縮小すると、周りの画素の情報をスキャンして縮小化されるために、画像が相対的にぼけて見える傾向がある。それを修正するために、画像に対して輪郭強調をかける処理。

印刷線数 (Screen Ruling)

スクリーン線数とも言う。画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換する（網点は中心部ほど高濃度になっており、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出される）。

網点が約 25.4mm {1 インチ} の幅に何列あるかを線数といい、単位は lpi (line per inch) で表す。線数が多いほど、画像を精細に印刷できる。

一般に、高画質なハーフトーン画像を出力するには、画像解像度を、出力に使用するスクリーン線数の 2 倍にすると良い。

解像度 (resolution)

解像度には、[印刷解像度] と [画像解像度] と [表示解像度] などがある。

印刷解像度：

例えばカラーインクジェットプリンタでは、用紙にインクの粒を吹きつけて印刷（画像を表現）する。このインクの粒が約 25.4mm {1 インチ} 幅にいくつあるかを [印刷解像度] といい、単位は dpi (dot per inch) で表す。インクの粒が多いほど、画像はより精細になるが、印刷に時間がかかる。

画像解像度： →画像をスキャンするときに、EPSON Scan で設定する解像度

画像データ自体を構成する画素（点）が約 25.4mm {1 インチ} 幅にいくつあるかを表すもので、単位は印刷解像度と同じく、dpi (dot per inch) で表す。画素数が多いほど画像はより精細になるが、データ量が多くなるため画像のスキャン / 保存 / 読み込みなどに時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。

スキャンする画像の解像度は 50 ~ 12800dpi まで設定可能だが、画像をプリンタで印刷する場合、画像解像度を必要以上に高く設定しても印刷品質は向上しない。

表示解像度：

画像をコンピュータのディスプレイに表示したときに、どのくらいの大きさで表示されるかを表したもので、単位はピクセル（またはドット）。ディスプレイ自体の表示能力を表すときも表示解像度を用いる。

階調 (gradation)

自然界の光は明から暗まで無段階にあるが、そのままではコンピュータで処理できないので、明暗を有限な段階に区切ってデータ処理する。その各段階の濃度を階調という。

区切りの数を階調数と言う。フルカラーでは、赤 (R)・緑 (G)・青 (B) それぞれ 256 階調 (8bit)、トータル 16,777,216 色 (24bit) になる。階調の数値が高いほど画像は精細になるが、データ量が多くなるためコンピュータでの処理に時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。

画素 (pixel)

画像が細かい点で構成されているとみなしたとき、それぞれの点のことを画素と言う。コンピュータでは、画素をデータに置き換えて処理する。1 画素を何ビットで表現するかにより、画像の色数や階調数が決まる。

ガンマ (gamma)

画像の中間調（ミッドトーン）の明暗（濃度特性）を調整する機能。ガンマを調整することにより、暗い部分（シャドウ）や明るい部分（ハイライト）に大きな影響を与えずに、中間部分の明るさの値を変更することが可能。

クリップボード (clip-board)

ソフトウェア間でデータを交換するときに、データを保存する場所のこと。メモリを使用する。

原色 (primary color)

スキャナのカラーズキャンや CRT ディスプレイのカラー表示は、赤 (R)、緑 (G)、青 (B) の光の三原色で行う。これに対し、プリンタの出力や印刷インクによる色表現は、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) の色の三原色で行う。それぞれの原色は互いに補色の関係にある。プリンタや印刷機の出力では、黒色を正確に表現するために黒 (K) も使用する。

自動露出 (Auto Exposure)

原稿を自動解析して最適なスキャンに設定する機能。

ストリップフィルム (strip film)

スライド用のフレームに入れずに裸の状態になっているフィルム（ネガ/ポジ）のこと。

ズーム (zoom)

画像を再現したときに、原稿に対して拡大または縮小されるようにスキャンする機能。指定した解像度に対して、ズームの分だけ、スキャンする画素数が増減するので、同じ解像度の出力機器で再現したときに、結果として拡大または縮小される。

スライドフィルム (Slide film)

スライド用に、ポジフィルムを1枚ずつ切ってプラスチックなどの枠にはさんだもの。マウントフィルム (mounted film) ともいう。

走査 (scan)

スキャナは、原稿に光を当てて反射光を読み取り、画像などを構成する最小単位の画素に分割し、分解フィルターで色分解を行い、その色の濃淡を電気信号に変換する。この処理を走査という。

またスキャナは、横方向にセンサを並べ、それを縦方向に動かすことにより平面な原稿を読み取っていくが、横方向の読み取りを主走査 (main scan)、縦方向の読み取りを副走査 (sub scan) という。主走査、副走査を交互に繰り返すことにより、原稿を読み取っていく。

チェックボックス (check box)

項目（機能）の有効/無効を設定するための四角いマーク。マウスでクリックすることにより、有効/無効を切り替えることができる。

ドラッグ (drag)

マウスボタンを押したまま、マウスを動かしてアイコンなどを移動すること。コピーなどの操作で使用する。

濃度補正 (tone correction)

濃度はトーンともいう。スキャンした画像の濃度データを、トーン曲線に合わせて補正し、出力データとする機能。シャドウ、ミッドトーン（中間調）、ハイライトへと変化していくトーン曲線を補正することで、画像全体の濃度をバランス良く上げることができる。

ハイライト、シャドウ (Highlight, Shadow)

ハイライトは最も明るい部分、または画像の最も明るくしたい部分。シャドウは最も暗い部分、または画像の最も暗くしたい部分。

ピクセル (Pixel)

解像度（表示解像度）を参照。

ヒストグラム (Histogram)

画像の黒（0）～白（255）までのデータ分布（ピクセル数）をグラフで表したもの。ヒストグラムによって、画像の本来白であるべき部分が白くなっているか、黒であるべき部分が黒になっているか、などを確認できる。

EPSON Scan の [ヒストグラム調整] ダイアログでは、ヒストグラムを見ながらハイライトポイントやシャドウポイントなどを指定し、画像の明暗を最適化することができる。

ベース面 (base side)

フィルムの、光沢のある面。反対側を膜面と言い、こちらに感光剤が塗布されている。（膜面は、乳剤面またはエマルジョン面ともいう）

膜面 (emulsion side)

ベース面の説明を参照。

メモリ (memory)

データを一時的に保存する部分。例えば、ソフトウェア自体はハードディスクに保存されているが、起動するとメモリに読み込まれ、ここでさまざまな処理が行われる。ハードディスクは保存領域、メモリは作業領域と言える。

画像スキャンにもメモリを使用するため、メモリの容量が少ないと、データが収まらずにエラーが発生することがある。

モアレ (moire)

印刷におけるモアレ：

画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換する（網点は中心部ほど高濃度になっており、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出される。網点はハーフトーンスクリーンとも言い、網点の配列される角度をスクリーン角度という）。

2色以上で印刷する場合は、それぞれの色ごとにこの処理（スクリーン処理）を行い、印刷時に再び重ねられるが、このときにそれぞれのスクリーン角度が一致（＝網点が重複）すると、モアレが発生する。

スキャナでの画像スキャンにおけるモアレ：

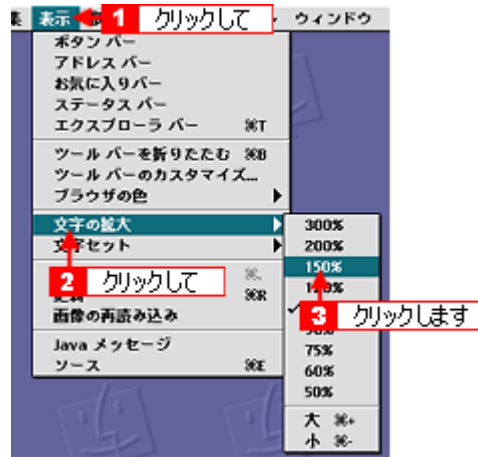
スクリーン処理された印刷物の画像は、ドット（点）の集まりで構成されている。この画像をスキャンしたときに、印刷上のドットとスキャン後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生する。

アンシャープマスクのチェックを外したり、モアレ除去をオンにしたり、原稿の向きを変えて取り込むことによって、ドットの一致をある程度防ぐことができるが、完全に防ぐことは難しい。

文字サイズの変更

変更手順

[表示] メニューをクリックして、[文字の拡大] クリックし、拡大率を選択します。



ポイント

ここでは、Microsoft Internet Explorer の場合を例に説明します。

なお、変更方法はお使いブラウザやバージョンによって異なりますので、詳細は各ブラウザのヘルプなどをご覧ください。

商標・表記について

商標について

- EPSON Scan はセイコーエプソン株式会社の商標です。
EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- トラブル解決アシスタントはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Digital ICE(TM) は、米国 Eastman Kodak Company の商標です。
- Adobe、Adobe Photoshop、Adobe Photoshop Elements、Acrobat は Adobe Systems Incorporated の各国での商標または登録商標です。
- IBM PC、DOS/V、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Apple の名称、Macintosh、PowerMacintosh、AppleTalk、EtherTalk、漢字 Talk、TrueType、iMac、Mac OS、ColorSync および FireWire は Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows および Internet Explorer は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Netscape, Netscape Navigator, Netscape ONE, Netscape の N ロゴおよび操舵輪のロゴは、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。
- Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
- そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

表記について

- Microsoft(R) Windows(R) 98 operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) Millennium Edition operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional operating system 日本語版
- Microsoft(R) Windows XP(R) Home Edition/Professional operating system 日本語版

以上の OS の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP と表記しています。


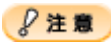


また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は [Windows]、複数の Windows を併記する場合は [Windows 98 / Me / 2000] のように、Windows の表記を省略することがあります。

このガイドの使い方

本ガイドをご覧いただくには、Internet Explorer 5.0 以上をご使用になることをお勧めします。

本文中で使用している記号について

本文中で使用しているマークには、以下のような意味があります。

 注意	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
 注意	製品注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
 ポイント	ポイント	ご使用上、知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なことを記載しています。
	参照	関連したページを記載しています。 ここに記載されているページが本マニュアル内にある場合は、クリックするとそのページにジャンプします。

改訂履歴

Revision	改訂ページ	改訂内容	備考
NPD0663_02	全て	新規制定	